

# 子ども・子育て支援ニーズ調査

## 結果報告書

### － 就学前の子どもの保護者 －

平成31年3月

青 森 市

－ 目次 －

I	調査概要	1
II	単純集計	
	1 子ども・子育て支援ニーズ調査の単純集計	3
III	利用意向集計	
	1 家庭類型集計	132
	2 教育・保育の利用意向集計	136
	3 地域子ども・子育て支援事業の利用意向集計	138

# I 調査概要

## 1 調査の目的

子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）第61条に規定する「第二期青森市子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたり、幼児期の学校教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」を推計するため、保護者の「現在の利用状況」及び「今後の利用希望」等の把握を目的としたアンケート調査（抽出調査）を、就学前の子ども及び小学生の保護者を対象として実施する。

## 2 調査の実施時期及び実施方法等

- (1) 実施時期 平成30年12月7日（金）～平成31年1月7日（月）
- (2) 実施方法：青森市住民基本台帳から、0～5歳の児童のいる世帯（2,500件）を無作為抽出（世帯が重複しないよう抽出）し、調査票（就学前の子どもの保護者用・小学生の保護者用の2種）の送付及び回収による調査を実施した。
- (3) 回収状況：回答者数 1,182人（2月25日（月）回収分まで有効回答とした。）  
回収率 47.3%

## 3 調査の内容

- (1) お住まいの地域について
- (2) お子さんご家庭について
- (3) 保護者の就労状況について
- (4) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について
- (5) 地域の子育て支援事業の利用状況について
- (6) 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について
- (7) 病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）
- (8) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について
- (9) お子さんが5歳以上の方へ、小学校就学後の放課後の過ごし方について
- (10) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について
- (11) 子育てや地域での子育て環境について

## 4 用語の定義

幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設  
保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設  
認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設  
子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援  
教育：問5及び問28においては家庭での教育を含めた広い意味、それらの設問以外の設問においては幼児期の学校における教育の意味で用いている。



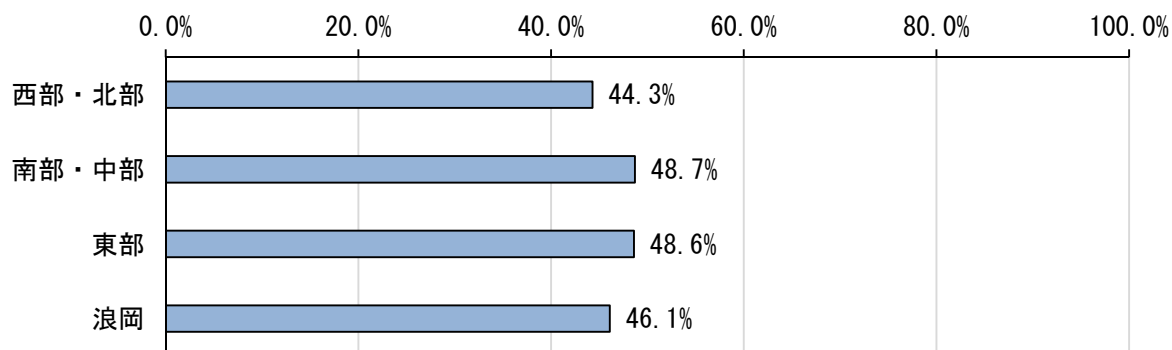
## II 単純集計

# 1 子ども・子育て支援ニーズ調査の単純集計【就学前の子どもの保護者】

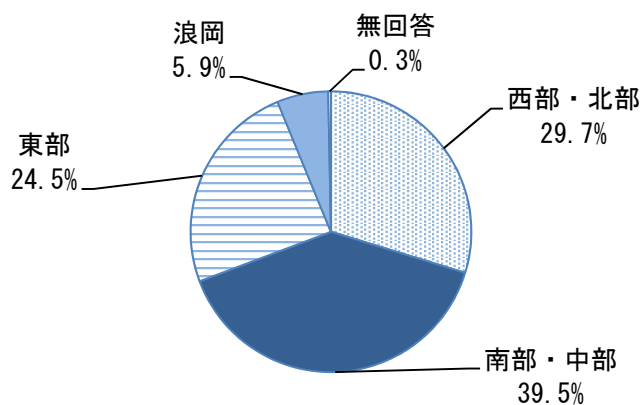
## < 1 > お住まいの地域について

問1 お住まいの住所をご記入ください。

回収率



構成比

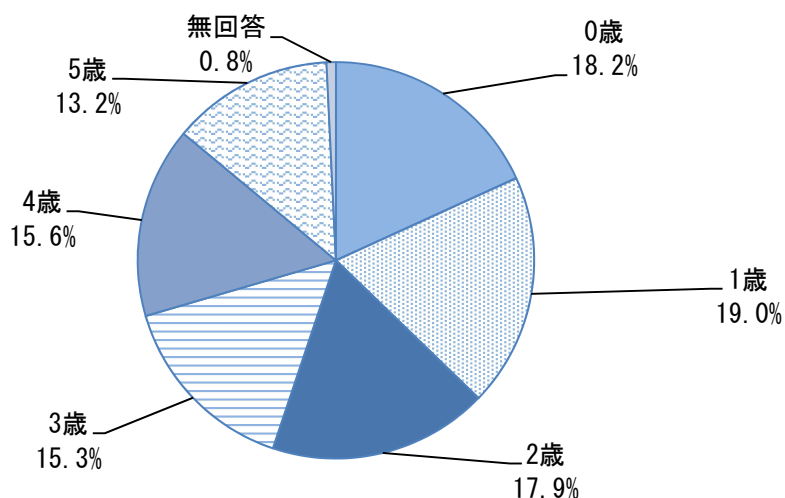


n=1,182

地区	配付数	回答件数	回収率	構成比
西部・北部	792	351	44.3%	29.7%
南部・中部	959	467	48.7%	39.5%
東部	597	290	48.6%	24.5%
浪岡	152	70	46.1%	5.9%
無回答	—	4	—	0.3%
計	2,500	1,182	47.3%	100.0%

<2> お子さんご家族について

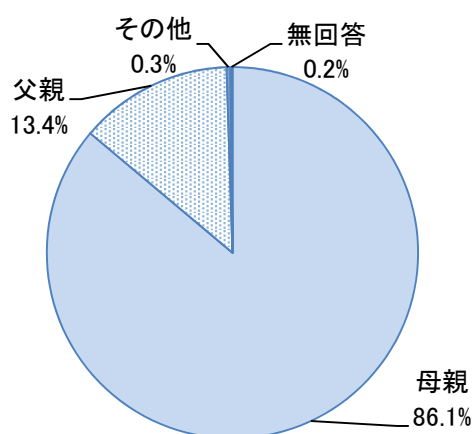
問2 宛名のお子さんの生年月日をご記入下さい。



n=1,182

区分	回答件数	構成比
平成29年4月～平成30年3月 0歳	215	18.2%
平成28年4月～平成29年3月 1歳	225	19.0%
平成27年4月～平成28年3月 2歳	212	17.9%
平成26年4月～平成27年3月 3歳	181	15.3%
平成25年4月～平成26年3月 4歳	184	15.6%
平成24年4月～平成25年3月 5歳	156	13.2%
無回答	9	0.8%
計	1,182	100.0%

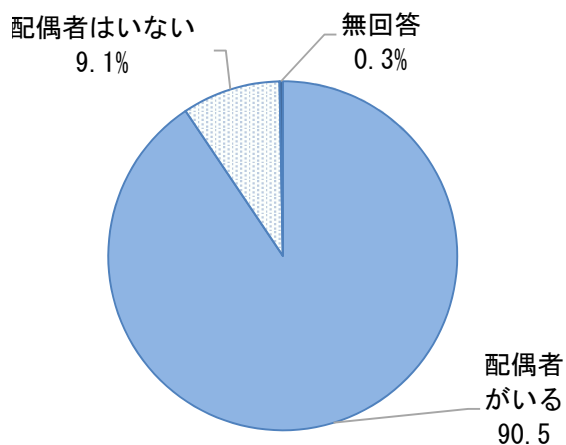
問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。



n=1,182

区分	回答件数	構成比
母親	1,018	86.1%
父親	158	13.4%
その他	4	0.3%
無回答	2	0.2%
計	1,182	100.0%

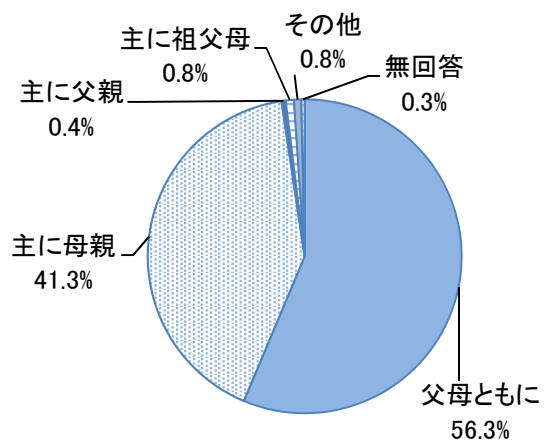
問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。



n=1,182

区分	回答件数	構成比
配偶者がいる	1,070	90.5%
配偶者がいない	108	9.1%
無回答	4	0.3%
計	1,182	100.0%

問5 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。



n=1,182

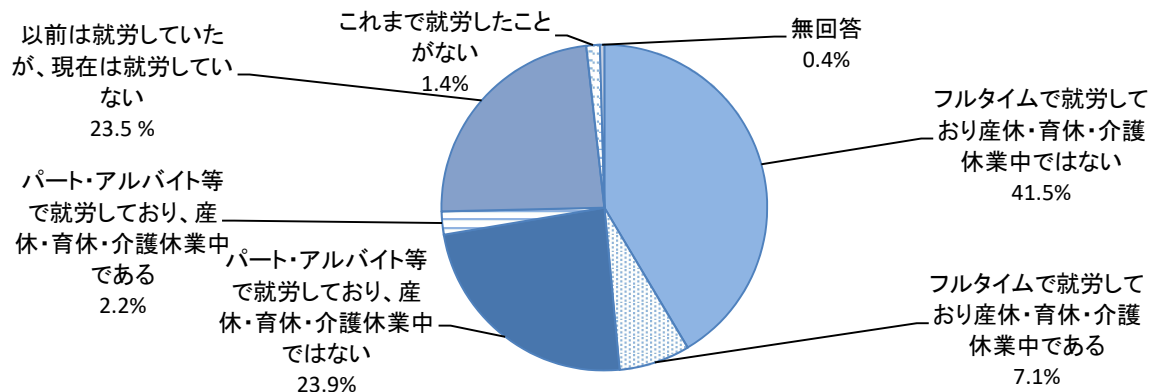
区分	回答件数	構成比
父母ともに	666	56.3%
主に母親	488	41.3%
主に父親	5	0.4%
主に祖父母	10	0.8%
その他	9	0.8%
無回答	4	0.3%
計	1,182	100.0%



### <3> 保護者の就労状況について

問6 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業・家族従事者含む）をおたずねします。

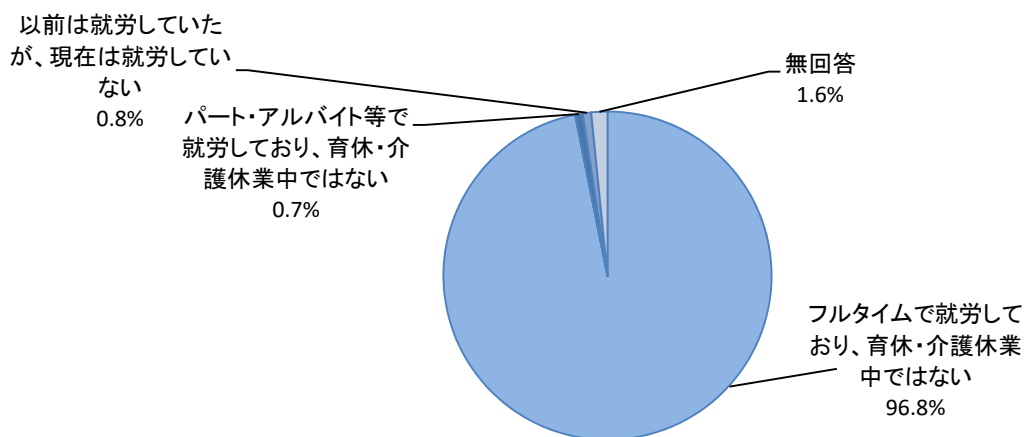
#### (1) 母親



n=1,173

区分	回答件数	構成比
フルタイムで就労しており産休・育休・介護休業中ではない	487	41.5%
フルタイムで就労しており産休・育休・介護休業中である	83	7.1%
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	280	23.9%
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	26	2.2%
以前は就労していたが、現在は就労していない	276	23.5%
これまで就労したことがない	16	1.4%
無回答	5	0.4%
計	1,173	100.0%

#### (2) 父親

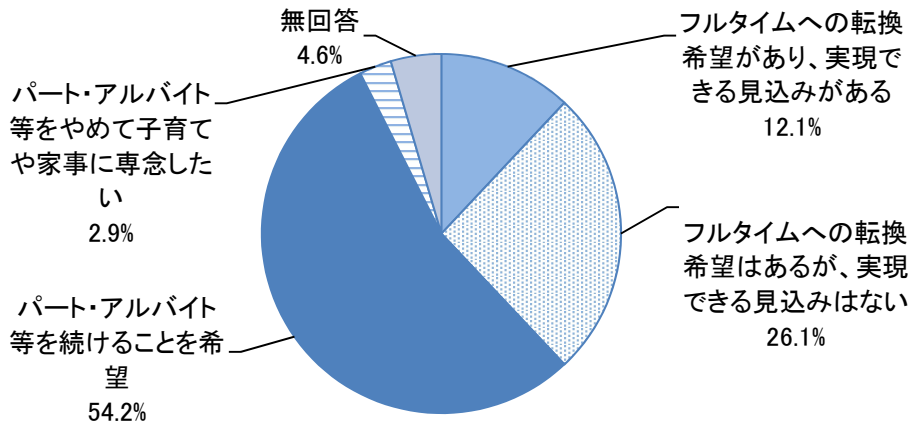


n=1,073

区分	回答件数	構成比
フルタイムで就労しており産休・育休・介護休業中ではない	1039	96.8%
フルタイムで就労しており産休・育休・介護休業中である	0	0.0%
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	8	0.7%
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	0	0.0%
以前は就労していたが、現在は就労していない	9	0.8%
これまで就労したことがない	0	0.0%
無回答	17	1.6%
計	1,073	100.0%

問7 問6の(1)または(2)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方におたずねします。フルタイムへの転換希望はありますか。

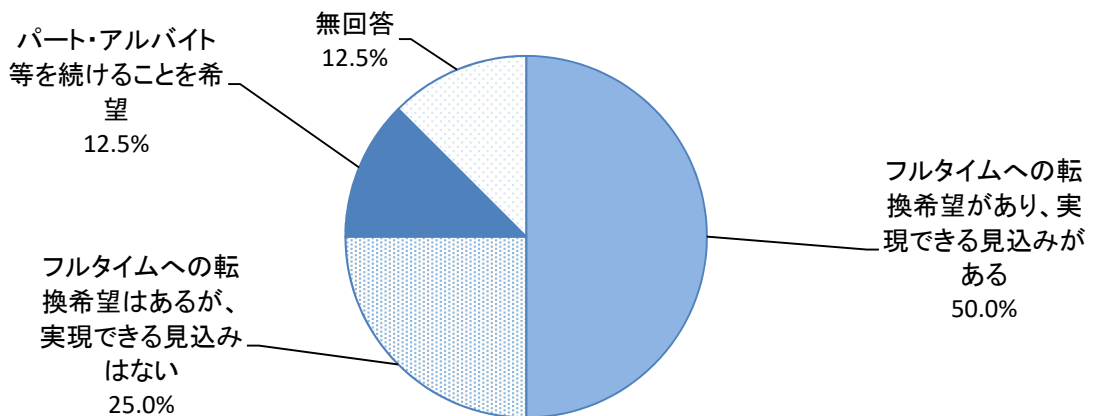
(1) 母親



n=306

区分	回答件数	構成比
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	37	12.1%
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	80	26.1%
パート・アルバイト等続けることを希望	166	54.2%
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	9	2.9%
無回答	14	4.6%
計	306	100.0%

(2) 父親

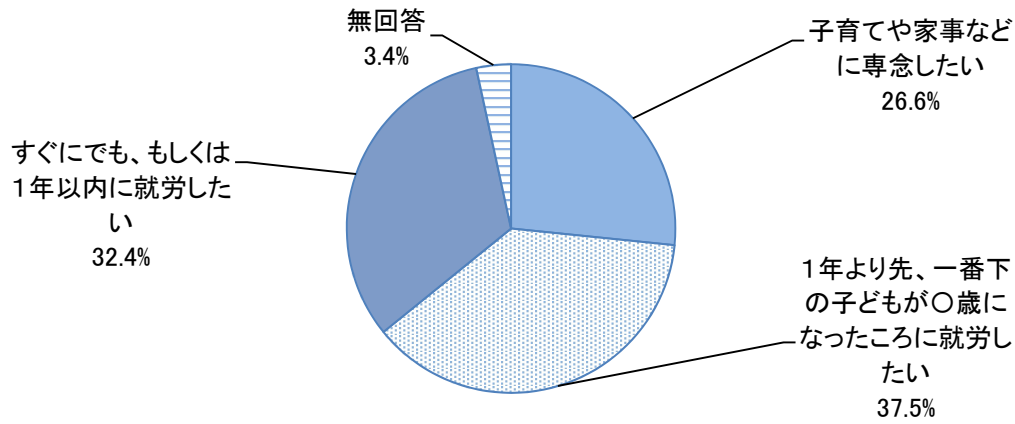


n=8

区分	回答件数	構成比
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	4	50.0%
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	25.0%
パート・アルバイト等続けることを希望	1	12.5%
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	0	0.0%
無回答	1	12.5%
計	8	100.0%

問8 問6の(1)または(2)で「5 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6 これまでに就労したことがない」に○をつけた方におたずねします。就労したいという希望はありますか。

(1) 母親

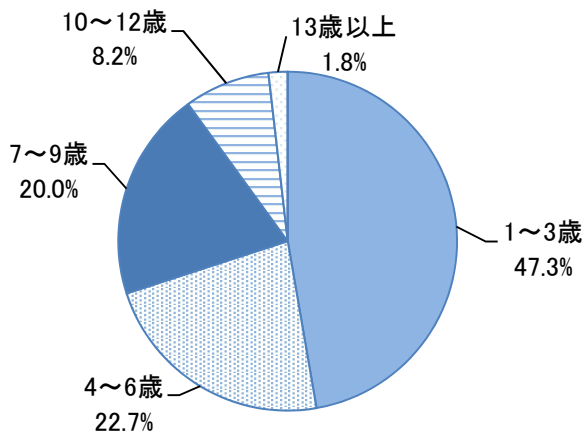


n=293

区分	回答件数	構成比
子育てや家事などに専念したい	78	26.6%
1年より先、一番下の子どもが〇歳になったときに就労したい	110	37.5%
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	95	32.4%
無回答	10	3.4%
計	293	100.0%

■ 1年より先、一番下の子どもが〇歳になったときに就労を希望する方

◆ 何歳になった頃

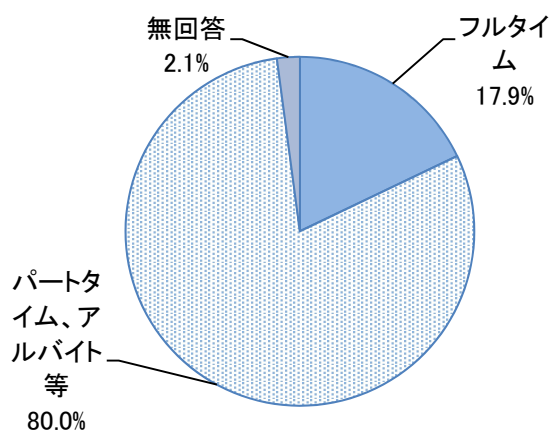


n=110

区分	回答件数	構成比
1～3歳	52	47.3%
4～6歳	25	22.7%
7～9歳	22	20.0%
10～12歳	9	8.2%
13歳以上	2	1.8%
無回答	0	0.0%
計	110	100.0%

■すぐにも、もしくは1年以内に就労したい方

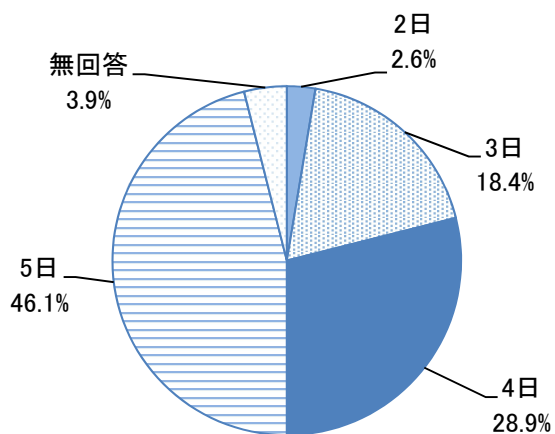
◆希望する就労形態



n=95

区分	回答件数	構成比
フルタイム	17	17.9%
パートタイム、アルバイト等	76	80.0%
無回答	2	2.1%
計	95	100.0%

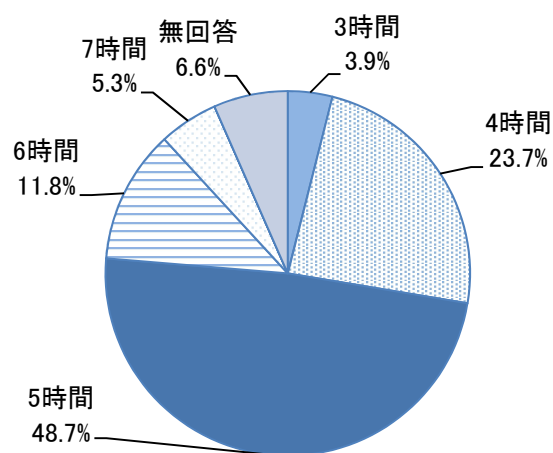
◆パート・アルバイト等の希望労働日数（週当たり）



n=76

区分	回答件数	構成比
2日	2	2.6%
3日	14	18.4%
4日	22	28.9%
5日	35	46.1%
無回答	3	3.9%
計	76	100.0%

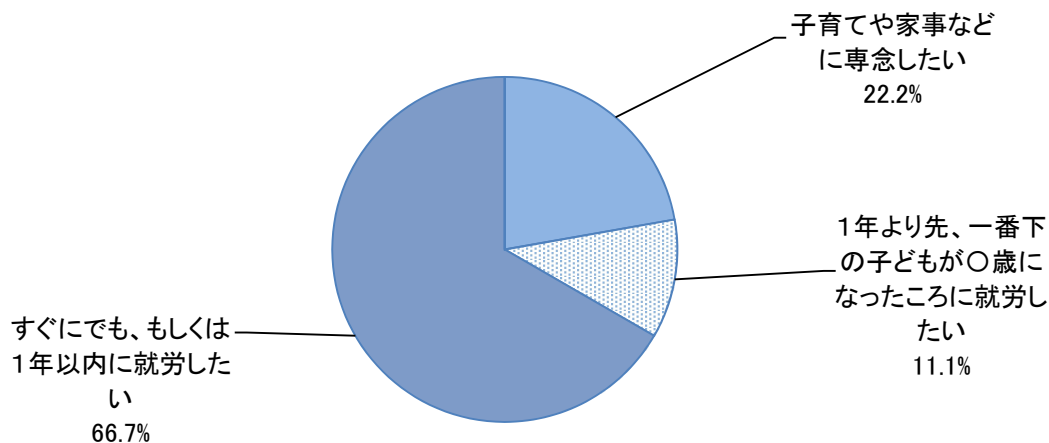
◆パート・アルバイト等の希望労働時間（1日当たり）



n=76

区分	回答件数	構成比
3時間	3	3.9%
4時間	18	23.7%
5時間	37	48.7%
6時間	9	11.8%
7時間	4	5.3%
無回答	5	6.6%
計	76	100.0%

(2) 父親

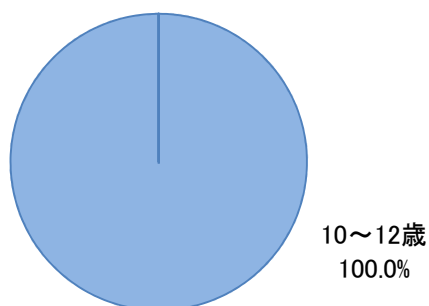


n=9

区分	回答件数	構成比
子育てや家事などに専念したい	2	22.2%
1年より先、一番下の子どもが0歳になったところに就労したい	1	11.1%
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	6	66.7%
計	9	100.0%

■ 1年より先、一番下の子どもが0歳になったところに就労を希望する方

◆ 何歳になった頃

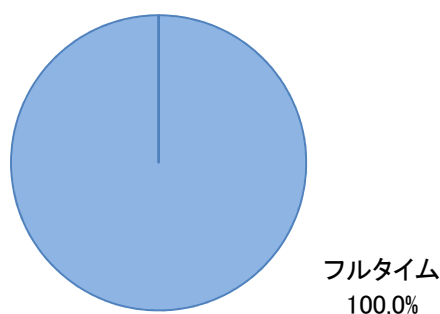


n=1

区分	回答件数	構成比
10~12歳	1	100.0%
計	1	100.0%

■ すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい方

◆ 希望する就労形態



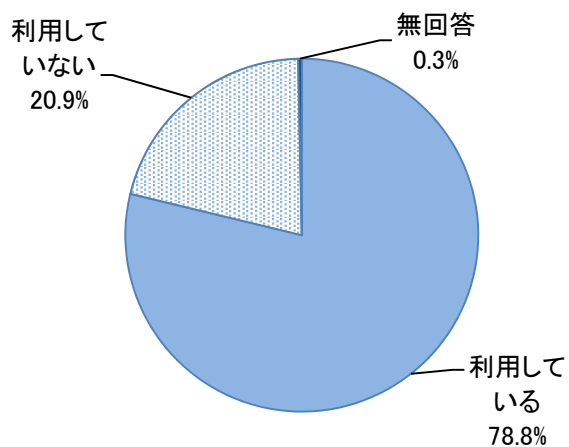
n=6

区分	回答件数	構成比
フルタイム	6	100.0%
パートタイム、アルバイト等	0	0.0%
計	6	100.0%

※パート、アルバイト等を希望する方がいないため、希望日数及び希望労働時間は省略。

< 4 > 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

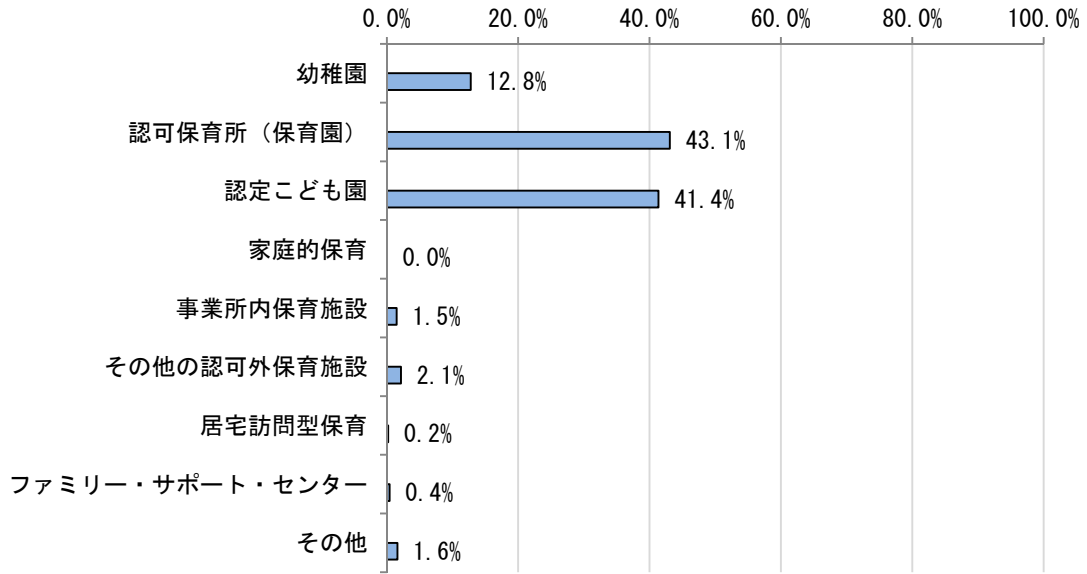
問9 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。



n=1,182

区分	回答件数	構成比
利用している	931	78.8%
利用していない	247	20.9%
無回答	4	0.3%
計	1,182	100.0%

問9-1 問9で「1. 利用している」に○をつけた方におたずねします。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。(複数回答可)



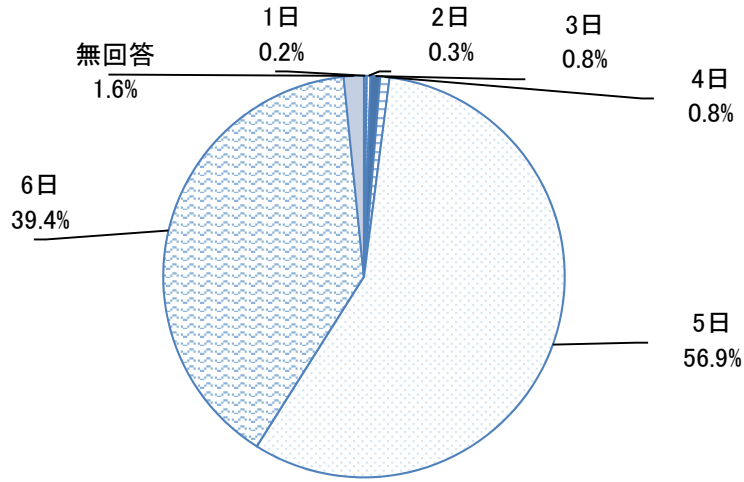
n=931

区分	回答件数	構成比
幼稚園	119	12.8%
認可保育所 (保育園)	401	43.1%
認定こども園	385	41.4%
家庭的保育	0	0.0%
事業所内保育	14	1.5%
その他の認可外保育施設	20	2.1%
居宅訪問型保育	2	0.2%
ファミリー・サポート・センター	4	0.4%
その他	15	1.6%
計	960	103.1%

問9-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、どのくらい利用したいですか。

(1) 現在

◆利用日数（1週当たり）

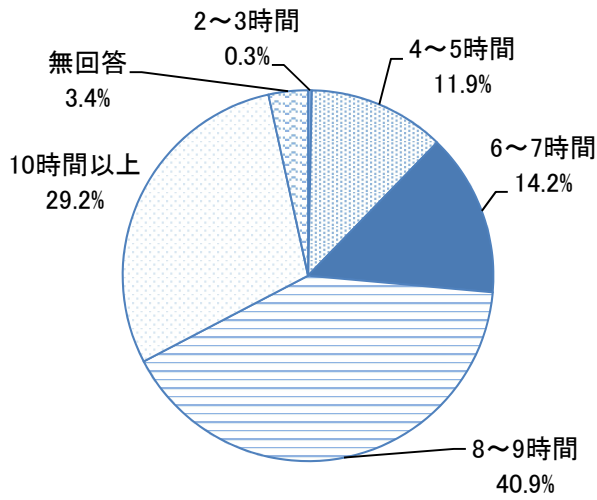


n=931

区分	回答件数	構成比
1日	2	0.2%
2日	3	0.3%
3日	7	0.8%
4日	7	0.8%
5日	530	56.9%
6日	367	39.4%
無回答	15	1.6%
計	931	100.0%



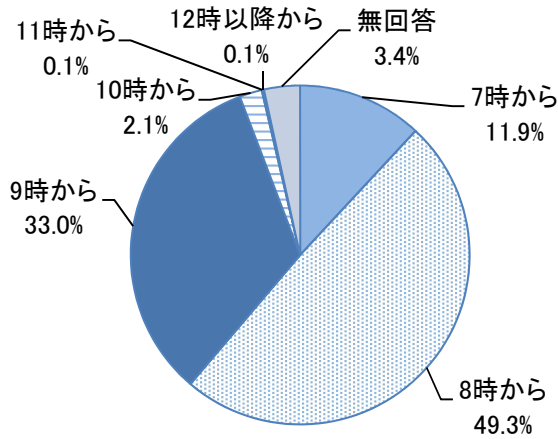
◆利用時間（1日当たり）



n=931

区分	回答件数	構成比
2~3時間	3	0.3%
4~5時間	111	11.9%
6~7時間	132	14.2%
8~9時間	381	40.9%
10時間以上	272	29.2%
無回答	32	3.4%
計	931	100.0%

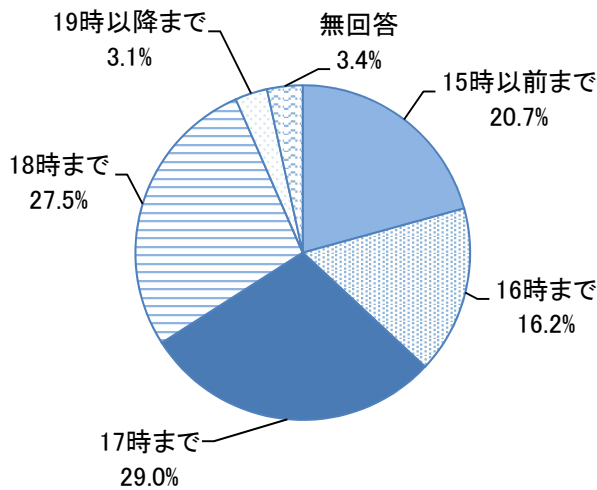
◆利用時間（何時から）



n=931

区分	回答件数	構成比
7時から	37	4.0%
8時から	305	32.8%
9時から	527	56.6%
10時から	26	2.8%
11時から	1	0.1%
12時以降から	3	0.3%
無回答	32	3.4%
計	931	100.0%

◆利用時間（何時まで）

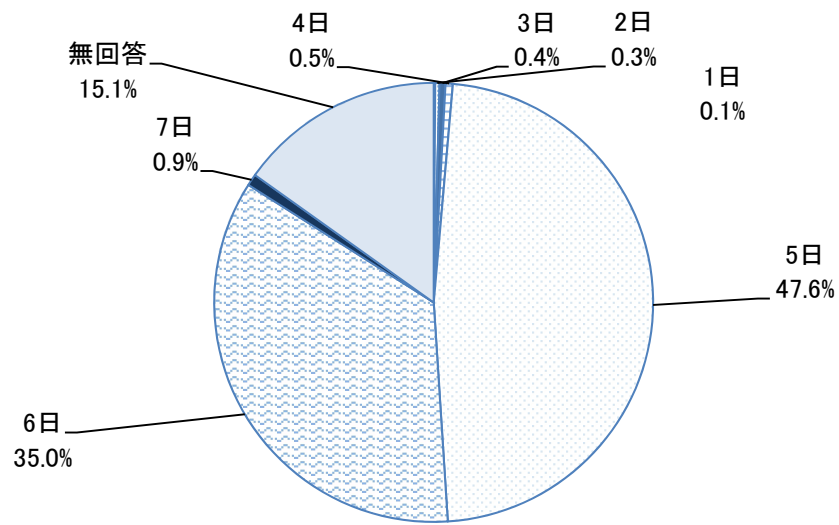


n=931

区分	回答件数	構成比
15時まで	193	20.7%
16時まで	151	16.2%
17時まで	270	29.0%
18時まで	256	27.5%
19時以降まで	29	3.1%
無回答	32	3.4%
計	931	100.0%

(2) 希望

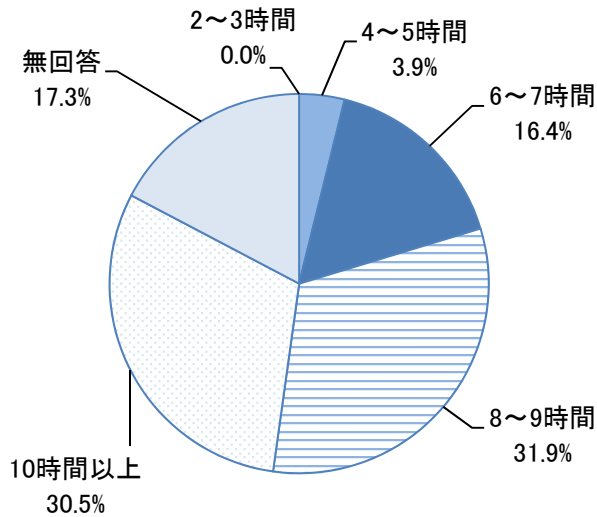
◆利用日数（1週当たり）



n=931

区分	回答件数	構成比
1日	1	0.1%
2日	3	0.3%
3日	4	0.4%
4日	5	0.5%
5日	443	47.6%
6日	326	35.0%
7日	8	0.9%
無回答	141	15.1%
計	931	100.0%

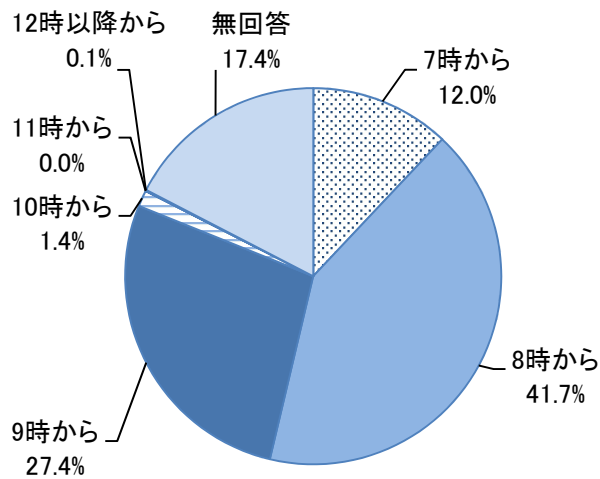
◆利用時間（1日当たり）



n=931

区分	回答件数	構成比
2～3時間	4	0.4%
4～5時間	32	3.4%
6～7時間	153	16.4%
8～9時間	297	31.9%
10時間以上	284	30.5%
無回答	161	17.3%
計	931	100.0%

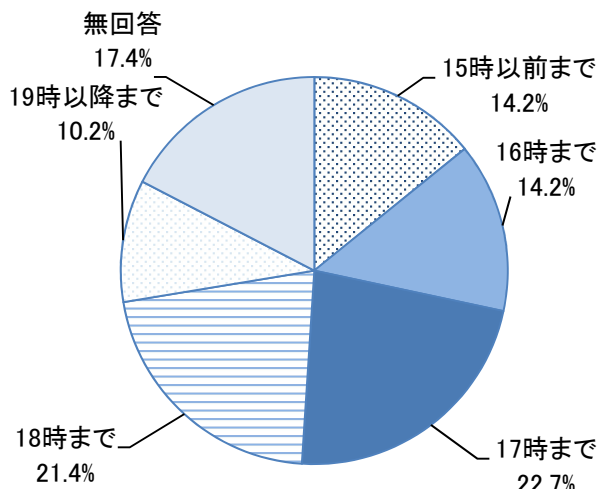
◆利用時間（何時から）



n=931

区分	回答件数	構成比
7時から	112	12.0%
8時から	388	41.7%
9時から	255	27.4%
10時から	13	1.4%
12時以降から	1	0.1%
無回答	162	17.4%
計	931	100.0%

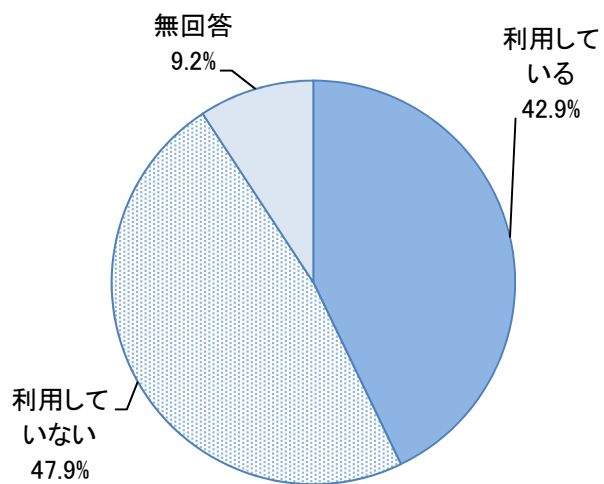
◆利用時間（何時まで）



n=931

区分	回答件数	構成比
15時まで	132	14.2%
16時まで	132	14.2%
17時まで	211	22.7%
18時まで	199	21.4%
19時以降まで	95	10.2%
無回答	162	17.4%
計	931	100.0%

問9-3 問9-1で「1. 幼稚園」に○をつけた方におたずねします。幼稚園における預かり保育を利用されていますか。



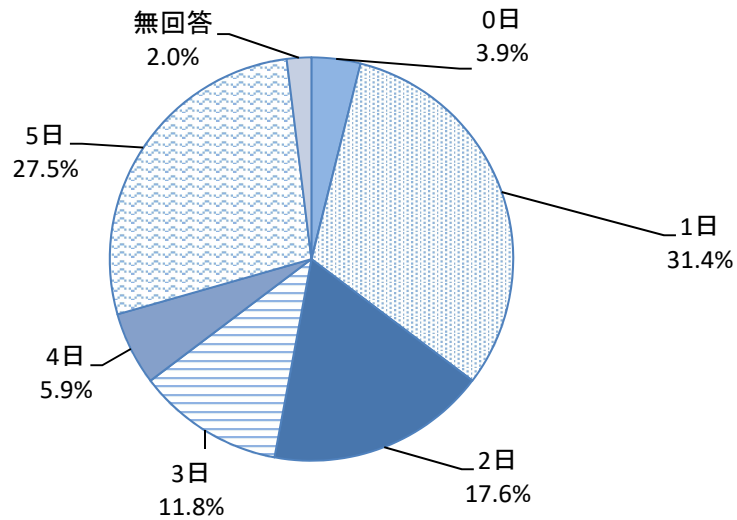
n=119

区分	回答件数	構成比
利用している	51	42.9%
利用していない	57	47.9%
無回答	11	9.2%
計	119	100.0%

問9-4 問9-3で「1. 利用している」に○をつけた方におたずねします。幼稚園における預かり保育についてどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

(1) 現在

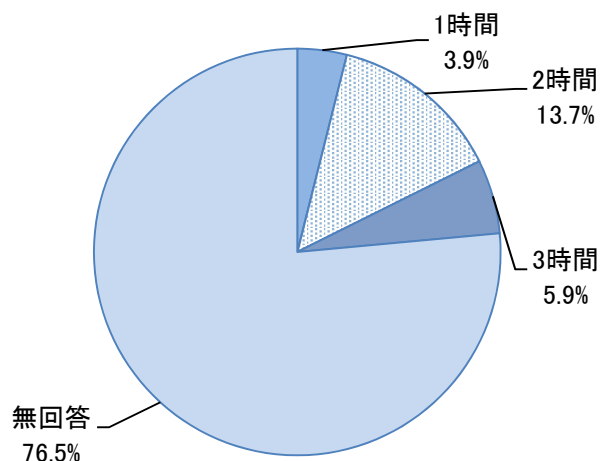
◆利用日数（1週当たり）



n=51

区分	回答件数	構成比
0日	2	3.9%
1日	16	31.4%
2日	9	17.6%
3日	6	11.8%
4日	3	5.9%
5日	14	27.5%
無回答	1	2.0%
計	51	100.0%

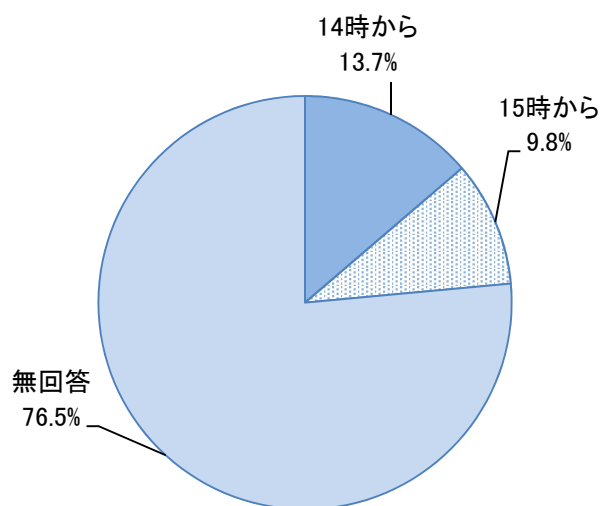
◆利用時間（1日当たり）



n=51

区分	回答件数	構成比
1時間	2	3.9%
2時間	7	13.7%
3時間	3	5.9%
無回答	39	76.5%
計	51	100.0%

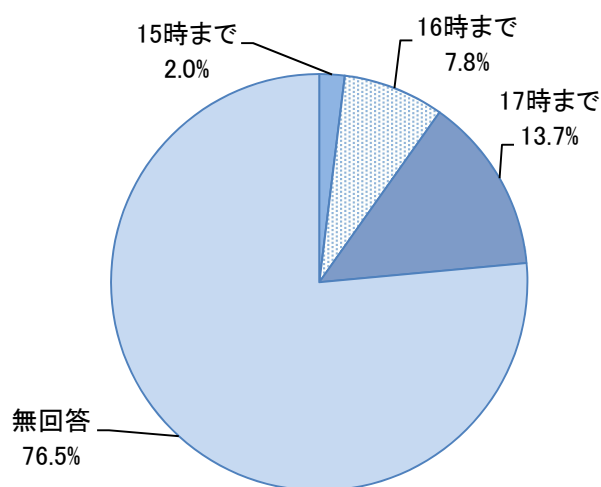
◆利用時間（何時から）



n=51

区分	回答件数	構成比
14時から	7	13.7%
15時から	5	9.8%
無回答	39	76.5%
計	51	100.0%

◆利用時間（何時まで）

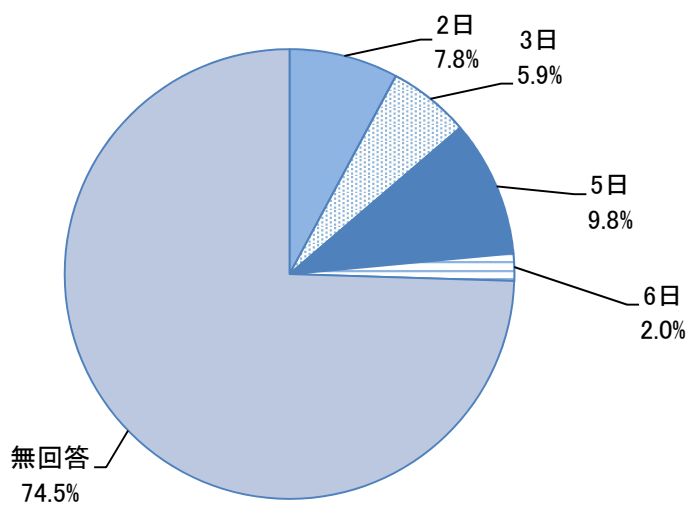


n=51

区分	回答件数	構成比
15時まで	1	2.0%
16時まで	4	7.8%
17時まで	7	13.7%
無回答	39	76.5%
計	51	100.0%

(2) 希望

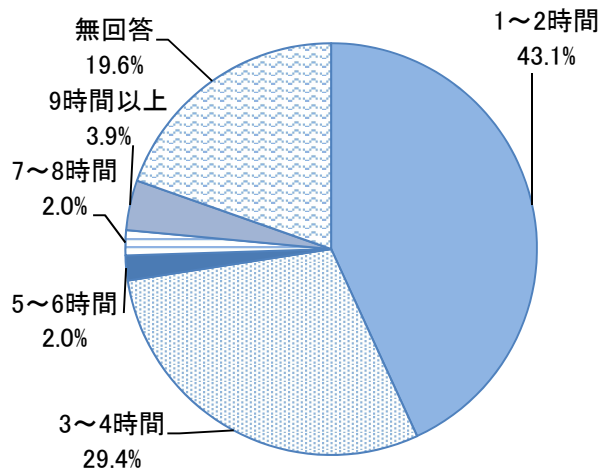
◆利用日数（1週当たり）



n=51

区分	回答件数	構成比
2日	4	7.8%
3日	3	5.9%
5日	5	9.8%
6日	1	2.0%
無回答	38	74.5%
計	51	100.0%

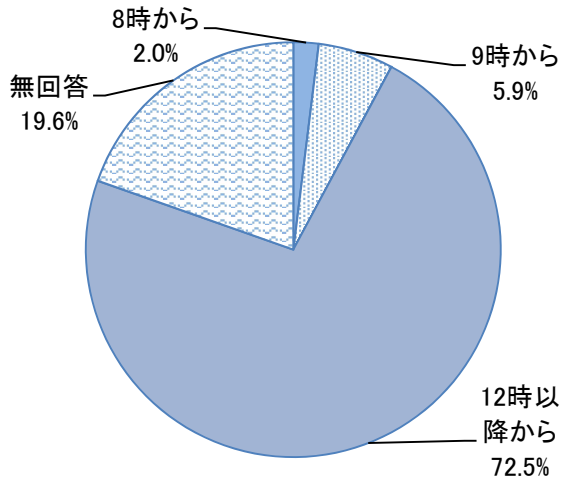
◆利用時間（1日当たり）



n=51

区分	回答件数	構成比
1~2時間	22	43.1%
3~4時間	15	29.4%
5~6時間	1	2.0%
7~8時間	1	2.0%
9時間以上	2	3.9%
無回答	10	19.6%
計	51	100.0%

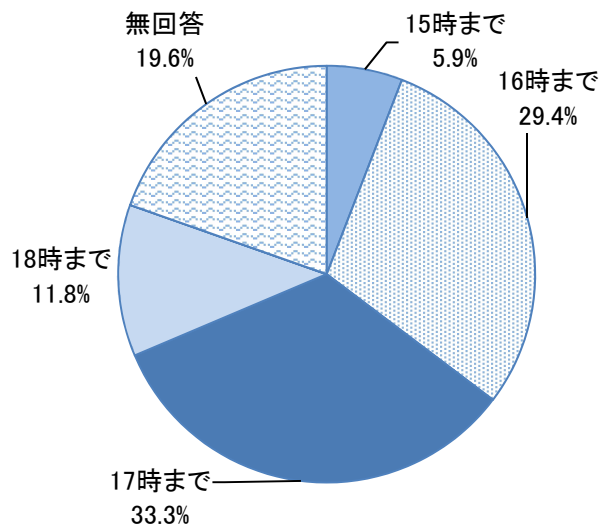
◆利用時間（何時から）



n=51

区分	回答件数	構成比
8時から	1	2.0%
9時から	3	5.9%
10時から	0	0.0%
11時から	0	0.0%
12時以降から	37	72.5%
無回答	10	19.6%
計	51	100.0%

◆利用時間（何時まで）

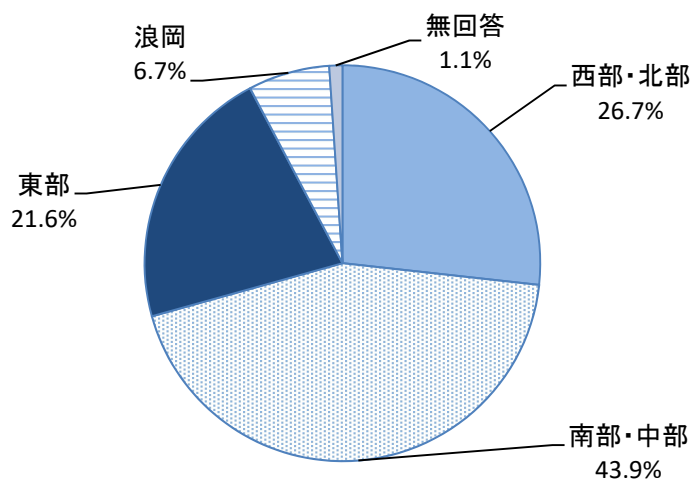


n=51

区分	回答件数	構成比
15時まで	3	5.9%
16時まで	15	29.4%
17時まで	17	33.3%
18時まで	6	11.8%
19時以降まで	0	0.0%
無回答	10	19.6%
計	51	100.0%



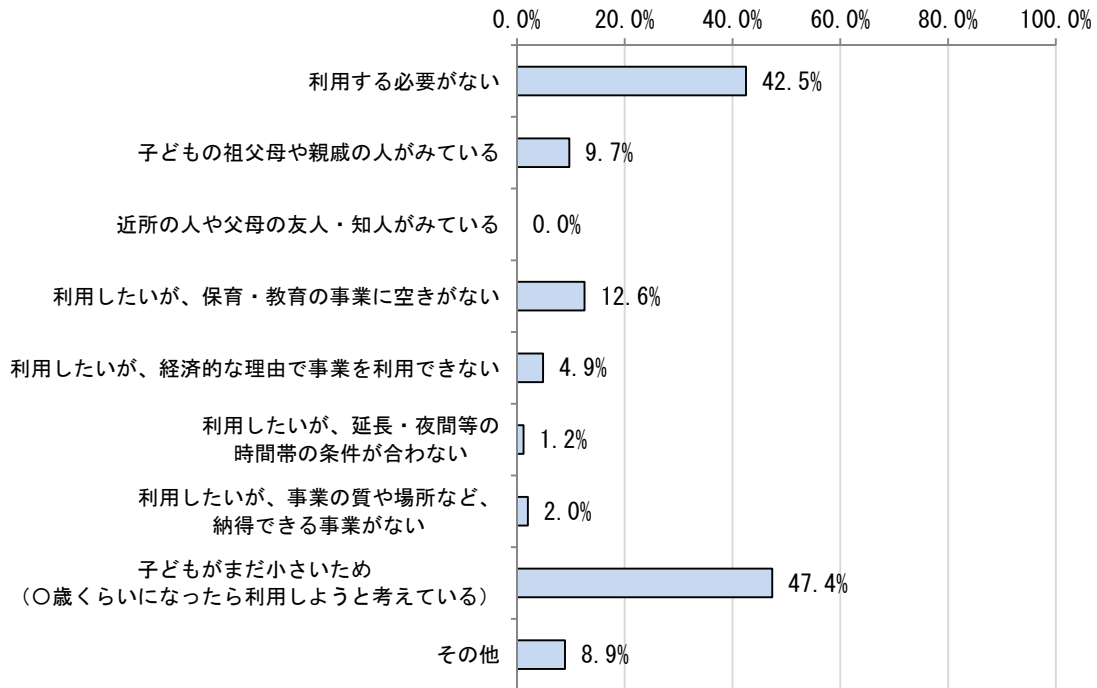
問9-5 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についておたずねします。現在利用している教育・保育事業の実施場所はどの地区ですか。



n=931

区分	回答件数	構成比
西部・北部	249	26.7%
南部・中部	409	43.9%
東部	201	21.6%
浪岡	62	6.7%
回答	10	1.1%
計	931	100.0%

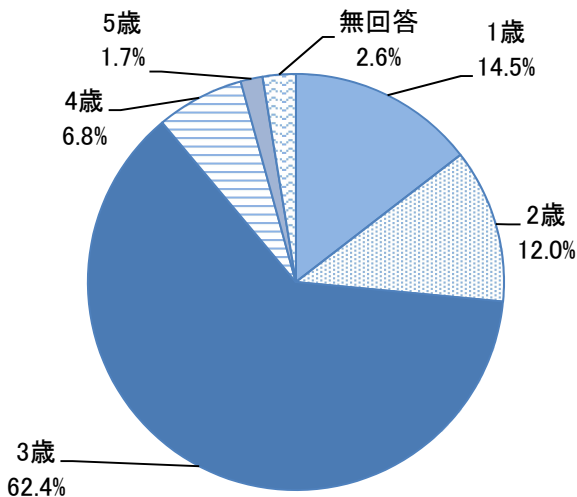
問9-6 問9で「2. 利用していない」に○をつけた方におたずねします。利用していない理由は何ですか。(複数回答可)



n=247

区分	回答件数	構成比
利用する必要がある	105	42.5%
子どもの祖父母や親戚の人がみている	24	9.7%
近所の人や父母の友人・知人がみている	0	0.0%
利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	31	12.6%
利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	12	4.9%
利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件と合わない	3	1.2%
利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	5	2.0%
子どもがまだ小さいため (0歳くらいになったら利用しようと考えている)	117	47.4%
その他	22	8.9%
計	319	129.1%

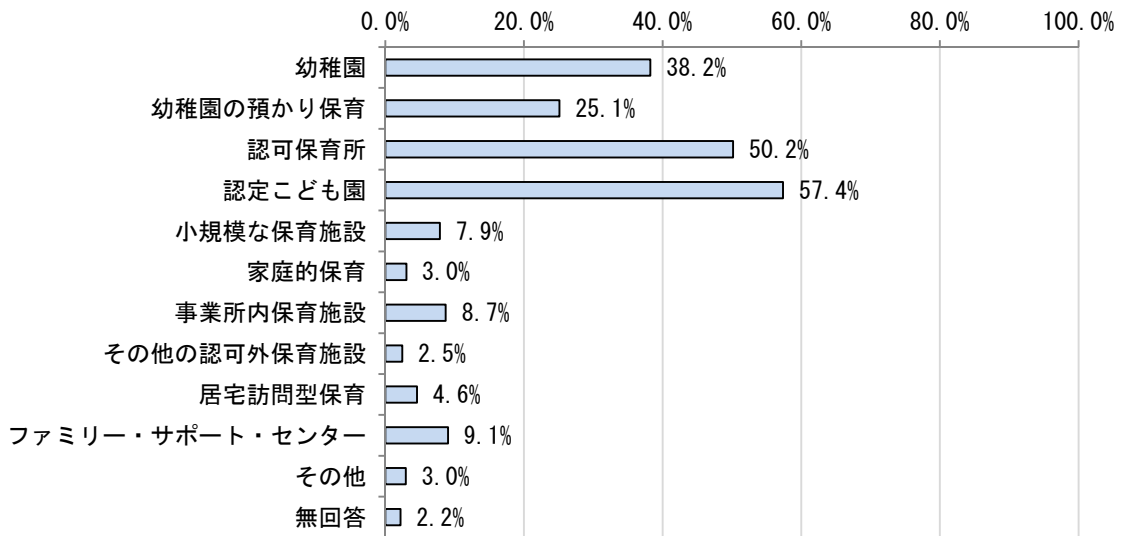
◆0歳くらいになったら



n=117

区分	回答件数	構成比
1歳	13	11.1%
2歳	14	12.0%
3歳	73	62.4%
4歳	8	6.8%
5歳	2	1.7%
無回答	7	6.0%
計	117	100.0%

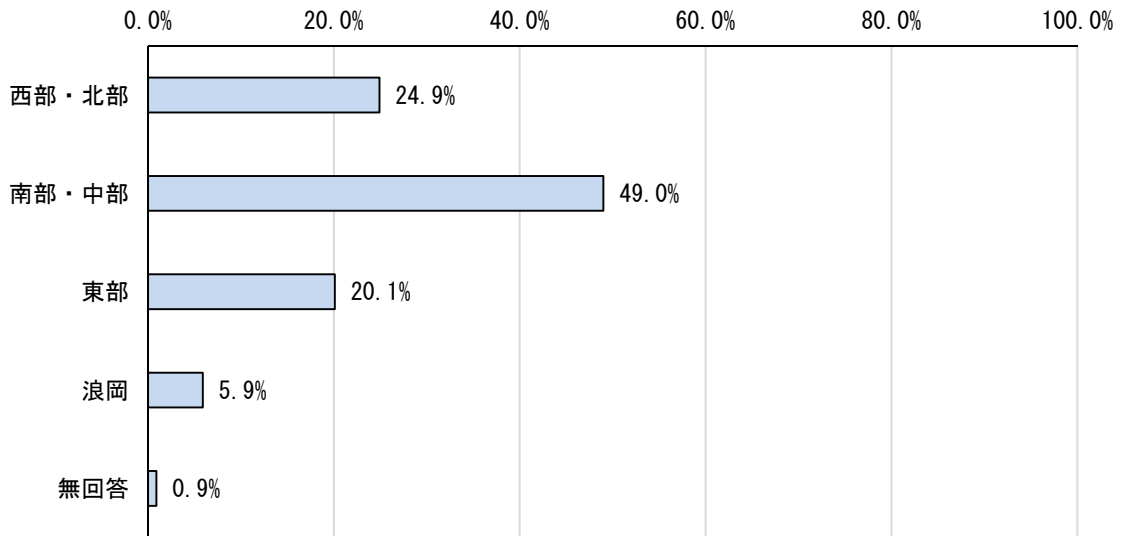
問10 すべての方におたずねします。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（複数回答可）



n=1,182

区分	回答件数	構成比
幼稚園	452	38.2%
幼稚園の預かり保育	297	25.1%
認可保育所（保育園）	593	50.2%
認定こども園	678	57.4%
小規模な保育施設	93	7.9%
家庭的保育	36	3.0%
事業所内保育	103	8.7%
その他の認可外保育施設	29	2.5%
居宅訪問型保育	54	4.6%
ファミリー・サポート・センター	107	9.1%
その他	35	3.0%
無回答	26	2.2%
計	2,503	211.8%

問10-1 すべての方におたずねします。現在利用している、利用していないにかかわらず、教育・保育事業を利用したい場所はどの地区ですか。

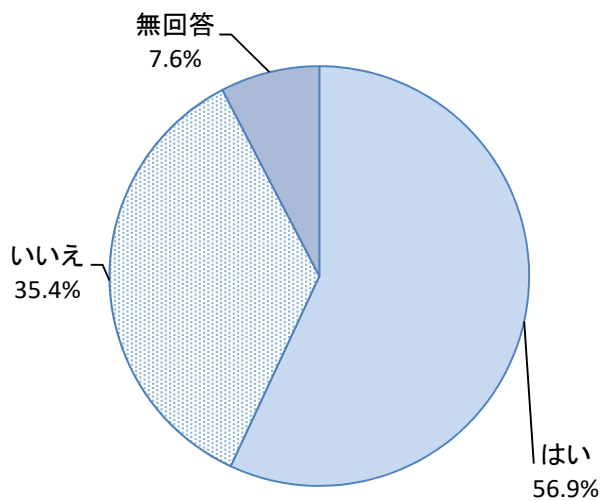


n=1,182

区分	回答件数	構成比
西部・北部	294	24.9%
南部・中部	579	49.0%
東部	237	20.1%
浪岡	70	5.9%
無回答	11	0.9%
計	1,191	100.8%

※重複回答含む

問10-2 問10で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～11にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（預かり保育を含む）の利用を強く希望しますか。

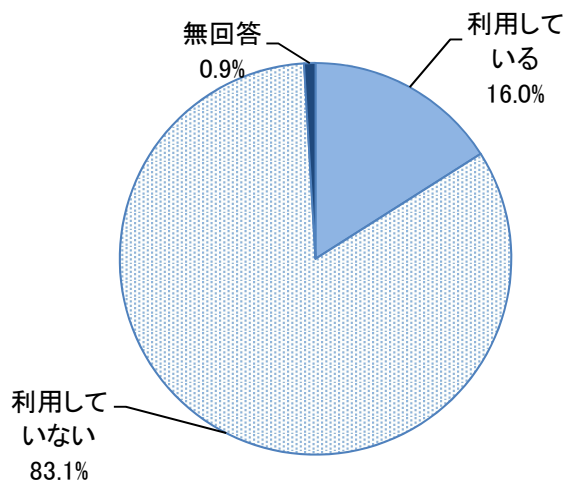


n=367

区分	回答件数	構成比
はい	209	56.9%
いいえ	130	35.4%
無回答	28	7.6%
計	367	100.0%

< 5 > 地域の子育て支援事業の利用状況について

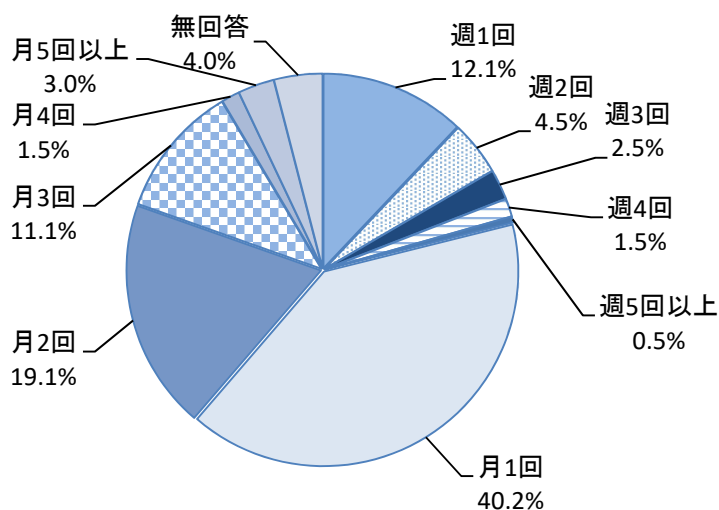
問 1 1 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。



n=1,182

区分	回答件数	構成比
利用している	189	16.0%
利用していない	982	83.1%
無回答	11	0.9%
計	1,182	100.0%

◆利用回数(1週当たり・1ヶ月当たり)

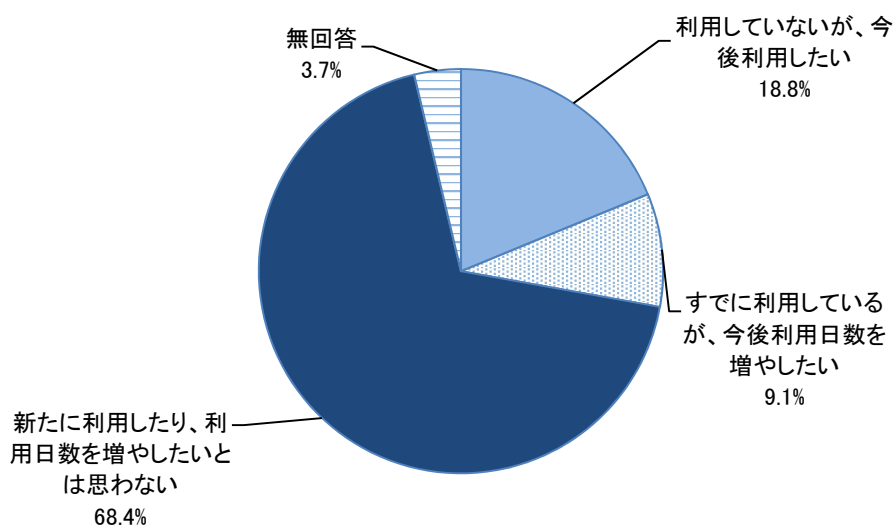


n=199

区分	回答件数	構成比
週1日	24	12.1%
週2日	9	4.5%
週3日	5	2.5%
週4日	3	1.5%
週5日以上	1	0.5%
月1日	80	40.2%
月2日	38	19.1%
月3日	22	11.1%
月4日	3	1.5%
月5日以上	6	3.0%
無回答	8	4.0%
計	199	100.0%

※1週当たり、1ヶ月当たりでの重複回答10件あり

問12 問11にあるような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。

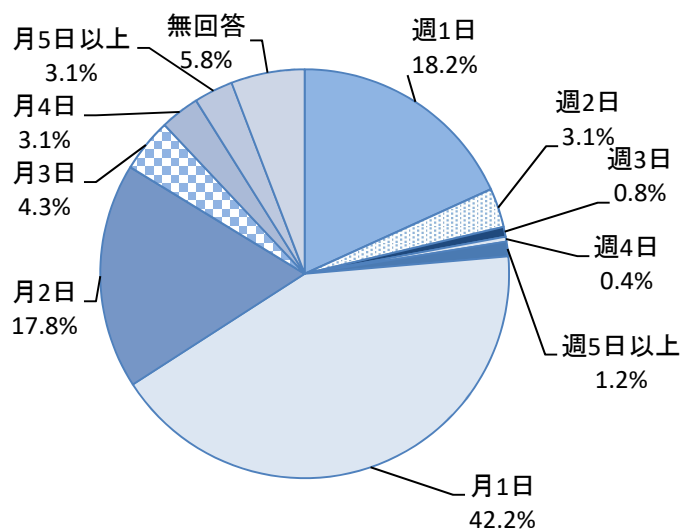


n=1,182

区分	回答件数	構成比
利用していないが、今後利用したい	222	18.8%
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	107	9.1%
新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	809	68.4%
無回答	44	3.7%
計	1,182	100.0%

■利用していないが、今後利用したい

◆利用回数(1週当たり・1ヶ月当たり)



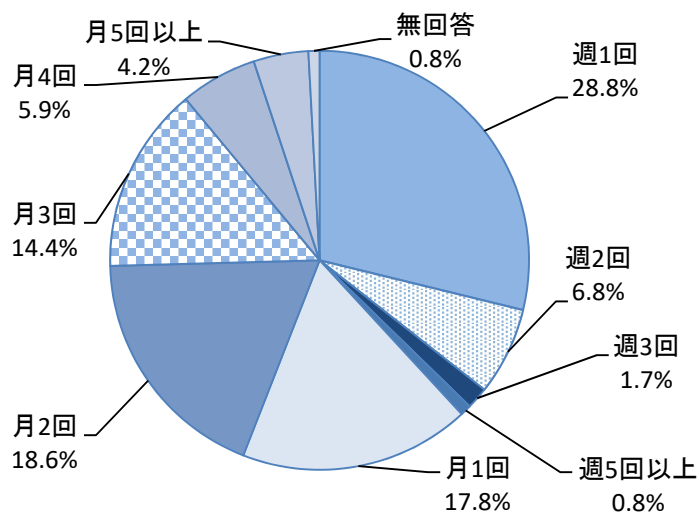
n=258

区分	回答件数	構成比
週1日	47	18.2%
週2日	8	3.1%
週3日	2	0.8%
週4日	1	0.4%
週5日以上	3	1.2%
月1日	109	42.2%
月2日	46	17.8%
月3日	11	4.3%
月4日	8	3.1%
月5日以上	8	3.1%
無回答	15	5.8%
計	258	100.0%

※1週当たり、1ヶ月当たりでの重複回答36件あり

■すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

◆利用回数(1週当たり・1ヶ月当たり)



n=118

区分	回答件数	構成比
週1回	34	28.8%
週2回	8	6.8%
週3回	2	1.7%
週4回	0	0.0%
週5回以上	1	0.8%
月1回	21	17.8%
月2回	22	18.6%
月3回	17	14.4%
月4回	7	5.9%
月5回以上	5	4.2%
無回答	1	0.8%
計	118	100.0%

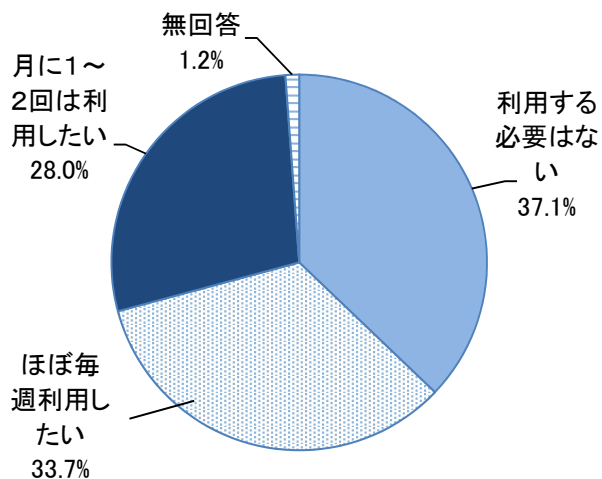
※1週当たり、1ヶ月当たりでの重複回答11件あり



＜6＞ 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問13 すべての方におたずねします。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。

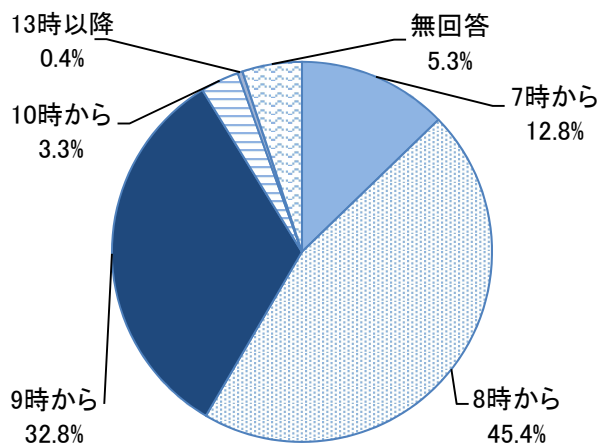
(1) 土曜日



n=1,182

区分	回答件数	構成比
利用する必要はない	439	37.1%
ほぼ毎週利用したい	398	33.7%
月に1～2回は利用したい	331	28.0%
無回答	14	1.2%
計	1,182	100.0%

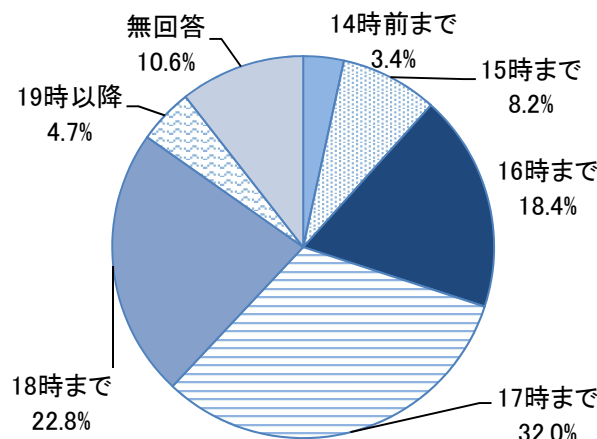
◆利用時間（何時から）



n=729

区分	回答件数	構成比
7時から	93	12.8%
8時から	331	45.4%
9時から	239	32.8%
10時から	24	3.3%
13時以降	3	0.4%
無回答	39	5.3%
計	729	100.0%

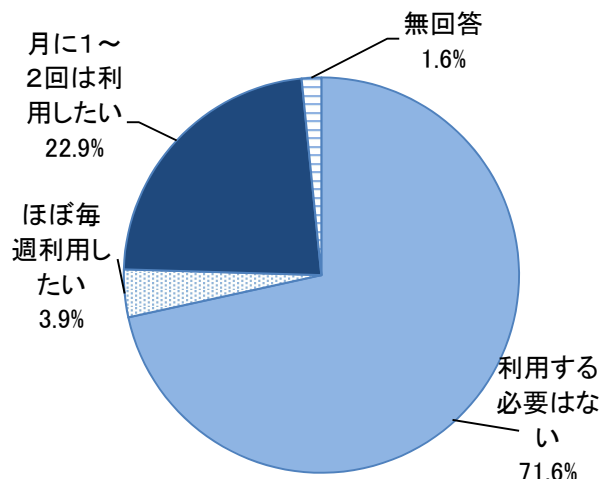
◆利用時間（何時まで）



n=729

区分	回答件数	構成比
14時前まで	25	3.4%
15時まで	60	8.2%
16時まで	134	18.4%
17時まで	233	32.0%
18時まで	166	22.8%
19時以降	34	4.7%
無回答	77	10.6%
計	729	100.0%

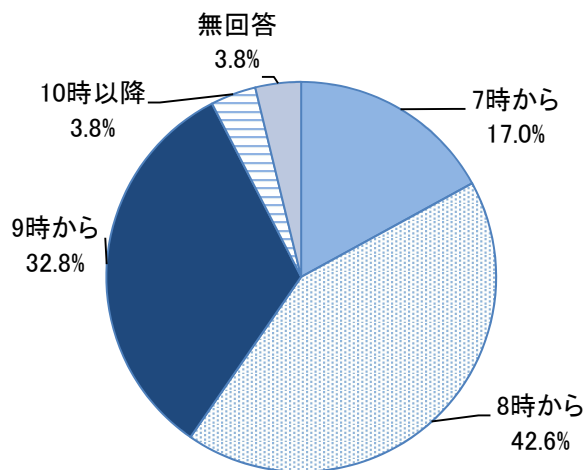
(2) 日曜・祝日



n=1,182

区分	回答件数	構成比
利用する必要はない	846	71.6%
ほぼ毎週利用したい	46	3.9%
月に1~2回は利用したい	271	22.9%
無回答	19	1.6%
計	1,182	100.0%

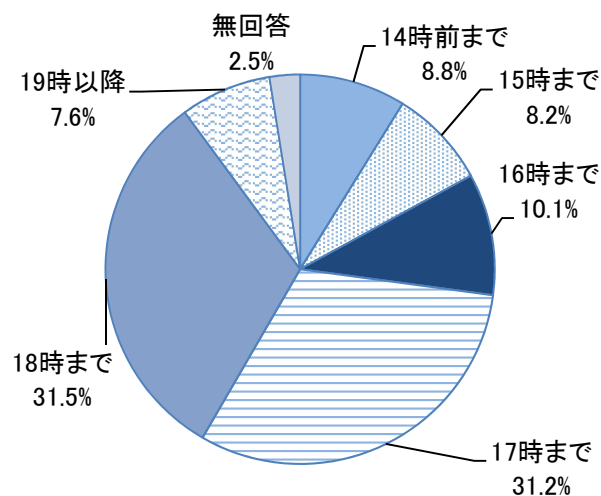
◆利用時間（何時から）



n=317

区分	回答件数	構成比
7時から	54	17.0%
8時から	135	42.6%
9時から	104	32.8%
10時以降	12	3.8%
無回答	12	3.8%
計	317	100.0%

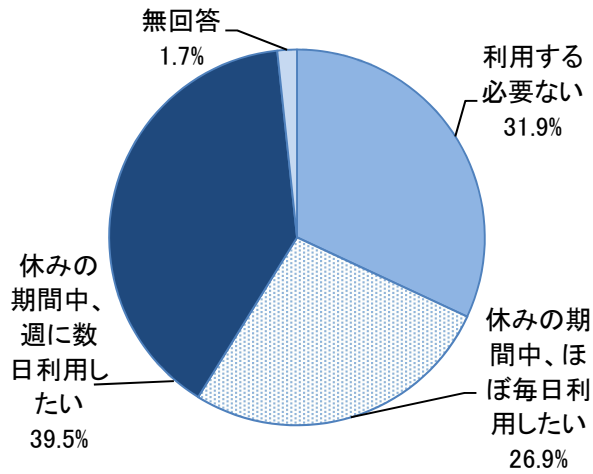
◆利用時間（何時まで）



n=317

区分	回答件数	構成比
14時前まで	28	8.8%
15時まで	26	8.2%
16時まで	32	10.1%
17時まで	99	31.2%
18時まで	100	31.5%
19時以降	24	7.6%
無回答	8	2.5%
計	317	100.0%

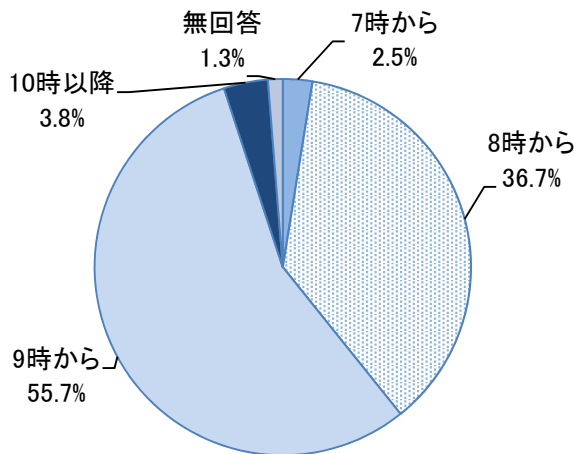
問14 「幼稚園」を利用されている方におたずねします。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。



n=119

区分	回答件数	構成比
利用する必要はない	38	31.9%
休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	32	26.9%
休みの期間中、週に数日利用したい	47	39.5%
無回答	2	1.7%
計	119	100.0%

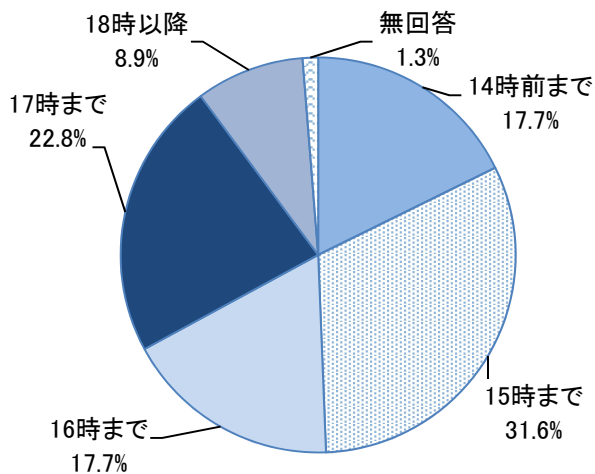
◆利用時間（何時から）



n=79

区分	回答件数	構成比
7時から	2	2.5%
8時から	29	36.7%
9時から	44	55.7%
10時以降	3	3.8%
無回答	1	1.3%
計	79	100.0%

◆利用時間（何時まで）

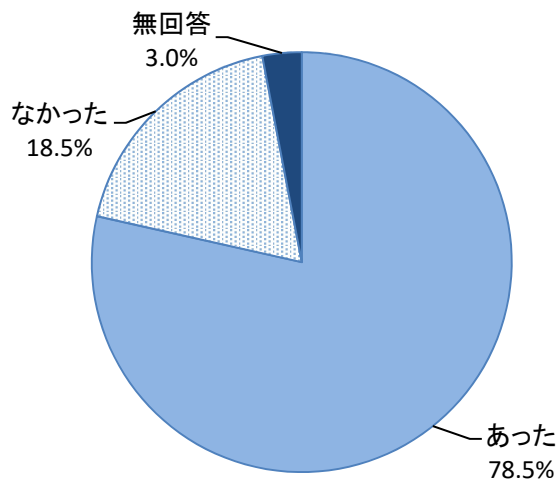


n=79

区分	回答件数	構成比
14時前まで	14	17.7%
15時まで	25	31.6%
16時まで	14	17.7%
17時まで	18	22.8%
18時以降	7	8.9%
無回答	1	1.3%
計	79	100.0%

<7> 病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）

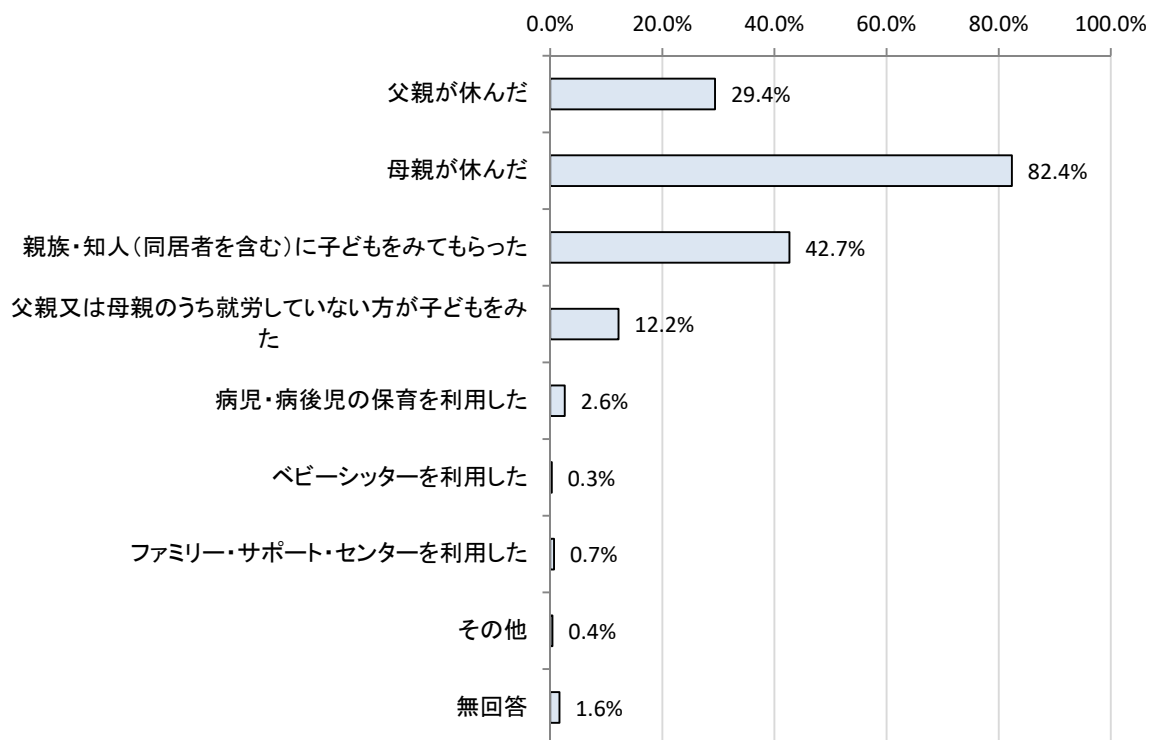
問15 この1年間に宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。



n=931

区分	回答件数	構成比
あった	731	78.5%
なかった	172	18.5%
無回答	28	3.0%
計	931	100.0%

問15-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数もご記入ください。（複数回答可）



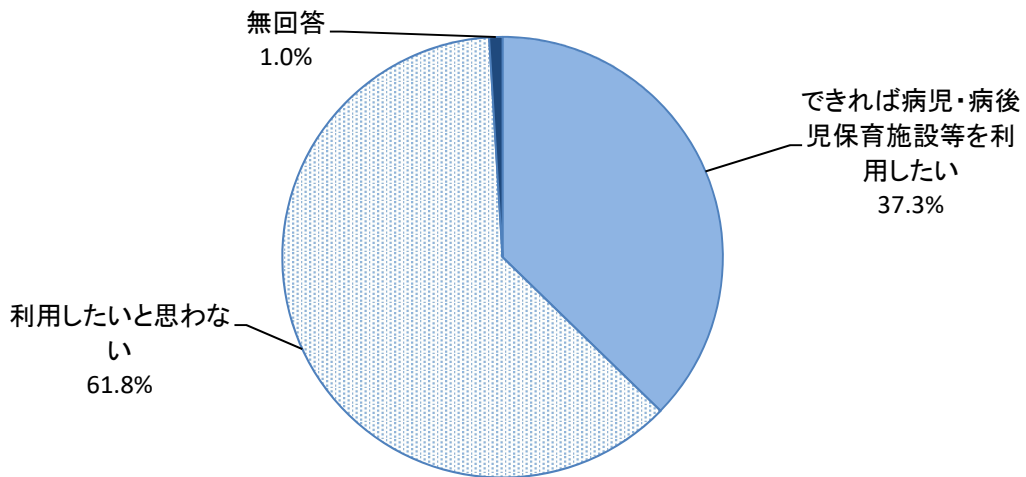
n=731

区分	回答件数	構成比
父親が休んだ	215	29.4%
母親が休んだ	602	82.4%
親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった	312	42.7%
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	89	12.2%
病児・病後児の保育を利用した	19	2.6%
ベビーシッターを利用した	2	0.3%
ファミリー・サポート・センターを利用した	5	0.7%
その他	3	0.4%
無回答	12	1.6%
計	1,259	172.2%

## ◆日数

区分	計	1～5日	6～9日	10日以上	無回答
父親が休んだ	215	176	6	26	7
	100.0%	81.9%	2.8%	12.1%	3.3%
母親が休んだ	602	299	68	216	19
	100.0%	49.7%	11.3%	35.9%	3.2%
親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった	312	192	27	78	15
	100.0%	61.5%	8.7%	25.0%	4.8%
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	89	44	6	33	6
	100.0%	49.4%	6.7%	37.1%	6.7%
病児・病後児の保育を利用した	19	15	1	2	1
	100.0%	78.9%	5.3%	10.5%	5.3%
ベビーシッターを利用した	2	2	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ファミリー・サポート・センターを利用した	5	4	0	1	0
	100.0%	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%
その他	3	0	0	1	2
	100.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%

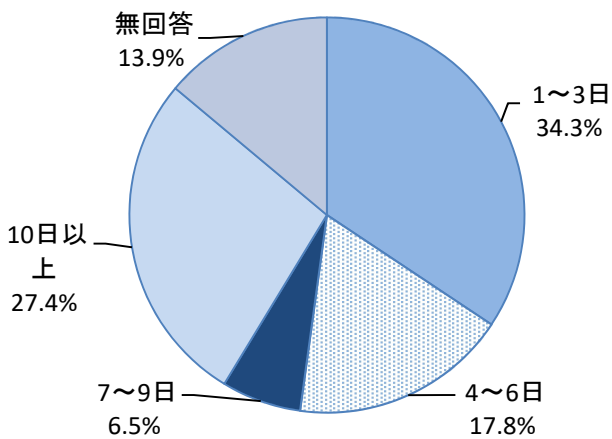
問15-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。



n=617

区分	回答件数	構成比
できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	230	37.3%
利用したいと思わない	381	61.8%
無回答	6	1.0%
計	617	100.0%

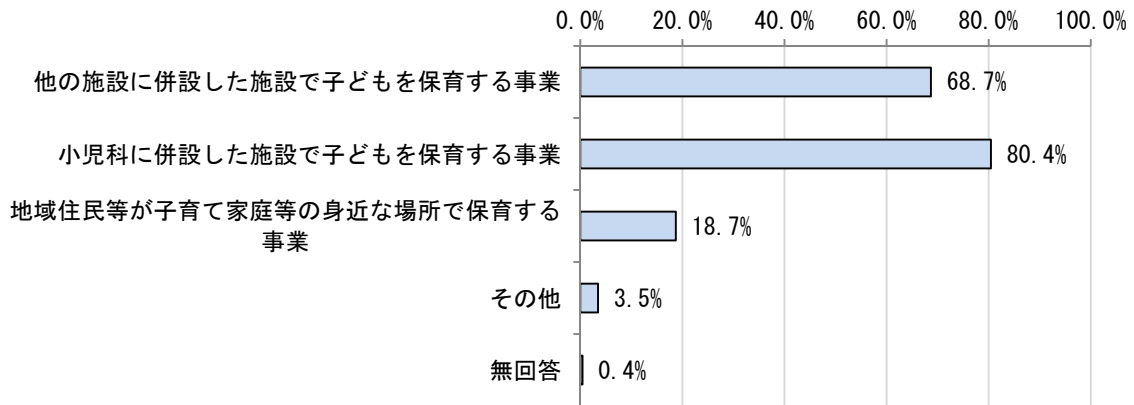
◆利用したい日数



n=230

区分	回答件数	構成比
1~3日	79	34.3%
4~6日	41	17.8%
7~9日	15	6.5%
10日以上	63	27.4%
無回答	32	13.9%
計	230	100.0%

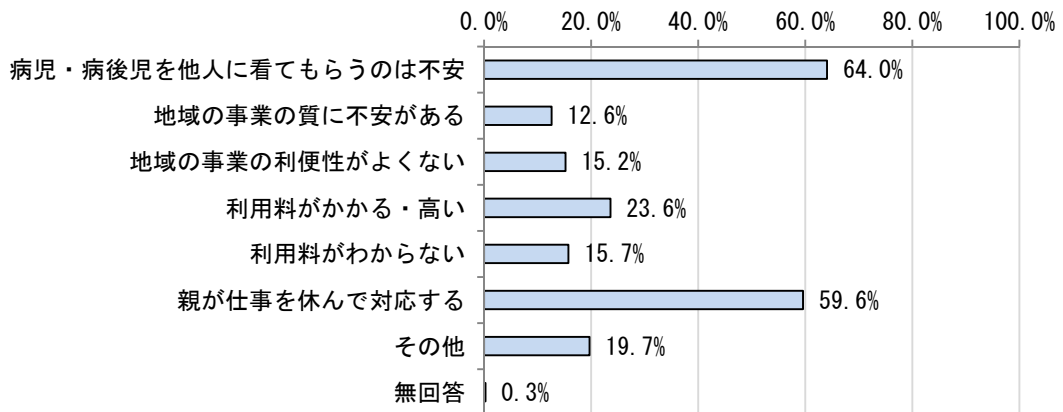
問15-3 問15-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方におたずねします。上記の目的で子どもを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思われますか。(複数回答可)



n=230

区分	回答件数	構成比
他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業	158	68.7%
小児科に併設した施設で子どもを保育する事業	185	80.4%
地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業	43	18.7%
その他	8	3.5%
無回答	1	0.4%
計	395	171.7%

問15-4 問15-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方におたずねします。そう思われる利用について当てはまる番号すべてに○をつけてください。(複数回答可)



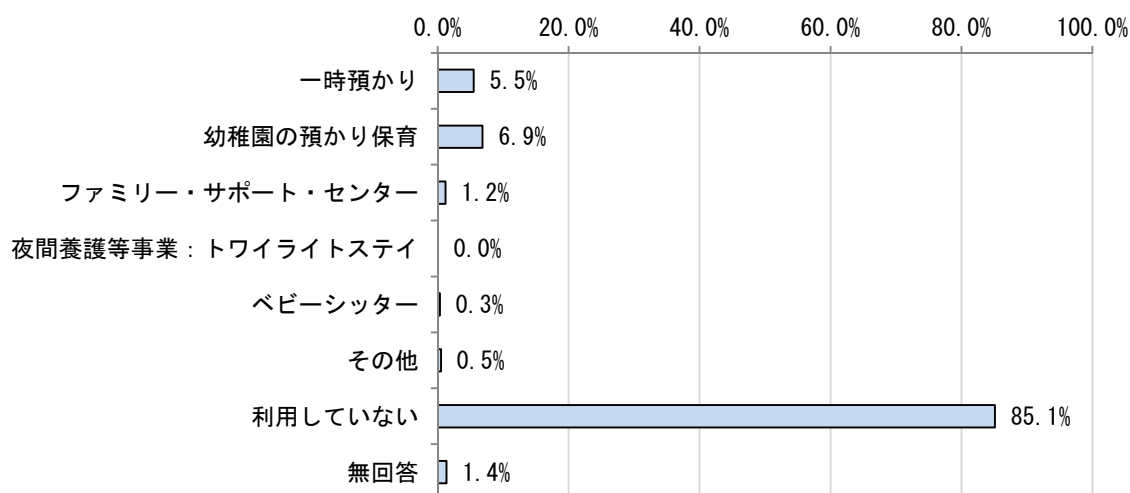
n=381

区分	回答件数	構成比
病児・病後児を他人に看てもらうのは不安	244	64.0%
地域の事業の質に不安がある	48	12.6%
地域の事業の利便性がよくない	58	15.2%
利用料がかかる・高い	90	23.6%
利用料がわからない	60	15.7%
親が仕事を休んで対応する	227	59.6%
その他	75	19.7%
無回答	1	0.3%
計	803	210.8%



< 8 > 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 1 6 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(複数回答可)



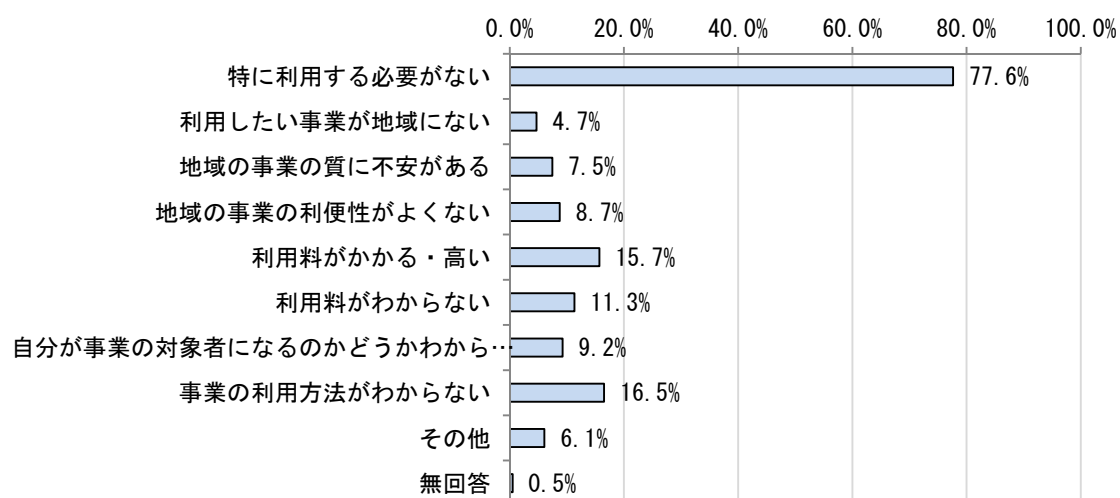
n=1,182

区分	回答件数	構成比
一時預かり	65	5.5%
幼稚園の預かり保育	81	6.9%
ファミリー・サポート・センター	14	1.2%
夜間養護事業：トワイライトステイ	0	0.0%
ベビーシッター	4	0.3%
その他	6	0.5%
利用していない	1,006	85.1%
無回答	16	1.4%
計	1,192	100.8%

◆日数

区分	計	1～4日	5～9日	10日以上	無回答
一時預かり	65	27	11	24	3
	100.0%	41.5%	16.9%	36.9%	4.6%
幼稚園の預かり保育	81	22	14	39	6
	100.0%	27.2%	17.3%	48.1%	7.4%
ファミリー・サポート・センター	14	6	3	4	1
	100.0%	42.9%	21.4%	28.6%	7.1%
夜間養護等事業：トワイライトステイ	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ベビーシッター	4	1	1	2	0
	100.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%
その他	6	2	0	2	2
	100.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%

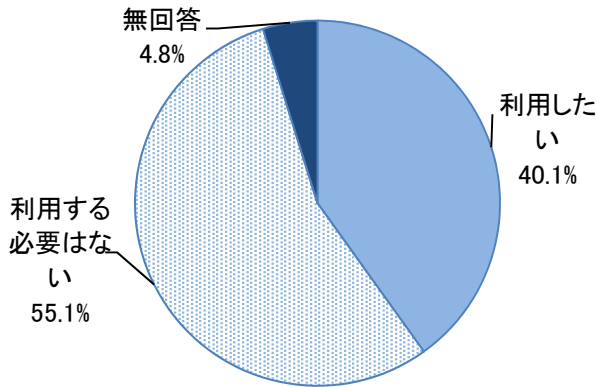
問16-1 現在利用していない理由は何ですか。(複数回答可)



n=1,006

区分	回答件数	構成比
特に利用する必要がない	781	77.6%
利用したい事業が地域にない	47	4.7%
地域の事業の質に不安がある	75	7.5%
地域の事業の利便性がよくない	88	8.7%
利用料がかかる・高い	158	15.7%
利用料がわからない	114	11.3%
自分が事業の対象者になるのかどうかわからない	93	9.2%
事業の利用方法がわからない	166	16.5%
その他	61	6.1%
無回答	5	0.5%
計	1,588	157.9%

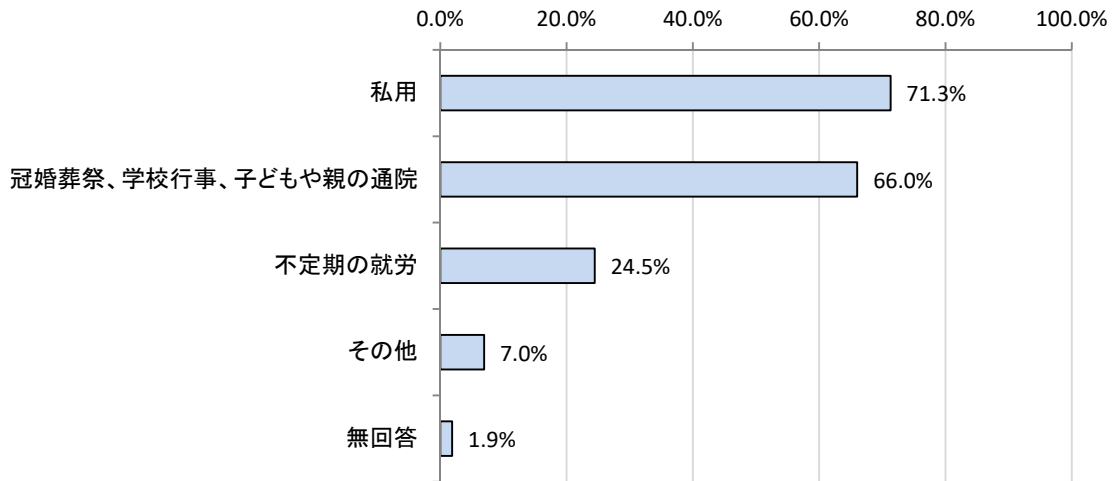
問17 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。(複数回答可)



n=1,182

区分	回答件数	構成比
利用したい	474	40.1%
利用しない	651	55.1%
無回答	57	4.8%
計	1,182	100.0%

■ 利用希望の事由



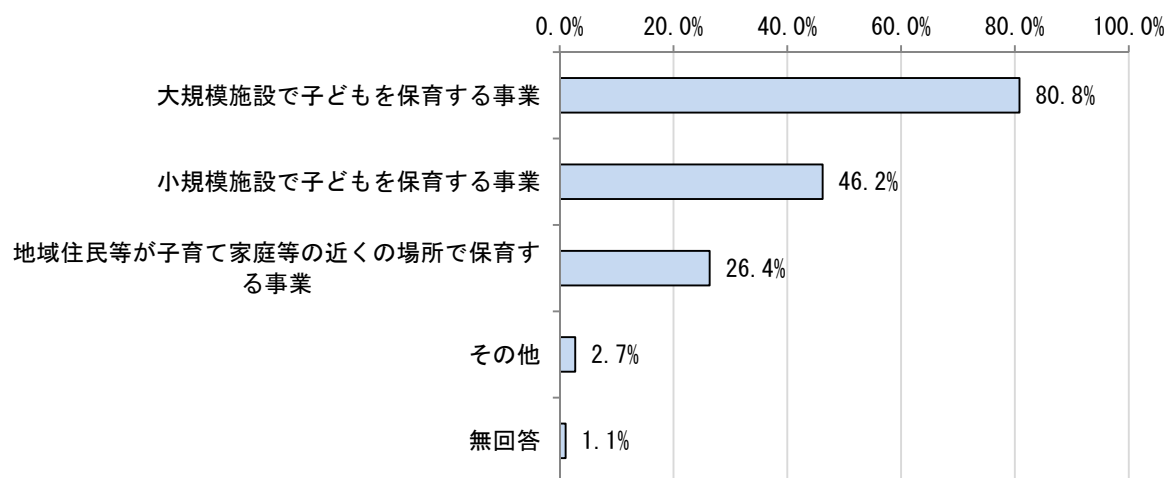
n=474

区分	回答件数	構成比
私用	338	71.3%
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院	313	66.0%
不定期の就労	116	24.5%
その他	33	7.0%
無回答	9	1.9%
計	809	170.7%

◆ 日数

区分	計	1~4日	5~9日	10~14日	15日~29日	30日以上	無回答
私用	338	57	78	112	41	39	11
	100.0%	16.9%	23.1%	33.1%	12.1%	11.5%	3.3%
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院	313	88	93	93	17	11	11
	100.0%	28.1%	29.7%	29.7%	5.4%	3.5%	3.5%
不定期の就労	116	20	24	28	12	22	10
	100.0%	17.2%	20.7%	24.1%	10.3%	19.0%	8.6%
その他	33	12	3	9	2	0	7
	100.0%	36.4%	9.1%	27.3%	6.1%	0.0%	21.2%

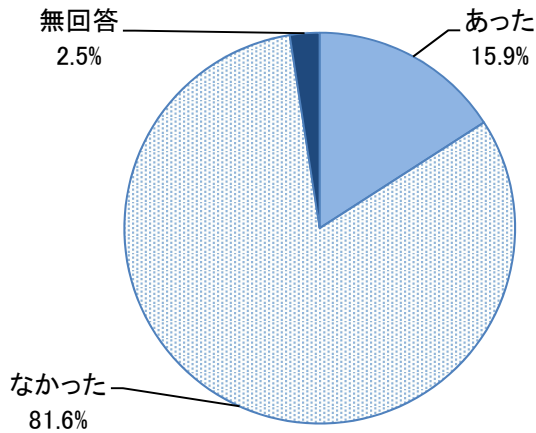
問17-1 問17で「1. 利用したい」に○をつけた方におたずねします。問17の目的でお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思われますか。(複数回答可)



n=474

区分	回答件数	構成比
大規模施設で子どもを保育する事業	383	80.8%
小規模施設で子どもを保育する事業	219	46.2%
地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業	125	26.4%
その他	13	2.7%
無回答	5	1.1%
計	745	157.2%

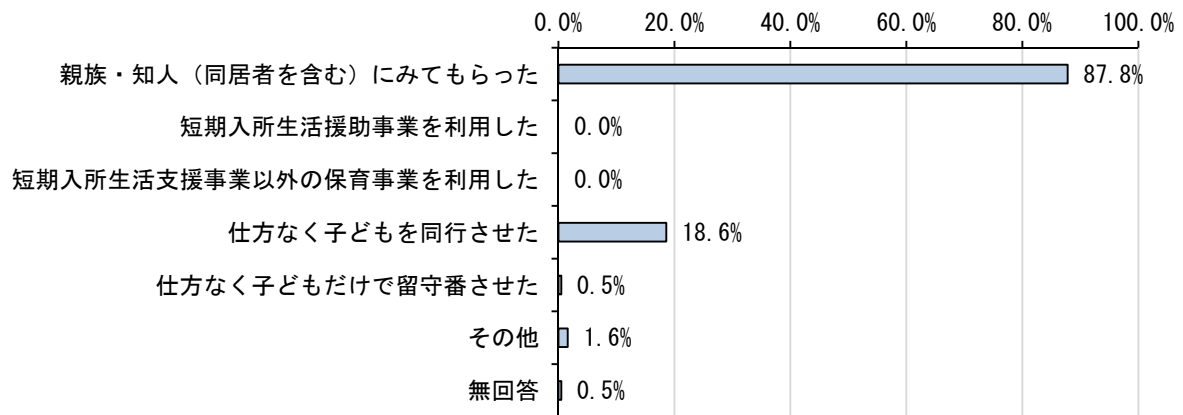
問18 この1年間に、保護者の都合（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（複数回答可）



n=1,182

区分	回答件数	構成比
あった	188	15.9%
なかった	965	81.6%
無回答	29	2.5%
計	1,182	100.0%

■あった場合の対処方法



n=188

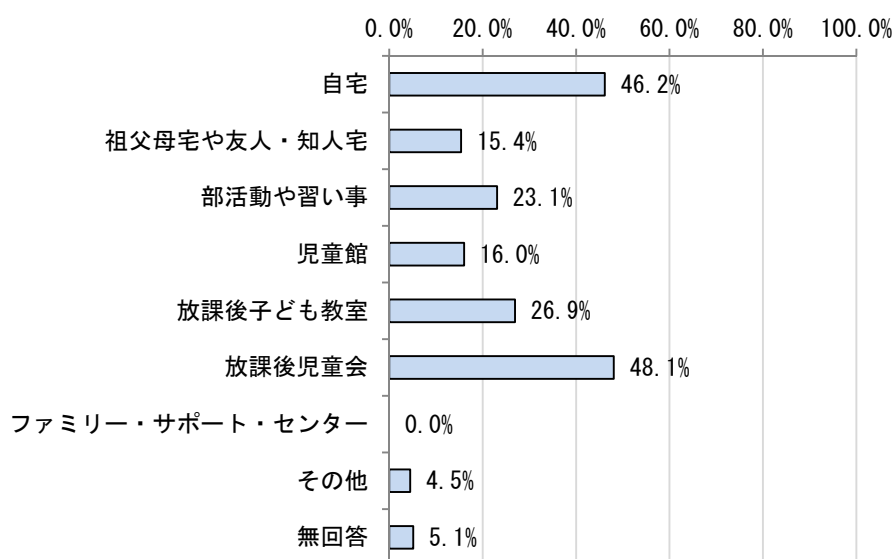
区分	回答件数	構成比
親族・知人（同居者を含む）にみてもらった	165	87.8%
短期入所生活援助事業を利用した	0	0.0%
短期入所生活支援事業以外の保育事業を利用した	0	0.0%
仕方なく子どもを同行させた	35	18.6%
仕方なく子どもだけで留守番させた	1	0.5%
その他	3	1.6%
無回答	1	0.5%
計	205	109.0%

◆日数

区分	計	1～4日	5～9日	10日以上	無回答
親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった	165	96	35	26	8
	100.0%	58.2%	21.2%	15.8%	4.8%
仕方なく子どもを同行させた	35	17	6	5	7
	100.0%	48.6%	17.1%	14.3%	20.0%
仕方なく子どもだけで留守番させた	1	1	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	3	2	0	0	1
	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%

< 9 > 小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 19 宛名のお子さんについて、小学校低学年のうち、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(複数回答可)



n=156

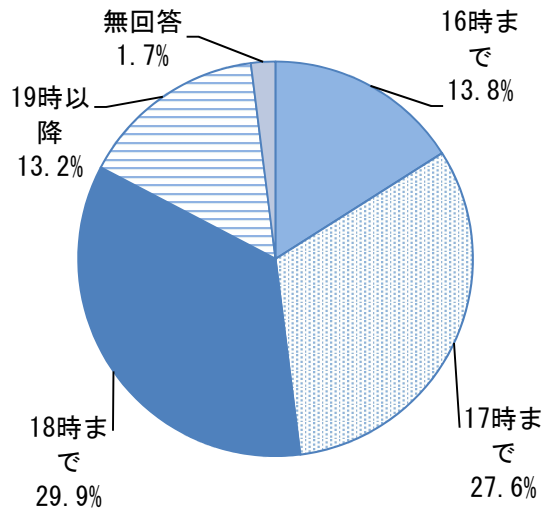
区分	回答件数	構成比
自宅	72	46.2%
祖父母宅や友人・知人宅	24	15.4%
部活動や習い事	36	23.1%
児童館	25	16.0%
放課後子ども教室	42	26.9%
放課後児童会	75	48.1%
ファミリー・サポート・センター	0	0.0%
その他	7	4.5%
無回答	8	5.1%
計	289	185.3%

◆日数（1週当たり）

日数

区分	計	1日	2日	3日	4日	5日以上	無回答
自宅	72	4	11	19	8	26	4
	100.0%	5.6%	15.3%	26.4%	11.1%	36.1%	5.6%
祖父母宅や友人・知人宅	24	11	6	1	2	2	2
	100.0%	45.8%	25.0%	4.2%	8.3%	8.3%	8.3%
部活動や習い事	36	7	17	9	1	1	1
	100.0%	19.4%	47.2%	25.0%	2.8%	2.8%	2.8%
児童館	25	1	7	2	0	14	1
	100.0%	4.0%	28.0%	8.0%	0.0%	56.0%	4.0%
放課後子ども教室	42	7	14	1	1	18	1
	100.0%	16.7%	33.3%	2.4%	2.4%	42.9%	2.4%
放課後児童館	75	1	7	9	4	53	1
	100.0%	1.3%	9.3%	12.0%	5.3%	70.7%	1.3%
ファミリー・サポート・センター	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	7	0	1	1	0	4	1
	100.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	57.1%	14.3%

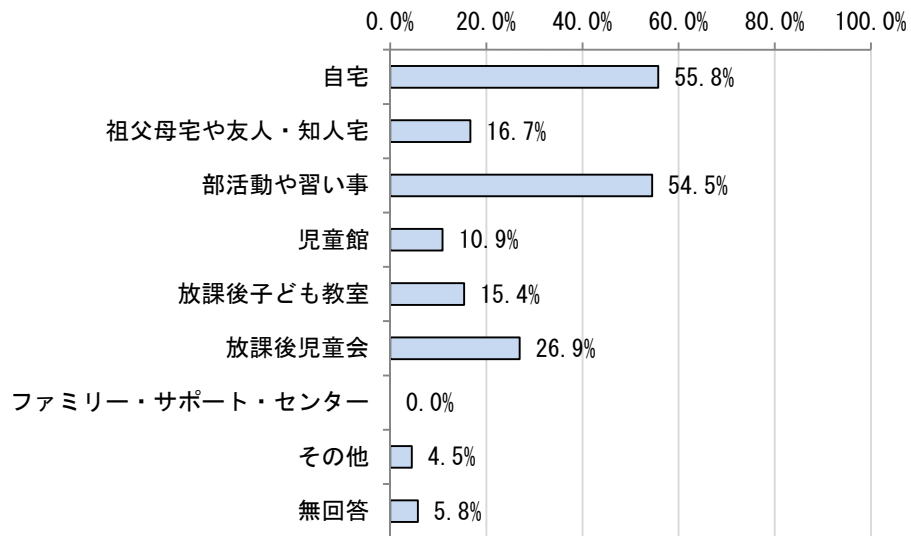
◆放課後児童会の利用希望時間



n=75

区分	回答件数	構成比
16時まで	11	13.8%
17時まで	19	27.6%
18時まで	30	29.9%
19時以降	12	13.2%
無回答	3	1.7%
計	75	100.0%

問20 宛名のお子さんについて、小学校高学年になったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(複数回答可)



n=156

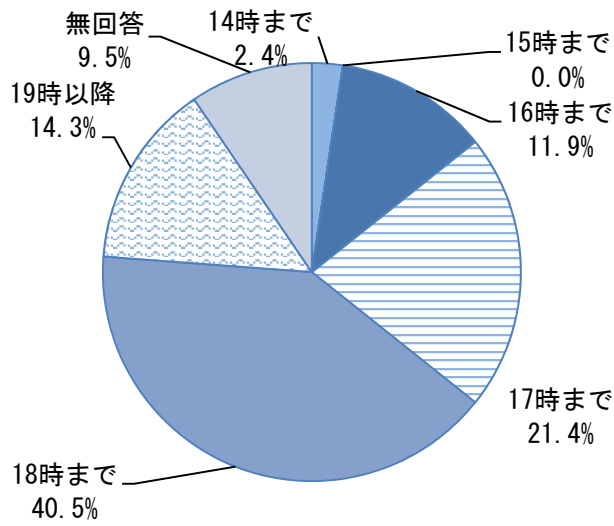
区分	回答件数	構成比
自宅	87	55.8%
祖父母宅や友人・知人宅	26	16.7%
部活動や習い事	85	54.5%
児童館	17	10.9%
放課後子ども教室	24	15.4%
放課後児童会	42	26.9%
ファミリー・サポート・センター	0	0.0%
その他	7	4.5%
無回答	9	5.8%
計	297	190.4%

◆日数（1週当たり）

区分	計	1日	2日	3日	4日	5日以上	無回答
自宅	87	11	16	16	5	31	8
	100.0%	12.6%	18.4%	18.4%	5.7%	35.6%	9.2%
祖父母宅や友人・知人宅	26	12	7	3	2	1	1
	100.0%	46.2%	26.9%	11.5%	7.7%	3.8%	3.8%
部活動や習い事	85	11	19	20	7	23	5
	100.0%	12.9%	22.4%	23.5%	8.2%	27.1%	5.9%
児童館	17	4	7	1	0	4	1
	100.0%	23.5%	41.2%	5.9%	0.0%	23.5%	5.9%
放課後子ども教室	24	6	8	1	1	8	0
	100.0%	25.0%	33.3%	4.2%	4.2%	33.3%	0.0%
放課後児童館	42	3	8	1	2	27	1
	100.0%	7.1%	19.0%	2.4%	4.8%	64.3%	2.4%
ファミリー・サポート・センター	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	7	0	1	0	0	3	3
	100.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	42.9%	42.9%



◆放課後児童会の利用希望時間

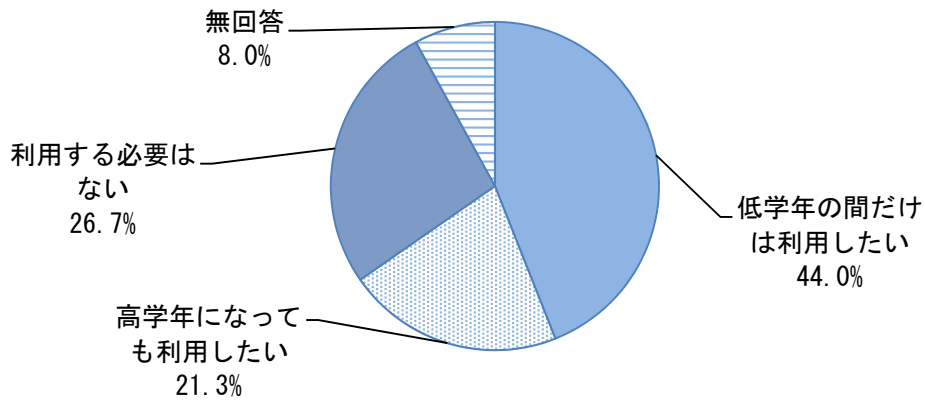


n=42

区分	回答件数	構成比
14時まで	1	2.4%
15時まで	0	0.0%
16時まで	5	11.9%
17時まで	9	21.4%
18時まで	17	40.5%
19時以降	6	14.3%
無回答	4	9.5%
計	42	100.0%

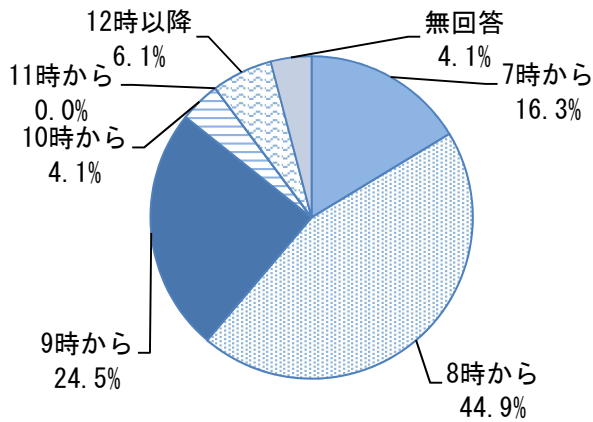
問21 問19または問20で「6. 放課後児童会」に○をつけた方におたずねします。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童会の利用希望はありますか。

(1) 土曜日



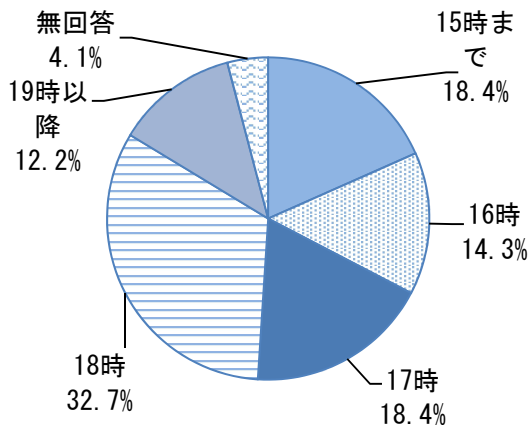
区分	回答件数	構成比
低学年の間だけは利用したい	33	44.0%
高学年になっても利用したい	16	21.3%
利用する必要はない	20	26.7%
無回答	6	8.0%
計	75	100.0%

◆利用時間（何時から）



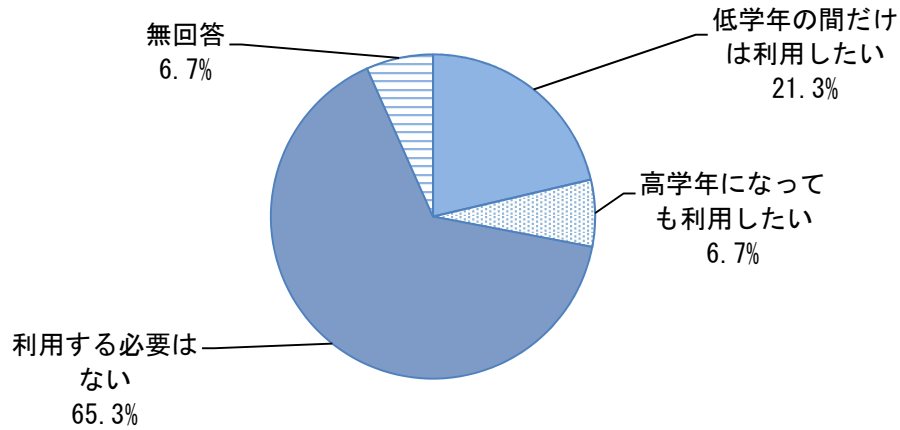
区分	回答件数	構成比
7時から	8	16.3%
8時から	22	44.9%
9時から	12	24.5%
10時から	2	4.1%
11時から	0	0.0%
12時以降	3	6.1%
無回答	2	4.1%
計	49	100.0%

◆利用時間（何時まで）



区分	回答件数	構成比
15時まで	9	18.4%
16時	7	14.3%
17時	9	18.4%
18時	16	32.7%
19時以降	6	12.2%
無回答	2	4.1%
計	49	100.0%

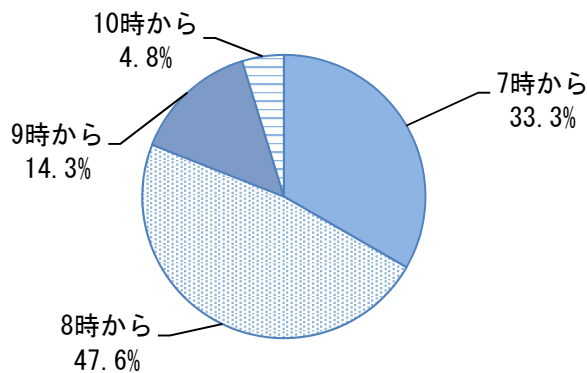
(2) 日曜・祝日



n=75

区分	回答件数	構成比
低学年の間だけは利用したい	16	21.3%
高学年になっても利用したい	5	6.7%
利用する必要はない	49	65.3%
無回答	5	6.7%
計	75	100.0%

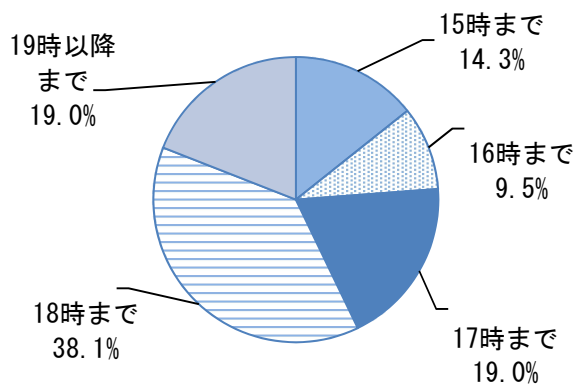
◆利用時間（何時から）



n=21

区分	回答件数	構成比
7時から	7	33.3%
8時から	10	47.6%
9時から	3	14.3%
10時から	1	4.8%
計	21	100.0%

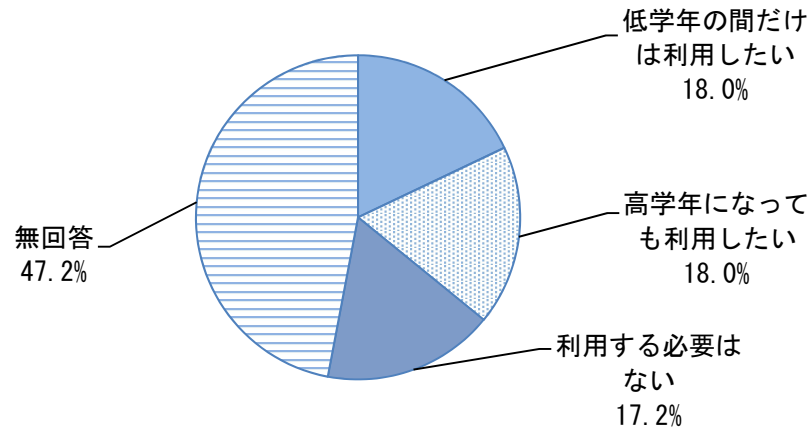
◆利用時間（何時まで）



n=21

区分	回答件数	構成比
15時まで	3	14.3%
16時まで	2	9.5%
17時まで	4	19.0%
18時まで	8	38.1%
19時以降まで	4	19.0%
計	21	100.0%

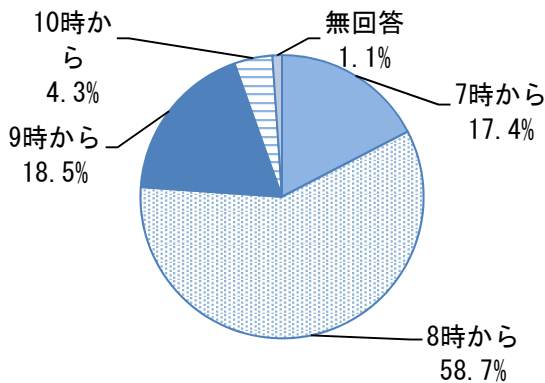
問22 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童会の利用希望はありますか。



n=156

区分	回答件数	構成比
低学年の間だけは利用したい	43	18.0%
高学年になっても利用したい	49	18.0%
利用する必要はない	49	17.2%
無回答	15	47.2%
計	156	100.4%

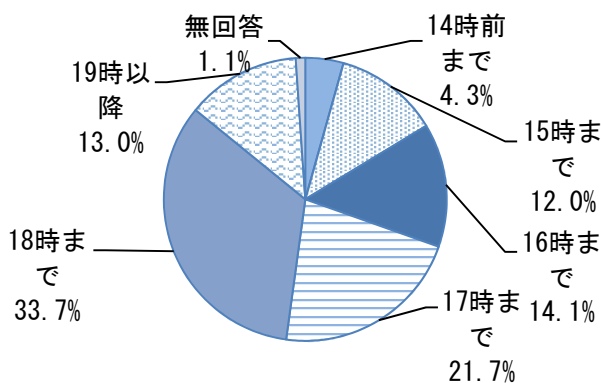
◆利用時間（何時から）



n=92

区分	回答件数	構成比
7時から	16	17.4%
8時から	54	58.7%
9時から	17	18.5%
10時から	4	4.3%
無回答	1	1.1%
計	92	100.0%

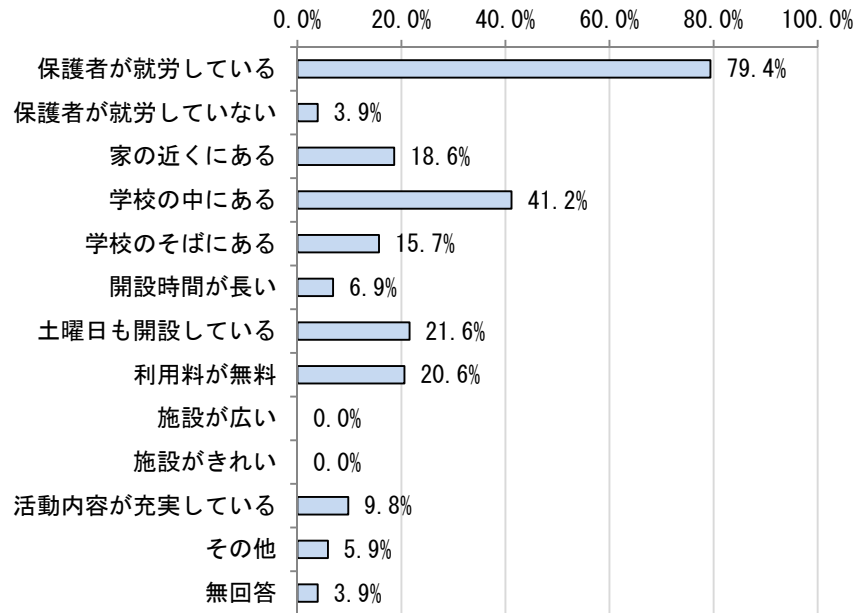
◆利用時間（何時まで）



n=92

区分	回答件数	構成比
14時前まで	4	4.3%
15時まで	11	12.0%
16時まで	13	14.1%
17時まで	20	21.7%
18時まで	31	33.7%
19時以降	12	13.0%
無回答	1	1.1%
計	92	100.0%

問23 問19または問20で「4. 児童館」「5. 放課後子ども教室」「6. 放課後児童会」に○をつけた方におたずねします。それらの選択した理由はなんですか。(上位3つまで)



n=102

区分	回答件数	構成比
保護者が就労している	81	79.4%
保護者が就労していない	4	3.9%
家の近くにある	19	18.6%
学校の中にある	42	41.2%
学校のそばにある	16	15.7%
開設時間が長い	7	6.9%
土曜日も開設している	22	21.6%
利用料が無料	21	20.6%
施設が広い	0	0.0%
施設がきれい	0	0.0%
活動内容が充実している	10	9.8%
その他	6	5.9%
無回答	4	3.9%
計	232	227.5%

問24 すべての方におたずねします。放課後の子どもの居場所について、どのような意見をお持ちかお聞かせください。

1	仕事が終わるまで、安全で楽しく過ごせる場所があれば助かります。そして、親も安心して仕事ができます。
2	一週間に一度くらいは友達と交流できる場があってもいいと思うが、児童会？は仕事をしていないと入れないようなので、習い事や時々友達と遊ぶ以外は自宅にいる事になると思います。
3	保護者が就労中の時間帯の間は、最低みてほしい。しかし、まったく見知らぬところに預けるのもこわいので、たとえば、昔行っていた保育園で、小学生になっても勉強等みてもらえたりする場所かつ自宅付近であれば安心して預けたいと思う。多少有償分があったとしても。しかし、このような青森市だと希望するところに入園させること、そういう施設が少ないのが問題だと思う。
4	長期休暇中のみ、放課後児童会利用という選択が出来るようにして欲しい。普段は児童センターに行かせている（上の子）が、本当は放課後児童会に行かせたい。（放課後児童会の方が好きだそうです。一年の時行っていました。）長期休暇以外は放課後へ預ける必要がないため、やめました。学校がない日は仕事をしているため、預けなくてははいけません。
5	できれば自宅で過ごさせたいが、仕事のため難しく、子供だけで過ごさせるのも不安あり。子供教室や放課後児童会はありがたいが、毎日同じ場所同じ顔ぶれで、マンネリ、たいくつなど無為な時間となっているのでは？と思う。子の成長のため有意義な時間・場所を与えたい。
6	放課後子ども教室や放課後児童会の場所があるので安心して預けられ仕事ができます。
7	全ての小学校に児童会を作ってほしい。高学年になっても児童会が利用しやすい場所にしてほしい。
8	放課後児童会の利用時間を長くしてほしい。日曜・祝日も預かってもらえるとうれしい。（両親、祖父ともに仕事がある為。シフトを調整して何とかしていますが…）
9	今現在、祖父母も一緒に暮らしているし、私自身も働いていないので、常に家に誰かしら居る状態で、“子供が家に一人である、”という状況を作らないようにしたい。
10	勉強を頑張ったあとなので、ゆったりと過ごせる安心できる場所。
11	北海道の千歳市は職員の方も在住している無料開放の児童館が各地区毎複数存在します。とても子育てをしやすい街だと感じました。冬場は子供が遊べる屋内施設が青森市にはほぼ無いように見受けられるので、気軽に子供が出入りできる児童館を地区毎に作って欲しい。
12	放課後子ども教室も、放課後児童会も、就労している私たち親の代わりに子どもを見てくれているので、存在自体に感謝しています。ただ、児童数が多い割にスペースが狭かったり、騒がしかったりする様子を見ると、安心して過ごせる場所なのかという心配もあります。指導者の加配と広いスペースの確保を希望します。
13	昔のように自由に遊べる環境ではなくなった。少子化と過疎化によって隣近所のコミュニケーション機能が低下して安全性が保持できなくなった。その為、居場所を明確にする必要がでてきたと思う。その他、親の共働きで子供がホッとできる場所や時間が少ないと思うので、多くは望みませんが、そんな場所が必要だと感じます。
14	親が就労している為、放課後の子供の居場所があると助かります。祖母も見てくれますが、冬休み・夏休みなどの長期休みの時などは長時間だと祖母も疲れてしまうし、子供も友達と遊びたいようなので、週に2回位は利用を考えています。
15	色々な学年の子供たちが一緒に遊べる（宿題や勉強も含め）のであれば一人っ子の我が子にとってはありがたい事だと思います。また、年配のボランティアの方とかと触れ合うのも子供にとってはとてもいいことだと思います。
16	大人の目が届く場所。友達と勉強したり遊んだりできる安全な場所である事。
17	子供たちが集まり、みんなで活動したり勉強したりするような場所が多くあればいいと思う。
18	夕方5時までには帰宅してもらおう。それまでは友達の家や外で遊んでもよし、児童館にいるのもよしです。
19	児童会の支援員の人選をもっと厳しくして欲しい。やる気がなく、きちんと対応できない支援員がいることが残念。
20	大人が見守りをするだけでなく、対話や支援のある環境が望ましい。

21	安全で無料であれば十分です
22	色々な学年の子達と交流して、地域の方の力も借りながら安心して過ごして色々な事を学んでほしい。
23	夏休み・冬休みの児童会の開始時間が 7:30 くらいだと助かります。フルタイム勤務だと 8:00 開始では難しい。
24	障害児で体が弱い為、本人の体調にもよりますが、基本自宅が多くなるかと思いますが、デイサービスを利用できる日はしたいと検討中です。
25	夏休みには7時台から行けるようにしてほしい
26	低学年のうちは自分で帰宅させるのも不安なので、学校内の児童会にと思っていましたが、高学年が幅を利かせて、行きたくないやめてしまう低学年の子もいると耳にしている、その点はとても不安です。
27	児童会を利用できることは大変助かるが、児童会を利用していない友達と放課後に遊びたいとなったらどう対応すればいいのか今から心配。また、利用者の情報が無いためいろいろ不安も感じる。
28	放課後児童会を希望していますが、家の地区の児童会では外で遊べなかつたりして子どもが飽きやすいので、子供たちが退屈しないような場になるよう工夫してほしい。
29	現在、上の子たちは児童会を利用しているが、アットホームだし子どもが行きたいと言うので、是非とも6年生まで利用したい。下の兄弟の有無に関わらず全員が6年生まで利用できるようにしてほしい。夏休みには7時から開いてほしい。
30	母子世帯で両親と同居しているので、放課後は両親（子どもの祖父母）と一緒に過ごしてもらおうと（家で）考えていますが、祖母の介護もあるため、放課後児童会を利用することになるかもしれません。子どもにとっては、他の子供たちと過ごした方が楽しいのかな、とも考えています。
31	共働き世帯であり、学年が低いうちは自宅に居させることに不安があるため、大人の目が届く場所で過ごさせたい。ただ、利用時間が保育園に比べ短く、送迎できず単独で通わざるを得ない状況が予想される為、開設時間の検討を希望する。
32	住んでいる地域に児童館がないため、学校内の放課後児童会を利用していますが、児童館に行かせている人の話によると「お金はかからない」とか「イベントが沢山ある」とか、有料の児童会より充実しているようで、少々不満を感じます。児童会は月に一回の利用でも月額での支払いとなるのは納得いかないし、利用をためらってしまいます。一時保育のように気軽に利用できるようなものになればありがたいのですが。
33	安心して利用する子どもが多い場所だといいなと考えています。少ないと、淋しい気持ちにさせてしまいそう。
34	先生などに見てもらいたい
35	上の子たちが去年まで校内の子供教室に通っていた。本人たちの希望で行き始めたのだが、一人の先生と合わず（言い方が冷たい）行かなくなった。その先生は、同じ学校に通う子の親でもあり要望も言い辛かった。できれば、先生には同じ校内に自分の子がいない人にしてほしい。
36	安心できる場所
37	低学年のうちは、家で一人で留守番させるのには不安がある。できれば住んでいる地域の方（知っている人）が見てくれるような場所があれば嬉しい。地域の集会場などを開放して、子供の居場所を作ってくれればと思います。
38	誰もいない家に一人で留守番させるのは不安がある為、できれば、放課後はみてもらえる場所があった方がよい。
39	児童会、子供教室の開いている時間が短いので、行かせたとしても結局夕方一人で帰宅し、親が帰宅するまで一人で留守番をするという状況になってしまうので、もっと遅くまで開いてほしい。
40	子どもも親も安心できるような場所。やはり、家で一人で留守番させるのは不安。
41	一人っ子なので、できるだけいろいろな子と沢山の事を共有したり学んだりして欲しい。保護者の就労が不規則で、子供と一緒に過ごせる時間が決まっておらず、子供の居場所を確実に確保できるような施設や場所があれば利用させてもらいたいと思っています。
42	安全に過ごせること

43	低学年のうちは児童館や放課後児童会を利用したいですが、地域によって有料・無料など差があると聞きます。このような地域による格差をなくし、子供たちが安心して過ごせる場所の確保をお願いします。
44	家に家族がいる場合は、まずは自宅に帰るべきだと思います。低学年でも、家族が不在の家に一人で居るような場合もあるようなので、対処が必要だと思います。
45	色々な経験ができ、自主性を伸ばして貰えるとうれしいが、預かって貰っているだけで有り難いとも思います。
46	夏休み・冬休みなどの利用の際、弁当持参となりますが、有料でも弁当提供もできるのであれば、親の負担も減って助かります。
47	低学年のうちは、大人のいる環境にさせたい。
48	大人の目があるところに託せると安心
49	家で一人で過ごすより、お友達と遊んだり、勉強をして過ごす方がいいと思う。
50	天気の良い日は公園または校庭で遊ぶが、公園でのボール遊びが禁止されてしまったようで、遊べる範囲や遊びの種類が少なくなっている。公園に柵を設けるなどの対応をしてもらえれば、ボール遊びも可能になると思います。
51	子どもが安心して楽しんで過ごせる場所。友達・年上の子・年下の子・大人と様々な年代の人と交流して社会性を身に付けることのできる場所。
52	放課後児童会は、狭い教室の中で体を動かす自由がなく、上の子は行きたがらなくなり3年生で止めました。子どもが自分で決めて自由を感じながら過ごせる、見守る大人もいるプレイパークのようなところで過ごせれば良いと思っています。
53	子どもが、大人が見守る中で安心してリラックスして過ごせる騒がしくない場所が全ての子に必要だと思います。
54	自分たちが子供のころは、一人で結構な距離を通学するのも普通だったが、昨今ではやはり心配でそういうわけにはいかないの、公共の場で子供を見守ってもらえる施設があれば安心です。
55	共働きなので、仲よし会に頼るしかない状況だが、本来であれば、自宅でゆっくりさせてあげたい。
56	友達と遊べる環境を望みます
57	出来れば自宅がいい
58	部活など子供が活動しやすい場所がいい
59	もし、養護学校に通うことになると、児童会などは利用できないので、放課後デイサービスを利用する事になると思いますが、数が足りていないので、今後増えれば良いなと思います。
60	安全に過ごせて有意義な時間が持てる場所であってほしい
61	友達と遊んだり、習い事をしたり、自分の思うように好きな時間を過ごせたら良いと思う。
62	習い事以外は自宅ですごさせようと思っています。自宅が2世帯住宅で、祖父が見てくれるので。
63	自宅から近く、見てくれている人がいれば良い。
64	子どもが3人いるが、児童館に行きたがらない。自宅の方が良いと言っています。
65	学校の中で親の就労時間中に預かり、宿題を済ませてほしい。ただ、トイレが古く汚いのが子供には抵抗があるようで、あまり学校の中には長時間いたくないようです。
66	子どもの社会性を伸ばすことのできるいい環境
67	学校で、放課後に部活があれば良いと思います。児童館や放課後こども教室がもっと楽しく過ごせる場所だといいです。
68	小学生になった時に預け先の開始時間がもう少し早くなれば送り迎えの心配が減るのですが…
69	子どもだけでは心配なので、なるべく一人で留守番はさせないようにしようと思っています。
70	安全で大人の目が届き、異年齢間で活動的に遊べる場所
71	近くにそろばん塾やクラブ活動ができる場所があればいいが、少子化で今もない。大きい小学校に入りたい。今は少人数で、何年前前から合併の話があるが、全く進んでいない。
72	母子家庭で一人っ子なので、学校の中にある児童会であれば友達もいるし、帰りは私がまっすぐ迎えに行けるのでいいなと思っています。



73	学校の教室が児童数に対して狭く感じます。夏は暑苦しく、冬は感染症など心配です。また、ただ預かるだけでなく、子供が興味を持ったり、体を動かしたりの何らかの教育的活動も取り入れてもらえれば、子供たちの時間も充実したものになるのでは、と思います。ただ、そこにいるだけでは退屈しているようです。
74	学校内に児童会があるので仕事で安心できます。場所が別だと心配なので。誘拐などが心配なので、18時過ぎたような夜に一人で歩いて帰る子がいると不安です。
75	一人で家に置いておくのは不安なので、見てくれる人や事業があればそこに預かりたい。
76	放課後も子供同士で遊んだり勉強したりする場所が欲しい。外遊びも大事だが、事故や不審者が心配。
77	子供同士の集いの場がよい。監視する大人も必須で、争いの解決方法を教えてほしい。利用料の負担は当然だと思う。
78	出来る事なら、大人の目のあるところで見守って欲しいが、放課後児童会の職員の質の低さを上の子の時に実感したので、下の子も利用するつもりはありません。狭い空間で大人の感情のままに対応されるならば、自宅へ帰らせる方が安心です。
79	一人で過ごす時間が長いと不安なので少しでも大人の目がある所に集団で居てくれると安心です。
80	子どもが安全に不安なく過ごせる所。
81	一人で過ごすのは不安があるので、親が帰るまで誰かにみてもらいたい。
82	勉強や運動ができて、なおかつ友達と一緒に場所が会社や学校の近くにあって欲しい。とは言え、毎日児童館や児童会にいるのは精神的にも辛くなってしまわないかと不安もある。たまに自宅でんびりさせてあげたいと思うが、大人が不在の時は、火事や不審者などの心配があるので、結局それらの場所を利用せざるをえないと思っています。
83	児童会の申し込みをもっと簡単にできるようにして欲しい
84	うちは母子家庭ですが、祖父母が同居しているので自宅でみてもらえて助かってます。しかし、もし、祖父母がいなければどこかに預けざるを得ません。出来る事なら自宅がいいと思いますが、勤め人には子供を頼める所があるというのは安心材料なので、必要だと思います。
85	18時までの仕事だと、特に冬場は18:30までにお迎えが間に合わないので、19時までにして欲しい。
86	指導員などの大人が見守っている環境の下で遊び（身体を動かす外遊びを含む）や学習ができるような場所で過ごせるとよいと思います。
87	宿題をまずやる習慣をつけさせたいのと、児童会の方が友達と過ごせるので、祖父母宅で一人で遊ぶよりも楽しいと思います。
88	子どもが選べるように選択肢を多くして欲しい
89	低学年のうちは親か祖父母で対応していきたい。
90	本来は子どもが帰るまでに家に家族がいる場所が理想ですが…安心して友達と一緒に待てる場所があるのもとても助かります。
91	児童会がいいのだが、宿題を見てくれない、おやつがないと子どもが可哀そうだなと思う。だが、親が働いている間、安心して子供を預けられる場所があるというのはとてもありがたい。
92	居場所が無ければ仕事に行けないという印象。経験上、子供同士の揉め事、物の紛失など、放課後の児童館などの方がクラスにいる時より多く、合わない子もいると思います。かといって、祖父母やファミリーサポートなどに頼むにも気を遣い、子供も行きたくない家にいたいとなると、居場所（家以外）があっても使い辛いと感じています。
93	できれば低学年のうちだけでも、子供の帰りを家で待っていてあげたい。
94	清潔で安全で、みんなと楽しく過ごせて、先生がちゃんと子供たちを見ていてくれる。
95	就労中は、特に低学年だと学校が終わった後とても心配なので、学校の中に児童会があると、とても安心です。学校の中になく児童会は今すぐにも学校の中に作るべきです。以前は、学校外で、学校から自宅の距離よりも離れたところにあり、その上、踏切を渡って行かなければならないところにありました。学校外の児童会は意味がないのではないのでしょうか？

96	今は働いていないので利用してませんが、以前、長女が放課後児童会を利用していました。家に一人で留守番させるのは不安なので、すごく助かりました。他のクラスや違う学年の子とも仲良くなれるのでいいと思います。
97	本当は、放課後児童会ではなく、自宅にいて欲しいが、火事とか何かあっては困るので預かっているという感じです。正直、どういう感じなのかはわかりませんが、人から聞いた内容からは、何もかも細かいと感じました。安心と安全の為に細かいルールもあるのだと思いました。
98	子供がまだ小さい為、考えたことがありません。
99	家でゲームなどをして過ごすよりは放課後子ども教室などで過ごしてもらいたい。
100	共働きの為、どこかへ預けなければならない。皆、そうしていると思っている。
101	学校内に全て設置してほしい
102	安全で子供にとって楽しめる場所であって欲しい
103	共働きで帰宅が遅い為、自宅ではなく祖父母宅の学区に通学させる予定だが、祖父母もいつも在宅してる訳ではないので、児童会の利用を考えている。一人での留守番は不安があるので、祖父母と児童会の両方に協力してもらって子供だけにはならないようにしたい。
104	親が働いているので放課後児童会は助かる。低学年のうちは、一人でいるより安心。
105	子供にとって、親が仕事と一緒にいられなくても寂しくなく、楽しんで過ごせる安全な場所を確保したいと思います。宿題をやる時間と、お友達や上級生と楽しく遊んで過ごせれば良いと思います。
106	大人がいる環境で過ごして欲しい
107	放課後の子供の居場所があると、安心して仕事をする事ができる。長期休暇中の開設時間がもっと早いと助かる。無料なら我慢できるが、有料ならもう少し質の向上をお願いしたい。
108	宿題をきちんとやらせてくれるような場所が欲しい
109	親の仕事が終わらない時間帯は預かって欲しいです。18:00~18:30 で迎えに行けない人は困ります。もっと遅く 20 時くらいまで安心して過ごせる場所が欲しいです。
110	需要の割に供給が少なく、ひとつの施設で預かる人数が多すぎる気がする。
111	学校内で過ごせる場所（部活、児童会、子ども教室）を、各学校は必ず一つは持つべき。
112	自分の母親が専業主婦だったので、各種施設がどういった所なのか全く知識が無く、少し壁を感じる。その為、自分には専業主婦であり続けるという選択肢しか今のところ頭にない。安心して預けられる所である事が分かったら働きたい。
113	外で遊んでいると近所の方のご迷惑になる事があるので、子供たちが遊べる施設があれば親としても安心できます。
114	共働きの親が多い（殆どそうだと思います）ので、場所をもっと増やして欲しいです。需要は多いと思います。
115	安全な場所であって欲しい。多くの人と交流を持って欲しい。
116	児童館なども利用したいと思うが、近所に無いので送迎しなければならず、そこまでして利用する気にはならない。もう少し数が多ければいいと思う。
117	できれば、大人が一人でもいる場所で過ごすのがベストと思っています。病気やケガ、事故などが心配なので。
118	息子は知的障害・自閉症なので、放課後の時間を利用して療育を続けて自立を目指していこうと思っています。自分も働きたいです。どのお子さんも放課後の居場所は大切で、安心して過ごせる場所である事が大切だと思います。
119	安全・安心できるようにして欲しい。楽しく遊べて宿題などもできるとよいと思います。できれば無料だとありがたいです。
120	安全・安心な場所
121	書類を分かりやすくして欲しい
122	外で遊んで欲しいが、今の時代は不安なので、安全が確保された所で遊んで欲しい。

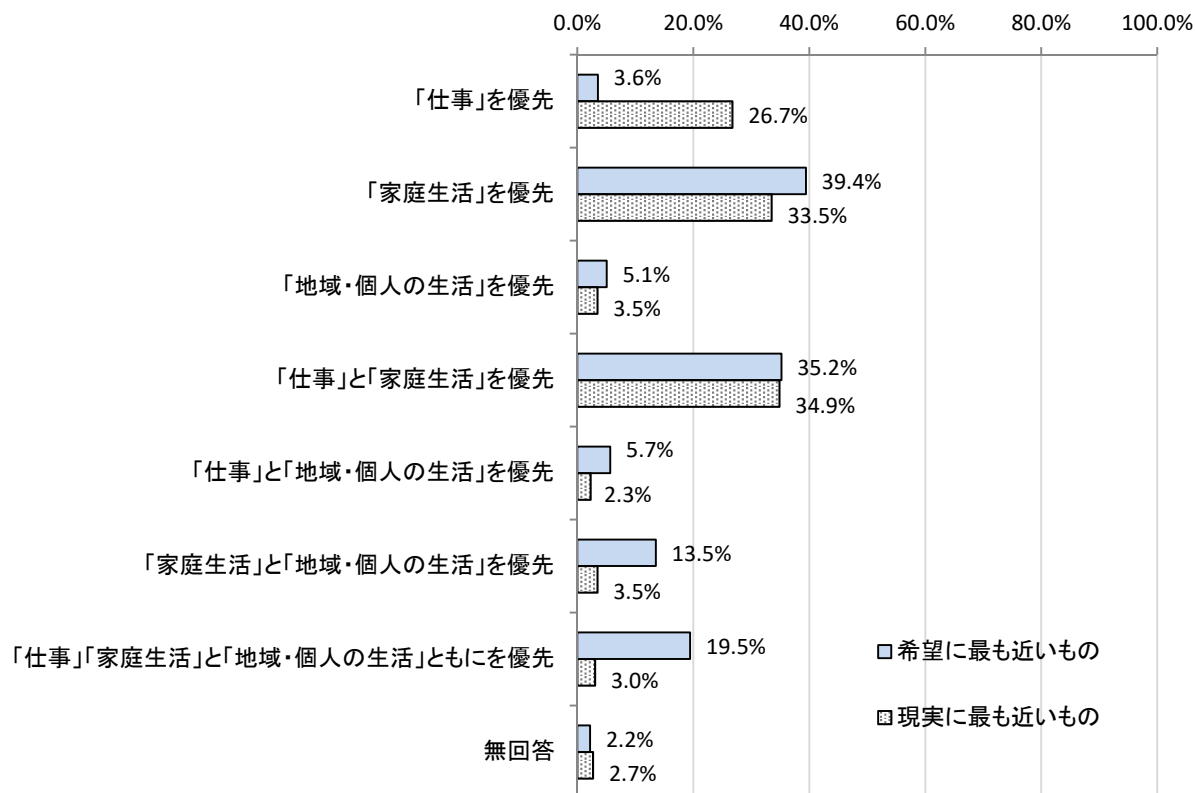
123	共働きの為、18:30 までだと現在の仕事を変える事も考えなければならないような状態です。現在は、保育園で 20 時まで見てもらっていますが、それでもやっと間に合っているような状態なので、小学校入学後が不安です。
124	共同でクラブ活動や習い事がある際は参加させ、その他は家で過ごして欲しい。
125	健常者でも発達障害者でも安心して遊べる場所が欲しい。屋外に安全が少ない今、とても残念に思っています。
126	障害児には放課後デイサービスがあり、利用できるので安心している。
127	大人がいる所にいさせたいと思っている
128	もっと身体を動かす機会を与えてあげたい
129	子供たち一人一人をしっかり見てあげないといけないと思う。得意・不得意、好き嫌いなどの違いをきちんと見て、子供と向き合ってくれる、子供にとって安心できる場所であって欲しい。
130	帰宅したら安心して過ごせるよう、親がいて迎えてあげたい。仕事をしたとしても、どの子も祖父母や放課後子ども教室等で低学年のうちには一人にならないような工夫が必要かと思う。
131	親子が一緒に過ごすべきだと考えています
132	自宅に一人で置いておくのは不安。何か好きな習い事などを見つけて、週に 1～2 回でも通わせたい。(祖父母の送り迎えが必要だが)
133	子どもが小学校に入ったら就労したいと思っているのですが、できるだけ子供を預けなくても済む時間帯で働けたらと思います。子どもが放課後に友達と遊んだり、自由に選んで過ごせる時間を確保してあげたいです。
134	利用者が増え、手狭になっているようです。また、全学年一緒なので、勉強など集中してできないそうです。低学年と高学年でスペースを分けるような工夫が必要なのでは、と思います。
135	両親が就労している家庭は、学校の休みに合わせて勤務日・時間を調整しているのが現状で。カレンダー休日以外の日には、学校以外に子どもが生活できる場所を準備するのが必要です。
136	友達と交流する場所
137	基本的には親が家に居るので問題はないが、急用などで遅くなる時は、放課後児童会はありがたいなあと思う。
138	無料で長時間いられる所が良い
139	平日は習い事や子ども教室があるので児童会は行かなくてもいいと思っています。ただ、学校の代休日や長期休みの際には児童会が必要になります。こういう時のみ利用出来る制度が欲しいです。金額もフルで利用するよりも安くして欲しいです。
140	子どもが心から安心して過ごせる様にしたい
141	安全かつ安心して預けられる場所であってほしい
142	家に一人でいる事の無いよう、開設時間が長ければいいと思う (20 時くらいまで)。
143	安全な場所
144	自宅または周辺の公園で遊ぶ、もしくは勉強・宿題等の実施。
145	なるべく自宅で親族に見てもらおうと思っておりますが、たまに児童館などで子供同士の交流も必要だと思う。
146	就労時間が一定ではない為、就学前健診時に他の方の意見を多々聞き、良い方悪い方見つけ居場所探しをした。低学年のうちには徒歩帰宅しても不在になる為、安全第一を検討し、児童会に申し込んで配慮していこうかと思う。
147	安全さが一番だと思うが、ある程度の自由度も残してあげたい。
148	安全で、友達と交流できて、スポーツや音楽、学習などに親しめる場があれば良いと思う。
149	小学生と言っても学年の幅があるので、各学年の児童に応じた専門の教育者の方に子どもの居場所にいて欲しい。子どもが一定の秩序の中でもできるだけ自由に尊重してもらえるように環境を常に整えるようにして欲しい。
150	卒園後の日中をどこで過ごせばいいのか不安。4 月は午前のみと聞いているが、その後慣れない児童会で過ごせるのか不安に思っている。長期休みの児童会でも給食のような形があれば良い。

151	祖父母と同居なので自宅でもいいが、児童会に入る友達が多い場合、一緒に遊ばずにいじめ等に繋がるなら児童会に通わせたい。
152	児童会とこども教室を分けずに一緒にして欲しい。
153	出来れば自分で見てあげたいが、それができないので、学校の中にある放課後児童会で仲間と宿題しながら楽しく過ごせたら良いと思う。
154	自宅までの通学路および、自宅に一人で過ごさせることは心配で避けたい。仕事のため、放課後児童会を利用せざるを得ません。金銭的負担をしても、安心して子供を預けられることを望みます。
155	子供が楽しんで通える雰囲気であること。大人が子供一人一人に目が届く環境であること。
156	低学年では児童会に預けたい。高学年では、自宅で宿題などやらせたい。
157	安心安全の場でありたい。放課後児童会の料金が高い。
158	仕事が終わるのが19時なので、学童保育で19時まで預かってもらいたい。来年1年生になる子供の放課後の居場所がなく悩んでいる。
159	放課後は児童館に行かせていますが、利用人数の割にとっても狭く、押し込められているようです。最近新しく建ったにも関わらず、どのような考えでこの大きさにしたのか疑問に感じます。冬休みの等の利用が増えそうな時期は公民館などにも児童館の先生についてもらって、特設の児童館のようにしてはどうでしょうか？
160	高学年であれば放課後は家で留守番をさせ、低学年のうちは児童館を利用したい。学校から児童館への移動の際の見守りをしている地域もあり、他の地域でも行ってほしい。
161	現在フルタイム以外で就労しているが、小学校入学したらフルタイムで就労したい。低学年のうちは一人で自宅で留守番させるのが不安なため、学校内にある児童会で過ごせば安心です。
162	一人で帰らせるのは不安なので、放課後子ども教室や放課後児童会があるのは助かる。
163	働いている親がフルタイムだと、アフター5で仕事が終わるのは稀。19時～20時に帰る親も多い為、児童館、子ども教室、児童会、ファミリーサポートといった重複利用が負担となる。保育園に預けると、園児と学童の人数で溢れかえっていて、園児と保育士にしわ寄せが。どこにもしわ寄せがいかないような対策が必要。
164	自宅で家族とその日あったことなどを話し、宿題をして欲しい。
165	安心しててもらえて、食事もできる所なら理想です。低料金で子どもが飽きない工夫をしてくれる場所。公園やイベントなどある児童会もあるようなので、そのような場所が増えて欲しい。最低でも就労時間が終わるまで預かってもらえるような場所であること。こども園の延長保育が20時までであれば利用したい。
166	学校の中で安心して待ってられるようにして欲しい。
167	子ども同士で勉強したり、遊んだり友達との輪が増える。低学年のうちは友達の家に行ったりするのが少し心配。
168	基本的には親御さんが保護をして、ご家庭で管理できるのが最善かと考える。しかし、共働きの多いご時世なので現実的ではないと思う。
169	宿題などやるべきことを済ませてくれ、わからないことも聞いてくれるなどの対応もして貰えること。
170	きちんと見守ってくれる環境であれば良い。また、親の就労で預けたいので、夏休みや冬休み等の長期休みの時に開けるのが8時では遅いです。仕事に間に合わないため、7時から開けて欲しい。
171	祖父母にお願いできないことがあった時、仕事が終わるのが遅くてもお願いできる場所があれば良いと思う。
172	低学年のうちは、近くに児童館があれば利用したい。
173	児童会のほうが幼稚園の預かり時間より1時間早く終わるため、小学校へ上がると勤務時間を早めに切り上げなければならない状況となり、かえって不便になった。
174	安全が確保されており、有意義な時間を過ごせる場であれば望ましいと考える。
175	安全な場所はもちろんですが、子ども同士が集まることで悪い方向に行かせたくはないです。
176	宿題を一緒にできる環境

177	育児、教育など、専門的な知識や経験を持った大人の目の届くところで過ごしてほしい。
178	小売業や飲食業など土日祝、お盆や年末年始に休みが取れない人のために 365 日開設してほしい。危険の無いように行き来できるような環境が望ましい。
179	冬期間は、定時に仕事を終え児童会に向かっても間に合わないので、もう少し長く開設してほしい。同様に長期休みの際の、開設時間も早くならないと仕事に間に合わない。土日祝日の勤務もあるので、通年 7 : 30 ~ 19 : 00 までの開設が希望。
180	学校の校舎内に滞在できる居場所を無料で提供してほしい。
181	共働きなので、一人で留守番しても大丈夫と思えるまでは子供を見守ってくれる場所が欲しいと思う。学校内、又は近くにそういった場所があると移動が少なく安心。

<10> 仕事と家庭の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

問25 あなたの生活の中で「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度について、「あなたの希望に最も近いもの」と「あなたの現実に近いもの」をそれぞれ1つずつ選んで当てはまる該当欄に○をつけてください。



n=1,182

区分	希望		現実	
	回答件数	構成比	回答件数	構成比
「仕事」を優先	42	3.6%	316	26.7%
「家庭生活」を優先	466	39.4%	396	33.5%
「地域・個人の生活」を優先	60	5.1%	41	3.5%
「仕事」と「家庭生活」を優先	416	35.2%	412	34.9%
「仕事」と「地域・個人の生活」を優先	67	5.7%	27	2.3%
「家庭生活」と「地域・個人の生活」を優先	160	13.5%	41	3.5%
「仕事」「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	230	19.5%	36	3.0%
無回答	26	2.2%	32	2.7%
計	1,467	124.1%	1,301	110.1%

※重複回答あり

問26 男女がともに”子育てしながら働き続ける”ために、どのような支援が必要と感じていますか。

1	夫の仕事柄、なかなか休みを取ることができないので、育児に対して強制的に休みが取れる様になってほしいと、たまに思います。
2	病児保育はあっていいと思う。浪岡住まいなので、浪岡にあり、小児科と一緒にもの。秋田ではそのような場所があり、よく利用していた。青森は子育てに不向きである。インフルの助成がないことに大変おどろいた。
3	男女ともにいざというときに休暇がとりやすい。早退、遅刻がしやすい。
4	休みのとりやすい環境が必要。休みをとってしまうと給料が変わってしまうと生活にひびくのは仕方なくても、理想は変わらないこと。
5	子育て勉強会の開催。子どもが小さなうちは母親の役目が多いことや、家庭内で父親にどんな家事をしてもらいたいのかと、どんな役目をしてもらいたいのかを専門家から説明してほしい。
6	預け先が増え、便利になるとかえって仕事が休みづらくなり、親を必要とする病気などの時に子供がかえって心細くなったり寂しさを感じたりするのではと思い、会社側の子育てに対する理解を働きやすい職場づくりを平行して行政が行って頂けたらと思います。
7	男女がともに子育ては無理。結局、女が子供のことをやらなきゃいけない。男はその分、仕事で稼ぐ、家事や掃除をする。などで、女のサポートをするのが一番いいのでは？そうすると、例えば男の無料の料理教室や、そうじサポート、家事代行などの事業が発展するのがよいと思う。
8	男性対象の子育て講座や、家事に関する講座（料理教室など）の開催。男性がもっと家事や育児に参加してもいいという雰囲気を経社会的に持たせることが必要だと思う。
9	男性の育休、産休取得のハードルを下げること。子育ての最初のステップで男女間の差が開いているのではないかなと思います。あとは幼稚園や小学校の授業参観は仕事をしていても行きやすい土曜日にするなど。有給休暇の消化が進まない、取得しにくい職場があるため、”子育てのために休む”ことを積極的に実行できればいいなとも思いました。
10	今、仕事してませんが、子どもに何かあった時に近くに親もいませんし、人には頼みづらいので、仕事を休まなくても気軽にあずけられる所があったら仕事してもいいかなと思う。（私が知らないだけかもしれませんが・・・）。ファミリーサポートは料金が現実的でないのできびしいです。
11	小学生のように、早く授業が終わっても、18・19時まで保護者は就労していることが多いので、市・地域で積極的な活動（勉強支援・遊び場）をしてくれる場所があればいいと思う。
12	育児参加のための休日を取得しやすくする仕組み作りを企業がさらに努力して行う必要がある。
13	病児保育を利用しやすいものに。具合が悪い子供を慣れない場所に預けられない。いつもの保育園または知っている保育士に預けたい。職場内の保育又は1～2時間小学生が過ごせることができれば。
14	男も産休・育休を必ず取るとか、残業なしなどをしてほしい。
15	男性も育休や子どものための遅出勤などを当たり前にとれる職場の雰囲気作りが必要だと思います。
16	子供の急な病気やケガでも気を使う事無く早退や有休対応してくれる職場。
17	フレックスタイムを取り入れた方がいいと思います。例えば、上は小学生、下は幼稚園児。小学生でも障害のある家庭は事業所を利用して送迎してる人もいるけど、利用したくてもお金がかかるので利用しない人もいる。あと、パートの仕事も子供を送迎したあと、短時間10時～14時の時間帯がないから、あると申し込みやすい。
18	男性・女性ともに男として女としての役割があると思うので、お互いがお互いを補うのは難しいと思う。どこの家庭もそれぞれ抱えている問題も違うし、ひとまとめにこういう支援というのはできないと思う。

19	保育施設は比較的充実しています。保育士等、直接子供と接する人たちの就労環境（賃金・休暇取得・労働時間など）がよくなってほしい。（経営者が助成の恩恵を受けて、保育士等の賃金アップや保育士の確保につながっていないという話を耳にします）それが保育の質を向上させると思っています。ファミリーサポートセンターを活用したいが、一日当たりの料金が高く自分が仕事を休んだ方がいいなと思い利用を諦めている。病児保育はとても重宝している。継続してほしい。子育て支援事業で解決できることではないが、職場の環境（残業規則、負荷の分散など）が男女ともにできていれば、平穩に子育てができると思う。
20	・職場復帰に合わせて確実に保育所や幼稚園に入所できること。（現在は4月復帰でないと保育所入所が難しいため） ・職場の理解（子供の病気などによる突発休み） ・定時で確実に退社できること（子供のお迎えができない） ・夜勤の免除
21	主とする世帯収入ではなく、夫婦の合算した収入で保育料を決めてほしい。1号でも2号でも、兄弟がいたら保育料を半額にしてほしい。
22	父親が休みを取りやすくなってほしい
23	休みがとりにくい。有休が無かったり、有っても使いにくいので、もっと休みを取りやすい環境にしてほしい。
24	女性が働きやすい職場を増やすこと
25	日曜・祝日の預け先があると良い
26	何かあったら休みが取れる職場。退職者や経験者がそこへ配置できるような支援。
27	基本的な経済力の安定（最低賃金を上げる）。土日の週休二日制徹底（非正規にも）。子育て世代の税制優遇（扶養控除の拡大）。
28	預け方など明確に解りやすい提示がある事
29	男性の有休取得、男女平等である社会環境。女性は特に妊娠・出産からの社会復帰が精神面からしても困難なため社会全体でサポートすべきと思う。
30	夜間、都会のように子供をいつも預かってくれる所が欲しい。
31	休日出勤にも快く対応してくれる。残業時間に夕食を食べさせてくれる。
32	延長保育・休日保育を通っている園で利用できればいいと思います。病児保育も。特に病児保育は他の園でやってもやはり不安で預けたいとは思わないので。
33	我が家では、祖父母が晩御飯を作ってくれるので、かなり助かっています。退職された方が放課後の子供たちの世話をするような仕組みができたり、周知されたりすると活用されるのではないかと思います。
34	生活していくためにはどうしてもお金が必要。そうすると仕事ばかりしなければならないので、家にいる時間も短くなる。在宅で少しでも稼げるような就労に対しても支援が欲しい（パート＋在宅とか）。
35	病児・病後児保育施設が少なすぎます。親族が遠方にいる場合、必ずどちらかが仕事を休まなくてははいけません。その時に、利用できる施設があると非常に助かると思います。
36	病児保育の拡充や短時間勤務などのしやすさが向上するような政策をお願いしたい
37	最近やっと男女ともに子育てをするようになり、有休を取ったりとテレビなどでは見ますが、まだまだ身近にはいないように思います。子育てしながら働き続けるためには男女の感覚的なところからの支援が必要だと思います。根強い男女差別はまだあるので、現実を見ながら（一部分だけではなく）、男性の方へ情報提供するなど必要だと思います。
38	今は14:00までのパートなので働きながら家事もでき、子供との時間もありバランスが取れています。
39	職場の理解。子供が病気の時に休みやすい環境であってほしい。
40	仕事で休めることが必要（子どもが熱を出したりした時にすぐ休めるようにしてほしい）。子どもが小さいうちは残業とかをやらせない。休日出勤を減らしてほしい。日曜・祝日も子供を預けられるところを増やしてほしい。
41	母親だけでなく、父親も有休を取りやすい環境作り（病児保育など）。男性の育休を取りやすくする。残業させない。
42	就業時間の短縮など



43	0歳児を預かってもらえる施設を増やしてほしい。一時預かりも殆ど断られるので就活もできない。ハローワークには行けても面接が受けられない。夜間の預かりや泊りの預かりもあるとよい。幼稚園などで具合が悪くなったときに面倒を見てくれる人がいるとありがたい。
44	産休をしっかりと1年間取れるようにしてほしい。フルタイムで働いていると急な子供のお迎えに対応できない。男性の給料を上げてくれれば、子供が3歳になるくらいまでは自分で育て、教育したいが、とてもできるような状況ではない。
45	100%安心・安全な保育施設と、その料金無料化。
46	フルで働く父親とパートで働く母親だと、子供が病気の時に休むのはパートの母親になる。子どもを預ける事業所に看護師がいればいいのと思うが現実的には無理なのかな、と。
47	保育料の見直し
48	職場における潤沢な人員配置
49	職場の理解。市でできる支援としては、病児保育等の充実でしょうか。
50	子どもが病気のときでも仕事を休めるとは限らないので病児保育の充実が必要。いつも預けているところで診てもらうのが理想ではありますが、そうはいかないとしても、なるべく自宅または職場の近く、もしくはいつも通っている小児科だと安心です。
51	保育料の負担額軽減。職場の理解。
52	共働きになると（現在、求職中）、子供の病気で母親だけが何日間も仕事を休む事になります。病児保育の充実が必要です。
53	男性でも率先して「子の看護休暇」が取得できる企業が増えるといい。
54	幼稚園でも14:00までではなくて、16:00まで通常保育をしてほしい。
55	自分の住んでいる地域の保育園にいつでも（春以外だと空きがない場合があるので）入れるようにしてほしい。兄弟で同じ保育園に入れるようにしてほしい。
56	男性が子育てに気持ちが向くような会社・社会作り
57	小学生と乳幼児を同じ場所に預けられると良い。
58	どこの家庭も母親にばかり負担がかかるので、病児保育が増え、利用しやすくなれば母親の負担も軽減できると思います。
59	放課後保育の時間を延ばしたり、休日也希望者は預かれたらいいのかなと思います。
60	保育園卒園後のフォローが薄い。弘前市は学童保育19時まで、保育園の延長料金も100円/時と、青森市と比較して手厚く感じる。
61	休日や時間に余裕があり、自由に選択できるような施設が充実していること。
62	病児保育を利用しやすくする。（利用時の書類がとても多い）
63	保育園の増設。待機児童問題で働きたくても働けない人が大勢いると思う。また、保育士さんの待遇改善もすべきだと思う。
64	職場や上司に子育てに対する理解がなければ、仕事をしていても肩身が狭いと思う。
65	保育園などの預ける場所の充実。病気などになった時に仕事を休みやすくするための環境整備。風邪など（微熱程度）は施設で病院に連れて行ってもらえると助かるのだが。
66	家事・育児をサポートしてくれる事業。しかも、低予算で信頼できるもの。
67	会社側の理解が必要だが、大企業ならいざ知らず、中小零細ではそれどころではない。そもそも、フルタイムで働かないと生活が成り立たないのでまともな経済的支援（減税など）を望む。
68	預かり先の保育施設の環境改善。子どもの負担が少なく、親が安心して預けられる施設が少ない。
69	保育園の充実、保育料の値下げ。家事サポートの充実。子どもが病気になった時の職場の対応。休みやすい雰囲気。
70	女性が働き続ける為には男性の働き方・関わり方を変える必要がある。家事・育児・介護・PTA・プライベートでの人付き合いなど、さまざまなストレス軽減の為、企業や行政いろいろな方面からの働きかけが必要。
71	親が就労している間の子供の居場所。子どもの病気・ケガなどによる急な休みの要望に応じてくれる職場。

72	両親だけでは手が足りないので身近に気軽に頼める人がいること。毎日ではないが、何かあったときに子どもを見てもらえるような所が職場の近くにあればいいな、とは思う。あとは、病児・病後児保育の拡充。
73	そもそも父親の給料が良かったら共働きの必要性も減るんじゃないかと思うので、まずは年収アップが必要。それから子供にかかる諸費用を下げる。子育てはとにかくお金がかかる。その割に収入が少ないことが問題。
74	満杯の保育施設は公務員が集中しているところだと思われるので、公務員専用の保育施設を作って欲しい。例えば、アウガ内に市役所職員専用の保育施設を作るなどすれば、その分、外の施設に空きが出る。働き方の多様性の啓蒙。企業内保育園に補助金を拠出する。保育士などの給与の底上げ。4、5月でなければ希望保育園に入園できないという状況の改善。
75	0～2才児が保育園に入りづらい（空きがない）。この状況を改善してほしい。
76	学費・医療費の公的負担の割合を増やす。住民税を市に納めているのに、それが故に医療費の助成が受けられなくなるのは残念。
77	子どもの急な病気や行事に対応できるような職場の環境や理解。夫も育休を取られるようにすること。マタハラなどが無いようにする。働いている家庭に向けた家事サービスの充実。
78	男性・女性ともに残業しなくて済むような環境作り。保育園・児童館などの時間延長（無料で）。医療機関の充実。
79	会社の制度改革
80	保育料などを下げてほしい
81	急な子供の病気などでも休ませてもらえる職場の理解
82	男性の育休が全く取れず、周りにも利用した人がいません。まだまだ女性がするものという考えがあったり、育休を利用した際の給与の支給額が不安で利用できていないように思われます。育休を利用しても安心して暮らせるような収入の補償があれば出産する人の数も増えるのでは？と思います。
83	子どもの事で有休はすぐになくなってしまふのが現実で、収入のためには仕事を優先せざるを得ない状況。通常の有休とは別に、特別有休のような形のもので全ての会社で利用できる仕組みがほしい。
84	会社の意識を変えること。若い社員の意識は変わってきているのに、会社の考えは古いままで、子育ては女がやるものと思っている。何らかの罰則などを設けない限りこの状態は変わらないと思う。
85	周りの理解
86	いつでも気軽に子供を預けられる所があれば良いと思います
87	24時間保育と病児保育の充実。人材不足の要因の一つに子育て世代の離職があると思う。子育てや病児保育の支援を充実させることで、現実には殆ど子育てを担っている母親の就労が促進され、人材不足の解決に役に立つのでは？と思う。
88	男性もしっかり育休を取れるようにしてもらおう。また、産後すぐでなくとも、妻の育休が明けたら夫が代わって育休を取れたり、短縮勤務ができるようになれば良いと思う。育休で手が減る分は社員を増やすとか、非正規従業員を増やすとかで対応するのもいいかと。
89	必ず有休を消化させないと会社全体に何らかのペナルティがあるとかの制度作りでもしないと、現状では休みにくい環境である。何らかの制度によって、有休や育休を取りやすい職場作りをある程度上から強制的に行う必要があるのでは？と思います。
90	有休休暇の取得、早退など融通の利く職場環境。母親だけではなく父親の育児休暇取得の促進。
91	支援内容の詳しい情報提供
92	会社の理解が必要。遅刻・早退・半休・有休等、子どもが小さいと必然になってきます。できる限りの事はしているつもりですが、風邪など病院に行かなければならない事が多いのでバックアップできるような体制が整っていれば嬉しいです。
93	子どもが少し熱が出ただけでも保育園から帰されてしまう為、仕事を休まざるを得ない。病後児を預ける施設が少ない。ファミサポ等、初めて会う人に預けるのは不安がある為、通園している保育園で預かってもらえるのが理想。そのような制度を充実させて欲しい。

94	男性側の意識改革。安心して子供を保育園に預けられるように、保育士の人数を増やしたり、待遇を改善するなどしてほしい。
95	地域に気軽に子供を預けて安心できる場所。体調が悪い（親も）時に見てくれるような所。
96	子供が病気になった時に預けられる場所があること
97	子どもが病気の時に預かってもらえる所があると良い
98	ワークバランスがとれた働き方を互いにできれば、家族と過ごす時間を確保でき、かつ、体力的・精神的にもきちんと子供たちに向き合うことができると思う。
99	保育施設で朝食・夕食も忙しい時に準備していただけたら助かります。
100	保育所も放課後児童会も18時や18時半までにお迎えに行かないと厳しめに言われたりするが、皆が皆職場の近くの施設に入れるわけではないので、フルタイム勤務だとどうしても間に合わず、仕方なくパートで働く、と言うような話も耳にします。しかし、それでは当然フルタイムよりも収入が減り、待遇も悪くなるので、働きながらの子育てに疑問が湧きます。園の運営もですが、正社員とパートの格差を無くすような支援が一番必要だと思います。
101	会社自体の働き方改革。ファミリーサポートセンターの利用料を下げること。
102	必要があればすぐに休める職場環境（上司や同僚の理解も含めて）
103	核家族で、周りにサポートしてくれる親族もいないので、安心して預けられる場所があるといい。
104	土曜日だけでも保育園を利用したい。男性も仕事を休みやすくしてほしい。
105	特に支援されなくても半分くらいはできている
106	24時間支援
107	育児短時間勤務や子どもの看護休暇
108	男性が家事や育児に協力することが必要。育児中の女性には、休みを取りやすく残業しないでいいという職場の環境が必要。
109	有休休暇の増加または取得率の向上。病後保育対応施設の増加。宿泊のできる保育施設（兄弟入院の際、市外の実家に預けなければならず、親子双方の負担が多かった）
110	急にでも休める職場環境
111	子どもが病気の時には父・母問わず休める状況であってほしい。しかし、正社員でなければ休んだ分、収入が減る。パートであっても有給休暇があるべきだと思う。
112	きちんと定時に帰宅できる。子どもの病気、行事、参観日などで気軽に有休・時間休がとれる。
113	公的な支援も必要だとは思いますが、職場の環境が大きく影響すると思います。
114	会社のサポート（時短制度や看病休暇の制度を会社単位ではなく国や県・市で定める）。会社の保育所の設置。
115	日曜・祝日・長期休みの際に無料で子供を預かってくれる場所が欲しい。
116	有休がもっと使えるなどの子育てしながら働きやすい環境整備
117	男性が仕事を最優先することが当たり前の環境が問題。企業や官公庁が、男性職員の配偶者の事を考慮した勤務体系を実施しないと何も変わらない。ファミリーサポートセンターを使えと言われ登録したが、仕組みや利用料金など現実的ではない。
118	共働きや母子・父子家庭が増えていて、少子化の割に乳児期からの預かり場所が不足しています。園の数を増やすだけではなく、まずは保育士の数が増えるような支援活動が必要だと思います。それとは別に、職場での支援も勿論必要。
119	延長保育時間の更なる延長と料金の無償化
120	わかりやすい情報。少ない負担。
121	親が病気になった場合のサポート。保育延長料の減額。
122	母親が働きやすい時間や、子供の行事に休みが取れるような会社を増やしてほしい。
123	保育士不足で預かってもらえない子どもが多いので、保育士に対する手当を市や県から支給して、そこを改善してほしい。仕事よりも家庭を優先させるような働き方ができるような仕組みを国レベルで構築しないと何も変わらない。

124	どちらかの稼ぎだけで十分生活できるのであれば、どちらかが家に居るのが望ましいと考えている。子どもは、親と長く過ごした方が良いと思っている。
125	職場の理解と休暇を取りやすい環境作りなどの支援
126	学校行事や園の行事、子供の急な病気による休暇取得や遅刻・早退に対する職場の理解。
127	父・母ともに子供の病気などでの休みが取りやすい職場環境が必要。小学校に入ってからサポートが必要。児童館の利用時間が仕事の時間と合わないので、時間帯を少し拡張して欲しい。
128	安心して子供を預けられる場所があること。
129	職場の子育てに対する理解と休みやすい環境作り。祖父母のサポートは必須だと思うが、預け先の柔軟な受け入れもあって欲しい。
130	休暇取得しやすい職場環境
131	どうしても母親の方に負担がかかる事が多いので、時短・産休・育休などの職場からの支援が必要。父親も育休などが取りやすい環境を県も主導して整備してほしい。出来れば、職場に教育・保育施設が併設されるといいと思う。
132	病児保育を増やして欲しい。また、8時開園では遅い。7時からにしてほしい。
133	子どもが小さいうちは、母親が在宅だとしても、父親も残業を減らすなどの配慮が欲しい。
134	入りたい時に希望の保育園に入れるようにする。一時預かりの利用料も安くして欲しい。職場の勤務時間の融通。
135	託児施設のある職場が増えればいいと思う。
136	朝早くや夜遅く、また、休日でも安心して預けられる環境。軽度な病気でも気軽に預けられる環境。
137	職場の理解・協力
138	病中・病後児のための保育施設は予約が必要な為、利用しづらい。
139	父親を早く家に帰してやる。学校は子供に宿題を出さない。全ての学校の部活を止めてしまう。産休を父親も取るのが当たり前になるような社会の実現。
140	一番いいのは給料が高くなること。次は事業主の理解(子育てのための休みが取りやすいこと)。子の二つが充実していれば、他のサポートは必要がないと思う。
141	子どもを日中に見てもらえる環境が必要。また、金銭的な援助も。自分は子どもが4人いる為、親から支援してもらっている。
142	育休短時間労働や育休が取り易く、取得しても昇給・昇進に最小限の影響で済むような職場環境。
143	職場の理解
144	有休取得や残業を減らすなどの会社の理解・対応
145	子育てと仕事の両立ができるようなパッケージ型(保育園と企業のセット)の提案を行える就労支援。または、事業所内保育園の増設。例えば、ガーラモール内であれば、パートしながら子供を預けやすい)
146	子どもを遅くまで見てくれる施設の存在。出来れば無料で。
147	男性の協力の仕方をアドバイスしてくれる場所やアプリなど
148	子どもの病気などで問題なく休めるような体制作り
149	病児保育の充実(利用しやすい環境など)、学童保育の充実(利用時間など)が特に必要だと思います。
150	親が息抜きできる場所(子ども一緒に行くが、子供は無料で預かってくれる)があると良い。
151	職場の理解。出産時に辞めなくてもいい職場。
152	育休をもっと取りたいが、〇才以上でまだ育休中だと保育園を退園しなければならず、期間を延長できない。年齢制限が国の方針とは別にもっと緩やかな設定になればいいと思う。
153	働き方改革(有休などの制度が充実していても、仕事の量が変わらなければ、結局、休出しなければならなくなる等)。各種手続きを土日祝でもできるようにしてほしい。
154	父親も産休・育休をもらえる、しかも、取得しやすい環境になるような会社からの支援

155	育休をもっと柔軟なパターンで取得できるようにすればいいと思う。例えば、短期間で何回も夫婦交代で取れるようにして、更に、育休中ではない方は時短勤務できるようにする、とか。とは言え、そもそも普通に育休を満足に取れない会社も多いので、まずは育休を取ることが普通になって欲しい。
156	そもそも男性の育児参加の意識が低いと思われる。そこで、市が主導してワークライフバランス向上の雰囲気作りをする事が必要かと思います。また、企業にもノー残業デーの設定などの協力をしてもらい、勤務時間の短縮を図ってもらいたいです。
157	急な残業になっても預かってもらえる、発熱があっても見てもらえるなどのサポートがあれば助かる。
158	夜間預かってくれる保育園が少ない
159	幼稚園・保育園の空き状況の開示。一時預かり保育の拡充。男性の育休取得の推進。転勤を減らす、または、転勤族の妻向けの職業案内など。
160	男性も休暇を取り易くなればいい
161	きちんと解決できる能力を持つ専門家のいる相談できるところが充実していればいいと思います。
162	支援など不要。要は収入が増えればいいだけ。世の中全体の賃金を上げればいい。若しくは、中途半端な増税ではなく、しっかり税率を上げ、その税収を国民の生活に反映してくれればいい。
163	地域・ご近所の方々の協力の下、一緒に子育てできればいいと思う。
164	希望する施設に子どもを預けられる事。子どもの病気やケガの時にすぐ休暇を取れる職場環境。子ども連れでも働く事が出来る職場。夕食を作らなくてもいいような、家庭で利用できる食堂や給食などの安価な食事施設。
165	子どもの急な体調不良などでも半休や休みを取ることができる環境作りを会社などに広めてほしい
166	家庭内のやるべき衣食に関して時短となるサービス。家族で楽しめる施設。
167	短時間勤務の普及など社会制度の充実と子供の預け先確保、そして、子供が病気の際の預け先を増やすこと。
168	正規雇用でも少しでも早く帰れるようにする。兄弟は希望すれば必ず同じ保育園・子ども園に入園できるようにする。
169	単に「母親の負荷の軽減」だけを目的に父親に理解を求めても納得され難いと思います。また、父親が子の「異性のイメージ形成」に影響を与える事なども子育て世代には勿論の事、祖父母の世代や会社の上司の世代にも広く周知し、男性の育児参加が子供の発育には非常に大きなメリットがある事を知って欲しいです。
170	子どもが病気の時に快く休ませてくれるような職場の環境
171	男性も子の看護休暇を取得する、できるようにする。
172	女性が働き続けるためには、男性が子育てにも参画・協力的である事についての職場や祖父母などの年配者や地域などで理解促進の必要があると思います。
173	労働時間の短縮や有休の取り易さなど
174	家事代行支援
175	妊婦健診公費負担の全国統一化（里帰り出産をした時に補助券が無かったり、入院費用に差があったりするので）
176	子どもを持つ女性が正社員でフルで働きたいと思っても、良く思われないことが多く、社会からの抵抗を感じる。
177	休みを取り易い環境
178	保育所の増設。保育料の低減。保育士の待遇改善。
179	幼稚園の月謝や保育園の保育料の無償化
180	父母とも公務員なので、支援は十分にあるが、私用やりフレッシュ目的で子を預ける事に負い目がある。気軽に利用してもよい雰囲気ならよいが。
181	さんぽぼなど、無料または低料金で利用できる施設および施策。

182	職場（企業）の対応が必要。有休や看護休暇が使いやすくと助かる。
183	祖父母の協力や地域の子育て支援施設が必要
184	子どもが病気などの時に、子供の状態に合わせて長くは休めないのが、気軽に見てもらえる病児保育があればいいと思う。
185	事業に頼るだけでなく、職場でも就学前児童のいる家庭への勤務時間の考慮や、規定を設けて、事業に頼る時間よりも親と過ごす時間を確保できる環境が整ってほしい。
186	子どもが急に体調を崩しても、気にせず親が休めるような環境の整備。
187	フルタイムで働きたくてもなかなかできない。未だに子どもがいる人への風当たりは強い。
188	子どもの病気やケガで休まなければならない時の同僚や会社の意識の低さを認識させる。
189	女性の勤務体系・条件の緩和。男性の職場の理解、環境の整備。
190	子どもの急病時にすぐ休めるような人的補償。通わせやすい場所の保育園に入れる、または送迎がある。
191	土日祝でも預けられる所があるのが望ましい
192	さんぽぽのような施設がもっといろいろな場所にあれば更に利用しやすいと思います
193	男性が子育てにより積極的に取り組む事ができるように事業所などに強く働きかける事
194	仕事のしやすさ。子育てするための費用の問題。
195	保育園の利用時間延長
196	日祝は確実に休みにする。残業を無くす。
197	園や学校行事に合わせて急かが取れるように、また、子供が病気やケガの際に父親も休みが取れるようにしてほしい。現状では母親ばかりが有休を取って対応している。
198	職場の理解
199	男性も子供の発熱などで早退したり休めたりするような職場の状況が必要。私（母親）の職場が日・祝が休日ではないので、有休が子供の看病と祝日を休みにするためにほぼ毎年足りなくなり、欠勤となってしまう。
200	職場環境がよいので家庭を優先できています。このような子育てしながら働きやすい職場環境を広げて行くべきです。
201	会社員（特に男性）に半強制的に育児休暇取得を義務付ける。また、育児休暇中でも基本給が支給されるようにする。
202	子どもが急病になってもすぐ早退できたり、長期間出席停止の病気の間も気がねなく休めるような職場の環境作りをしてほしい。病後児保育の運用が始まったのはいいが、インフルエンザなどの出席停止になるような病気では利用できず、結局親が休む事になる。これでは、病後児保育の存在意義が見いだせない。
203	出産後、仕事内容を見直し、パート勤務にせざるを得ませんでした。そもそも、主人一人の給料でやっていけるのなら働く必要もない。世帯の収入に応じて段階的に手当を支給するとか、日祝でも仕事の時には預けられるようになってほしい。
204	会社の支援がある。休みやすい。
205	急に子供を預けたいときでも、すぐに近くで預けられるように、もっと施設がたくさんあればいいのだが。ベビーシッターを増やして欲しい。
206	残業を無くする。就労時間の短縮。
207	女性が短時間で働ける場所をもっと増やして欲しい。活躍できる場を多くして欲しい。
208	子どもが病気になった時に看てもらえる人がいない。また、会社も休みづらいので、何らかの支援があれば助かる。
209	金銭面での負担が少なく、安心して預けられる施設の充実。病気などでも預かってくれる施設の充実。
210	親も一緒に気軽に行けるアットホームな食堂があれば仕事の後に立ち寄れる。現実的には女性の家事軽減を考えればいい。例えば、料理を作って持ってきてくれるとか。
211	子どもが病気の時に休める環境。夜勤や土日祝勤務があるので、そういうときに預けられる場所があればいい。

212	年度途中での入園は難しかったので、育休を延長せざるを得なかった。年度途中でも保育園に入園できるようにしてほしい。また、育休終了後、フルタイムで働かなければならないのに、慣らし保育が入園の4月1日以降でなければダメと言われており、祖父母も近くにはいないのでとても困っている。どうにかならないものなのでしょうか。
213	夫の協力が必要。子どもが病気のときなどの職場での理解とサポート。
214	今は定期的に祖父母に子どもを見てもらっていますが、見てもらえなくなったときに、子供を安心して預けられる場所が必要。その際、利用料がなるべく安価だと助かる。
215	どうしても、子供の発熱などで休むのは母親の役目というのが世間的には通用していて、父親は有休があるにも関わらず、休めず、結局母親が有休を消化し、しかも有休だけでは足りず欠勤扱いとなり、収入も減ってしまうというのが現実だと思う。もっと、社会や会社での理解が必要だと思う。
216	職場の子育てへの理解。保育所の一時預かりが保育士不足の為にあまりできないので、保育士の働きやすい環境作りが必要。
217	職場に病児休暇などが整備されれば良いと思います
218	保育施設の増設。子育て手当を増やす。残業が無い職場を増やす。職場仲間の理解。
219	短時間勤務が可能な正社員枠の設置。子の病気などに対応できる仕事・職場を増やす。病児保育できる保育園を増やす。ファミリーサポートの利用料を安くして欲しい。
220	有料でもよいので、土日祝に預かってくれる施設が豊富にあればよい。
221	教育費や保育料が無料になれば無理なく男女ともに働けると思います。
222	会社の理解（特に女性は働きづらい時がある）。金銭的支援。
223	産休・有休が取り易いこと。子育て世代が触れ合う場がもっとあればいい。情報交換できたら安心。
224	子どもの急な発熱で会社に休みの電話をすると露骨に嫌がられる。子育てしながら働き続ける事の啓蒙をしてほしい。
225	保育所の延長保育。放課後児童館が小学校から近い所にある。
226	男女の家庭での協力。社会での支え。いろいろな働き方が認められる社会の実現。
227	保育園や認定こども園を増やす。保育士を増やす。下の子が2歳になった月で、上の子が保育所などを退所しなければならないというルールの為、せつかく3歳まで使える育休が使えない。
228	職場の理解。子どもの急病だけでなく、園や学校の行事などでも気後れすることなく休めることができるような（社会全体の）雰囲気作り。未だに「女性は家庭にいるもの」という考え方が根強いので、その考え方を変えるような啓蒙活動。
229	小学校低学年のうちは一人にならないようにしてやりたいので、必ず学校にいるか、その次の塾までの送迎バスまたはタクシー利用できるような支援が欲しい。
230	保育園の病児保育や延長保育。職場に託児所があればとても良い。職場でもまだまだ育児中の人への対処ができていない。児童手当は4か月に1回ではなく、中学生までは毎月にしてくれた方がよい。
231	日祝も追加で利用料がかかってもいいので保育園が利用できればいい。通っている保育園とは別の預かり施設だと不安。
232	必ず保育を受け入れること。特に0才、1才児が入りにくい。
233	子どもの急な発熱などで祖父母のように迎えに行き、受診させ、面倒を見るという制度がもっと安価で利用できればいいと思います。ファミサポに登録はしているが、いつもお願いしてる人が都合がつかない場合、知らないサポーターの方のところに行かねばならず、また、病児の場合、利用料が高くなるなどで、利用していません。
234	男性の育児休業や手当をもっと充実させかつ普及させること
235	地域や行政の支援だけでなく、企業や会社の理解や子育て支援制度の整備が必要。
236	「男が子供の病気で有休をとるなんて…」という雰囲気が未だにあると思うので、世の中全体がもっと子育て時の困り事などを共有して、このような雰囲気から変えないとダメだと思う。
237	職場に保育施設があれば復帰しやすい。病児保育があればいいと思う。
238	子どもが熱などがあっても預かってくれる施設

239	男女の育休利用率を同等にする（男性でも育休を使いやすい）。全ての保育園に病児・病後児保育施設が併設されること。夜ごはんのサポートがあると助かる。
240	子どもが小さいうちは、時短勤務やフレックスタイムや休みやすい制度が必要だと思います。また、子育て世代に夕食を低料金で配布する施設があれば助かります。そこへ行けば、家族分の夕食が受け取れるような。
241	男性の育児休暇取得が広まればいいと思います
242	有給休暇の取得しやすさ。柔軟な労働時間（残業なし、など）。一時預かり先の充実（定員いっぱいでは断られる所が多い）。
243	会社や職場内に育児施設がある。在宅勤務を可能にする。男性の育休を浸透させる。共働きだと高くなる保育料の見直し。
244	金銭的な支援（保育料やバス・タクシー代など）。産休・育休取得に対する理解（上司だけではなく同僚も）。メンタルケア、育児相談（行きやすい雰囲気のある所）。親子で参加できるイベントや施設を増やす。子どもがいても働ける職場。再就職しやすい環境。スーパーや外出先に乳児でも連れて行けるような設備（トイレ内設備など。男性用にも設置してほしい）。
245	夫婦でお互いに協力して、支え合っていく為の相互理解が必要。
246	休みが取り易い環境作り
247	自分だけでは無理で、夫や親に協力してもらって初めて働き続ける事ができている。
248	お互いに支え合って仲良く過ごせること。保育料を下げたい。
249	保育料の免除
250	あまり行政のサービスが良くなならない方が逆にいいと思っています。行政のサービスがあると、それを利用できることを言い訳に就業を要請される事があったり、男性もそれを理由に休もうとしなかったりするからです。サービスを充実させるよりも、男性も会社を休む理由として「子どもが熱出したから」と普通に言える社会にならないといけないと思います。まずは、企業にそういう指導をしてほしい。
251	扶養手当、子育て手当の充実。給食費の無償化など。医療費無償は助かっています。
252	預かってくれる時間を19時まで延長してほしい。
253	社会全体が長時間労働を無くしていく為の支援。
254	夕方～夜に預かってくれる施設。男性の育休取得促進への支援。
255	子育てしながら働き続ける事に関する職場での理解の促進
256	会社など、世の中の人たちが「子育てしながら働く」という事の大変さを理解し、現状を改善する事が必要。子育てに関して何も考えていない会社は最初から子持ちを雇うな！と思う。子供の急病などで仕事を休まなければならない時に、パワハラのような暴言を吐くような上司がいるような会社は特に改善が必要。
257	子どもの学校行事や病欠等の理由でも休暇が取れる職場での支援と、保護者の急用時に利用できる預かり施設の存在。
258	発熱などで子供の帰宅要請が預かり施設から来るが、規則を緩めて、保護者が責任を持つことを了承さえすれば、そのまま預かってくれるようにしてほしい。
259	休みを取り易い職場の実現。
260	パートであっても育休や介護休があってもいいのでは、と思います。
261	育休は男女ともに取得可能ということになっているが、現状、全く取り易い雰囲気ではない。休暇は、もっと気軽に取れるものでないと設定している意味が無い。また、就労時間を自由に設定できるなどの工夫をもっと現実化してほしい。
262	会社が子供のいる従業員にもっと配慮してくれればいい。例えば、産後1年間は転勤がないとか、夫婦ともに同じ市内で働けるようにするとか。子どもがいても働きやすいように、急な休みも認められたり、土日祝は休みなどの環境が整った職場が増えればいいと思います。
263	子どもの手当額を増やしてほしい。医療費無料の年収制限を撤廃してほしい。
264	預け先の充実（時間なども含め）。病児保育の充実。一人抜けても業務に支障が無いような、休みの取り易い勤務体制作り。



265	病院に通うための1時間単位の時間休がほしい。保育園に病児保育があれば、仕事を休む状況が減り、正社員として働きやすい環境になると思う。
266	(男性の方が収入が多いということもあるが)女性に家事・育児が集中しがちで、仕事と家庭のどちらかを犠牲にして罪悪感を持つことがあると思う。男性も子供の行事で仕事を休める環境や、会社のサポートが広まればいいと思う。また、男性が基本的な家事を学ぶ勉強会などがあれば、女性のサポートになるのではと思います。
267	更なる男性の育休制度の拡充と周囲の理解の促進。
268	子どもの年齢が低い世帯や体調がすぐれない時は残業せず定時で上げられるように職場が協力すること。あるいは、15分前に仕事を上げられる環境になればいいと思う。子育て世代周辺の理解度がまだまだ足りないと思う。少子化問題が言われているが、子供絡みの休みには圧力があるところも少なくない為、上司や先輩などと話し合いをすべきだと思う。
269	放課後児童会と習い事(そろばんや公文やピアノやスイミング等々)が連携した事業支援。学校の体育館の利用ができたり、車の送迎ができたり、教える先生を何人か採用して、児童会の生徒が安心して学べるようにして欲しい。
270	父親と子供で気軽に参加できるイベント(体を動かしたり、家にあるものでの耕作だったり)があれば母親が仕事でも安心していられると思う。育休制度がある会社でも実際には取りづらいう上に、取ったら待遇が悪くなるような企業すらあるので、そのような状況が改善されれば働き続ける事ができると思う。
271	事業所内保育園が必要
272	短時間勤務、時短制度が実際に使える環境の整備。現実的に、人員確保できなかったり、同僚への負担が増すなどの理由で制度を使える環境にはなっていない。周囲の理解などの問題ではなく、仕事の状況的に不可能。
273	職場での休みがもう少し取り易い環境になればいいのと思う
274	仕事をしていても、収入の大半を子供の預かり先に支払うようでは、働く意味がなくなる場合もあるので、預ける側としては利用料が安価であれば、それに越したことはないと思います。
275	子どもを遅くまで預かってくれると助かります(放課後児童会)。18:30までにはなりましたが、19:00までにしてくれると安心して働けます。
276	有休の日数をもっと必要
277	これから小学校に入学するにあたり、近くに面倒を見てくれるところがあれば、残業があっても安心です。
278	会社の休暇制度を充実させる。
279	職場で、子供の為の急な早退や休みが取り易い事。
280	職場の制度と理解
281	保育園で病児保育をしてくれると非常に助かる。
282	祖父母が近くに居るのが一番安心です。
283	職場や事業所内に託児施設があればいい。有休を取り易い環境も必要。子どもの熱で仕事を早引けするのは都合が悪い。
284	どの園も、延長保育は18時からになっているが、19時からにして欲しい。定時退社が難しい為。
285	夫婦ともに有休を取り易い働きやすい職場環境
286	保育施設の充実、利便性の向上。保育料の負担軽減。地域のサポート。
287	会社の中で育休を取れる環境作り
288	まずは、出産後の女性の社会復帰。保育所の数を増やす。男性も育休などを取り易い環境や制度設定・定着化。
289	女性が働くのは当たり前になってきたのに、男性が家事や育児をするのはまだなじんでいない。子どものいる男性職員に強制的に育休休暇を取らせる制度を作って欲しい。
290	社会において、女性の子育てには会社での対応は理解が出来ているが、男性に対してはまだまだ対応ができていない会社は少ないと感じる。上に立つ人間が古い考えを持ち、そんな自分との比較をしているうちは感覚の問題なので難しいと思う。

291	保育施設の19時～20時までの延長。その際、夕方のおやつや夕食を選択できると尚良い。仙台の園はそうでした。
292	経済的支援。各家庭に必要な支援の形は様々だと思う。こういう役に立つのかわからないアンケートや利用する人が限られる施設等に税金を使うくらいなら、直接支援に充ててほしい。
293	保育料や、その他子供にかかる諸費用の補助。父親も休みを取り易くなるような政策などがあれば良い。
294	小さい子供がいても負い目を感じずに働ける環境。急な病気の時に母親だけでなく父親も休める雰囲気大切だと思います。
295	もっと簡単に休みをもらえるような環境が必要
296	限られた有休数で子育てをする為に、どこの職場でも有休を取り易くして欲しい。父親の会社は未だに有休が取りにくいいため、母親に多く負担が掛かっている。
297	職場で就業時間の短縮や、子育て世代を優先した環境作りが進めばできるだろうと思います。男性の産休・育休の取得日数をもう少し増やしてもいいと思います。
298	病児保育の充実、以前、十和田にいたとき、病院内に病児保育所があり、インフルエンザでも子供を預けられました。親戚はいませんので、誰も子供をみてくれません。
299	育児休暇に対する、上司・同僚の理解と支援。子どものいない人ばかりに負担が増す傾向もよくないと思います。
300	保育施設の充実。働いても税金が増えるだけで、家計の助けにならないのであれば、働くメリットがない。
301	男性が家事・育児に参加することが当たり前になるよう、子供の頃から教えるようにすればいいと思う。PTA活動をボランティアや親ばかりでなく、給料を払って活動してもらおうようにしてもいいと思う。病児後保育できる園がもっとあればいいと思う。
302	安心して預けられる場所が無い。ファミリーサポートも使いたいが、母子家庭で金銭的余裕がないし、利用料が高い割に質が低い。
303	地域毎に拠点数の隔たりはあると思いますが、支援事業の内容は凡そ充分ではないかと考えます。
304	男女ともに子供の体調によって仕事が休める事。男性は（職種や職場環境にもよるとは思います）まだまだ休みづらいです。仕事の拘束時間も長いので、企業が父親の役割をもっと応援して欲しい。
305	子の急な体調不良にも対応してくれる預かり施設（収入に見合った利用料金で）。保育園や小学校の行事を平日に行う。保育園の利用時間の延長（19時では間に合わない時もある）。
306	希望の保育園に入所できることが大事。
307	仕事面での時間帯で融通のきく事によって子育ての幅が広がる。現状ではなかなか難しいと思います。子供が何かあった時に融通がきくようなワンクッションあるサポートみたいな物があれば心置きなく働けます。
308	母親側の負担が大きいため、父親の時短勤務や有休が取り易くなるようにする。
309	保育園を増やす。保育士が働きやすい環境作り（給与含む）。
310	育休・産休制度のある会社を増やすべき。施設利用料を安くする。子育てに理解のある社会へ！
311	子育てに一人で取り組むことが当たり前にならないような、母親も父親も同じように子供を見る事ができるような知識・教育の普及。
312	託児所がもっと増えてほしい。（会社に託児所がある所が少ない）
313	育休・産休を申請しやすい雰囲気。復帰後、働き方の選択の余地（日数・時間など）があること。
314	病児保育を増やして欲しい。何かあっても女性の方が仕事を休まざるを得ないのが現状。パートなどは居づらくなってしまふ。
315	幼稚園・保育園・学校は基本、土日祝が休みなので、同じく土日祝休みの仕事を選ばざるを得ません。ある仕事に就きたいと思っても、休日が合わない会社が多い。なので、休日が合致する仕事があれば、子育てしながら働き続ける事が可能になるのではないかと思います。

316	会社の労働時間の改善。社会全体の意識改善。子どものいる家庭の親は17時退社。子どもの病気にに対する社会・会社の理解・改善。育児休暇の2年延長。
317	自分はそもそも働きたいとは考えていないが、短時間労働や在宅ワークが充実すると子育てとの両立がしやすくなるのではないかと。
318	会社の育児への理解。子育てに関する事の知識を勉強する機会や、男性と女性で考え方や感じ方が違う事を知る機会の提供（アンケートなど）。
319	会社の理解が必要。子どもの事で休んでも嫌な顔をされて休みづらいので。
320	どこの会社でも子育てに前向きな姿勢。周りが理解し、サポートしてくれたらいいと思います。困ったときはお互い様、助け合いが必要。
321	会社の理解
322	急に子供が熱出したりして休まなければならないときに、会社を休みやすいようにしてほしい。
323	男性側の理解度の促進
324	土曜日は仕事休みなら家庭で子供を見ましょと園から言われ、月末に翌月の土曜日利用の有無を記入させられる。家の事や自分の時間を過ごしたり、夫と出かけたが、子供をないがしろにしている親だと思われるのではと悪い気がする。仕事が休みの日でも寛容に受け入れてほしい。
325	父親も有休や育休を取り易い社会作り。企業側の理解度を深める。
326	4月から育休明けで職場復帰し、夫も家事には積極的に参加してくれていたが、自分が通勤と仕事と家のことでいっぱいになり、12月から時短勤務に変更した。この時、夫は仕事が忙しく時短勤務はできそうにないという事だった。男性も時短勤務しやすい環境になればいいなと思います。
327	特に30代以上の男性の意識改革。子どもが赤ちゃんの時から、父親にも育児に参加させる。保育園の送り迎えなどもやってもらうなど、母親が全部一人でやらず、父親にも任せてみる。
328	夫の協力（家事）。職場の理解（休暇の取り易さ）。
329	短時間労働の推進、フレキシブルな労働時間を認める。一番は職場の理解を得て働く事が大事かと思っています。
330	育休を誰でも取れるようにする。子どもの体調が悪い時は、治るまで父親が母親が休めるようにする。
331	男女ともに休みやすい会社である事。有休を使いやすいようにするなど。
332	会社に託児所があればいい
333	残業や時間外労働を無くしてほしい
334	子供に関わる教育・生活（病院など）・給食などが無料であり、貧富の差が子供に影響しない社会にして欲しい。また、いじめの無い社会の実現も。その為には、組織の上の人たちが真剣に考えなければいけない。
335	男性に対して、女性を大切にしようとするような教育を小さいころからしてほしい。
336	土日祝に気軽に利用できる、託児施設があれば、と考えます。夫の帰宅が遅い、出張が多いなどでワンオペ気味になると少し子育てが辛く感じます。1~2ヶ月に一度でも自分だけのリフレッシュする時間があれば子育てももっと楽しくなると感じます。
337	子供が病気になった時や、行事がある時に、男女ともに休みやすい職場環境が整っていると良いと思います。現に男性は、申請しづらいのか、育休が取れていない。
338	子供が小さいうちは、休みなどがすぐに取れる環境。
339	子供を育てながら働く事への企業の理解と関心を深めるべき。働きやすい環境の創出。
340	求職中に気軽に子供を預けられる場所が欲しい。ハローワークに保育士を配置するなど。働き始めたら、周囲の理解が必要。
341	我が家では、父母問わず、その時に時間がある方が育児を担当しています。両方とも時間が無い時は、祖父母にも協力してもらっています。幸い、利用している保育園は休日保育も行っている為、大変助かっています。
342	長期休暇時の開設時間を早める。

343	パパの為の子育て広場みたいなイベントをもっと多く開催して欲しいです。妊娠期から父親学級必須とか、立会出産に積極的になるようにとか、パパの沐浴練習日を支援として行うなど、「父親育て」の支援をして欲しいです。
344	子供を安心して預けられる、任せられる施設やサービスが必要だと思います。民間で、利用料がかかっても良いのですが、大都市に比べて選択肢が少ない。まずは、様々なサービスが受けられるように、行政からの情報提供を積極的にして頂けるとよいと思います。
345	保育園が少ないのか、保育士さんが少ないのか分かりませんが、保育園に空きが無く、育休明けで職場復帰の際に一時預かりを利用する事になりました。もっともって一時預かりができる保育園が増えたらいいと思います。
346	職場で、「子どもの熱くらいで休まれると困る」と言われるとよく聞きます。このような上司や同僚がいる職場に対して子育ての何たるかを啓蒙するような支援が必要なのではないかと思えます。
347	子育てしながら働き続ける事も大切ですが、それ以上に子どもと過ごす時間が必要なのではないのでしょうか？親と離す支援より、一緒にいる時間を作る支援の方が大切だと思います。
348	母親が家にいて、子育てや家事をしたいと思うのは悪い事ですか？
349	子供が病気になった時に休みやすい職場環境になって欲しい。休むことにより仕事たままって残業になってしまう。
350	短時間・長時間の区別なく預かりができる。日曜・祝日保育の充実。病児でも現在通っている保育園で預かれるシステム。
351	お金。保育園の空き。自由に預けられる制度。
352	一人親に対する支援をもう少し強化してほしい。上の子が障害を持っている為、障害が有る無し関係なく一緒に保育を受けやすくなるような支援があればと思います。
353	子供が病気した時に安心して預けられる場所を増やして欲しいです。
354	病児保育の拡大。企業における保育事業の拡大。
355	民間でも気軽に有休を取得できるような理解。男性に対する子育てについての教育。支援事業利用料の負担額の減額または無料化。ある程度以上の収入になるような在宅ワークがもっと増える事。
356	子供が病気やケガの時に職場に休みますと連絡を入れるのが気重。
357	病児・病後児保育の充実。休みやすい職場作り（人員を増やす）。残業・休出を法で禁止または規制してほしい。公務員・学校等でもフレックスタイム制を導入してほしい。小児科・耳鼻科・皮膚科等がもっとあればいい（ちょっとした通院でも半日がかり）。
358	子育てに対する企業側の理解。子どもの急な体調不良等での欠勤や遅刻に寛容な社会にするための仕組み作り。職場に保育所や病児保育施設を積極的に設置してほしい。
359	ファミリーサポートセンターのような、もう少し安い金額で利用できる場所が欲しいです。1時間千円だと時給より高くなり、気軽に利用できないのが現状です。
360	「男女がともに」と言っても、結局、男性は休めない。会社が理解を示さないから。だったら、しっかり女性を休ませて欲しい。きちんと休みを取れる社会にして欲しい。
361	「子育てをしている」という事への周囲（会社・家族・親族など）の理解
362	休日・祝日・教育時間外の預かり体制が整っていると助かります。安心して親が仕事できる環境が無いと子育てするのがとても大変です。兄弟を希望することも難しい。
363	子供が体調を崩している時に預けられる施設を増やす。
364	父親の残業が多すぎて、結局母一人で一日中子供をみている事が負担になっている。共に残業が無ければ、共働きもできて、家族みんなで過ごせる時間も増え、更には消費も増え、経済も良くなるのでは？と思う。とにかく、父親たちは働き過ぎ。
365	民間でも、子の看護休暇、妊娠時の定期検診休暇を設ける。父親同士の情報交流、学習会などを開く。男性も一回は妊娠中の定期検診に付き合えるようにする。保育料を無償にする。
366	企業内保育施設、病児保育を普及させる、また、使いやすくする。子どもの急な体調不良などで職場を離れる必要がなくなれば、女性も働きやすくなるのではないかと。

367	子育てしながら働き続けるのは無理がある。母親の負担が大き過ぎて、夫婦関係・子どもに対して全てプラスになる訳ではない。寧ろ、子育てしやすい地域環境を作り上げてほしい。
368	子供の病気の時に、男性が休めないという事が多く、職場の意識を変える必要があると思う。もっと男性も子供の為に休める環境があってもいいと思う。
369	両親共に残業が多くあるため、18 時までの児童館でもギリギリになってしまう。児童会のように18時半までにしてもらえると助かるのだが。
370	職場・地域の理解
371	男の人でも気軽に休みを取れる環境
372	子育てに関する各種支援より、父母の勤務先の子育てに対する理解（休暇の取得等）が必要と考える。
373	子どもが病気の時に安心して預けられる場所が近くにあればいい。祖父母の子育て参加が一番助かる。
374	父親の子育て参加。特に、本人ではなく組織の責任者の理解が必要。小野寺市長へ、男性の子育て中の職員を率先して休ませてください。
375	男女ともに産休・育休を必ず取れる制度。が、制度があっても実際に取らせてもらえなければ結局仕事を辞めるしかない。自分もそれで仕事を辞めたが、他にも育休が取れず、しかも0才児の保育所入所が出来ずに退職に追い込まれた方が沢山います。子どもが2～3歳になるまで父母が交互に育休を取れて、子育てできれば本当に0才児保育を利用したい方が利用できるよになると思います。
376	もっと男性が子育てに参加する。男性職員向けの子ども触れ合い体験みたいなことをしている会社もある。これからは、そういう社会が必要。
377	大型スーパーなどで買い物中に無料で預かってくると本当に助かる。
378	会社の理解、在宅ワーク、子供を安心して預けられる場所。小学校で、放課後遊ぶ場の提供。
379	児童扶養手当の増額（二人目）
380	子育て中の社員・職員に対する職場の理解（母親が対応するべきという考えが根強いので、ならば、半休や子の看護休暇をもっと使いやすくしてほしい）。病後児保育併設の保育施設をもっと増やしてもいいと思う。上の子が利用したことがあるが、職場からも園からも遠い反対方向などで不便だった。
381	職場の理解度
382	子供の為の急な早退や休みを受け入れてくれる会社があればいい。その対応が心配で仕事に就けない。ハローワークの求人情報に、そういう対応の可否があれば仕事に就きやすいのだが。
383	子どもの病気などでも休みやすい職場
384	子どもの病気などでも休みやすい職場にしてほしい。小学校入学前までは、短時間勤務とする取決め及び、それに伴う減収を担保する為に保育料の無料化。
385	子どもの急病時、快く休みを取れる職場環境
386	病児保育の利用には、先ず病院で診断書もらって、その費用については役所に領収書を持って行くとの事だったが、そもそも病児保育を利用するという事は、仕事で忙しい訳で、あちこち回っている余裕はありません。直接、病児保育を行っている施設に連絡して、登園の可否を判断するようなシステムにならないのでしょうか？
387	子どもの病気になった時に気軽に休めるような社会性がほしい。
388	男性の育休機会をもっと増やすべき。その為に、企業にもっと強く働きかけていかなければならない。延長保育の際、軽食だけでなく、しっかりと夕食や入浴までお願いできるとありがたい。くるみんマークを取得している企業でも、実際には取得要件を満たしていないところがあるので、もっと厳しくすべき。現実を把握せずにマークを与える事は、そのマークの信頼性を脅かすものである。
389	安全に安心して預けられる環境にスムーズに受け入れてもらえる事。
390	子供を預けやすい環境（費用や受け入れ人数など）が必要。夫婦がそれぞれ車を持っていないと、子供を預ける際の送迎が難しい（特に、雨や雪が降っているとき）。

391	学童保育の18時までの時間制限がとても厳しかった。どんなに急いでも17:30までの仕事で、そこからの迎えでは、ちょっとした状況で間に合わず大変だった。せめて18:30~19:00までにしてもらえれば助かる人が多いと思う。中には、18:00以降は外で子供たちを待たせる学童保育もあり、強い不安感を持っている。
392	延長保育の無料化。お箸の使い方などのマナーをしっかりと教えてくれること。社会化がきちんとできるような子に育てていくこと。
393	風邪をひいたり、熱が出た時にも安心して預けられる施設の存在。
394	給料の底上げ
395	仕事の為、子供のやりたいことをかなえてやれない。習い事への送迎事業が必要。仕事が土曜・祝日も19:00までなので、保育園・児童館のお迎え時間い間に合わない。開園時間を延長してほしい。
396	事業所保育の充実。保育料の値下げ。
397	児童手当等の充実。職場環境の改善。
398	子どもが急病などで、現在通っている園を休まなければならないような時に、そのまま通っている園でみてもらえるようにできる支援が必要と思います。病気の時だけいつもと違うスタッフのいるところに預けるのは不安があります。慣れたスタッフの所で預かってもらえれば親子共に安心です。
399	休みを取り易い職場環境の保障。子の看護休暇を全ての職業に！
400	保育料等の無償化
401	0才児保育や認定こども園の枠を増やす。病児保育なども積極的に行う。
402	育休を取得しやすい環境、職場の理解。
403	職場の環境整備。児童会や放課後利用できる施設を増やす。
404	子供を預ける場
405	不定期休日の保護者への対応を広げてほしい。土日祝も、病気やケガの時もいつもと同じ園や学校でやってくれれば、子供も保護者も安心できると思う。日によって場所が変わるとやはり不安です。
406	保育園などの施設の充実（時間帯など）。子育てにお金がかかり過ぎるので税金の免除など。
407	全ての男性の理解
408	保育所を増やす。保育士の質の向上の為、賃金を上げる。保育士不足の解消。保育料の無償化の前にすべき。
409	男性の残業を無くして家事・育児を行う時間を作る。職場で早く帰らせる事を徹底してほしい。乳幼児はすぐ病気になるが、パートだと有休もなく、休みが欲しいと言えないので、病児保育を多くして欲しい。ファミリーサポートセンターも利用したことがあるが、日によって預け先が変わるのは子供への負担が大きい上に、利用料が一日7,000円は経済的負担が大きい。女性に家事・育児を負担させるのであれば、正規採用での短時間勤務の推進がなければ、結局、パート勤務しかなくなり、仕事と子育てを両立していると言えるような状況にはならない。この両立がしっかりできる社会にしないと少子化の改善は無いと思う。
410	週末に保育園にいる子を可哀そうと言う人がいますが、働かなければ子育てもできませんし、日祝関係ない仕事の人もあります。こんな偏見や無理解がなくなるといいな、と思います。
411	親以外に子の安全を確保できる場が欲しい。
412	子供が病気などの時に休みやすい職場の環境作りが大事だと思う。
413	保育士を増員し、預けやすい環境にして欲しい。障害を持っている子の預け先が少ないので、研修をするなどして受け入れできる園を増やして欲しい。それが無理ならば、養護学校のような専門の幼稚園・保育園を作って欲しい。
414	職場の理解。息抜きの時間。
415	短時間保育と通常保育の差をなくす。個人事業主は短時間保育と認識されますが、現実的に短時間では何もできない。保育時間を長くして欲しい。急な残業や冬期の渋滞などの予定外の不可抗力でも延長保育で加算料金を取られるのが不満。
416	職場の理解

417	男性の育休の取得の理解。病児のために父親が休むのが当たり前になればいい。
418	安心して子供を預けられる場所の支援
419	病児を預かってもらえる場所があると、近くに身内がない者としては助かります。
420	女性は産休が取りづらいので遠慮せず取れるようになったらいいと思います。あとは、フルタイムの場合は時短勤務も希望すればできるようになればいいと思います。男性も同様です。
421	父親も育休を取ったり、子供が急病の時に早退するのが自然な社会にならないと母親の負担が大きいままの状態は変わらないだろうと思う。
422	事前に予約して一時預かりなどのサポートを得る事はできるが、核家族が増える中、「今すぐに」対応してくれるサポートが無い限り、仕事を辞めざるを得ない。
423	積極的に有給休暇の取得ができるような職場環境。月齢が低い子供も預けられる保育園以外の施設の増加、若しくは、定員増。
424	経済的なサポート
425	保育料が無料だと働きやすい。パートの給料と保育料を考えると、子供が小さいうちは預ける事をためらってしまいます。預けて働きに出ても残る分が数万円では働きたいとは思えません。
426	保育園等に空きが少なく、希望の園に入れなくて困ったので、希望しているところに入れるようにしてほしい。
427	男性も子供の看護・介護のために休みやすい環境が必要だと思う。
428	“支援”ではないが、家庭生活を優先できる世の中の制度や雰囲気になれば実現は難しい。
429	男性の積極的な育休の取得。子どもが病気になったときの仕事の休みが取り易いこと。
430	自営業家庭の観点から、近くに近親者がいれば金銭面での苦勞がないと感じています。しかし、ファミサポの方や、ひよこちゃん（託児）の方がいてくれることで生活が成り立っている事に感謝しています。今後もこのような団体の維持と、更なる普及を期待しています。
431	24時間開いている幼稚園や保育園。利用料は極力安価で。
432	子育て中の従業員の仕事量の削減。父親の休みを取り易くする。病児保育の拡大（但し、単に施設を増やすだけではなく、内容も充実させた上で）。
433	職場の中か周辺に預かって頂ける施設があれば…また、放課後保育も18:30までではなく、もう少し遅くまでやって頂ければなあ…と思っています。
434	企業内保育所の設置に対する補助制度
435	勤務時間の柔軟性は必要。働く事が出来る時間のみの勤務など。
436	発達障害児の受け入れ先が少なく、1施設に1日10人という現状の改善を望みます。受け入れ先をただ増やしてサービスが低下するようでは困りますが、施設の増設の対策をして欲しいです。このままでは障害児の親（特に母親）はまともに働けません。
437	小さい子どもがいると公共交通機関の利用を躊躇する。その為、さんぽぼ子ども支援センターには自家用車で行く事になるので、駐車環境（料金、収容台数、広さ、e.t.c.）を改善して欲しい。保育料の無償化。産休・育休中は住民税を無しにするか減額してほしい。3人以上子供がいる家庭も。
438	男性も気軽に休める社会
439	盆暮れ正月日祭日も預かってくれる所が無いと困る
440	病児・病後児保育の充実。
441	保育園や放課後児童会の開設時間の延長
442	主婦が働きたいと思ってもパートの仕事が少なすぎる。フルタイムで働くと、子育てがおろそかになる。企業に対し、子育てしている家庭には、パートでの採用を認めるよう働きかけて欲しい。
443	金銭的な手当の充実
444	休みを取り易い会社の雰囲気作り。病気の時に、専門家の下で安心して預かる事のできる施設。

445	社会全体の意識が変わるよう、子育てしながら働く家庭の実情を他の方にも知ってもらえるような啓蒙活動。兄弟の片方が感染症にかかっても、片方が元気なら、元気な方は預かってくれる場が欲しい。保育園ではどちらも休むように言われる。時間差で元気な方が発症すると仕事の休みが長期化するのでは。
446	子育てにはお金が必要です。先ずはそこです。青森は賃金が安すぎます！
447	見守り。地域の活性化。仕事・賃金の充実。
448	夫婦ともに医療職でシフト制勤務の為、土日祝関係なく利用できる保育事業所があるととても助かります。また、病児・病後児保育の充実を図ってほしいと思います。
449	子供の急な熱などで、快く早退を認めてくれるような会社の存在。
450	保育園の通常終了時間を18:00ではなく、18:30にしてもらえると助かります。そこまでは延長保育扱いにならないように。保育料自体高いと感じているのに、延長保育料は更に高くなるし、18:00だと間に合わない場合も多いので。
451	有給休暇を増やして欲しい。分単位で取りたい。
452	男性が育休を取得する事に対する企業の理解。子供手当の増額。保育施設の無償化。
453	父親が休みを取り易く、時間も早く帰宅できるように配慮する企業が増えるとよい。ただ、その分、子供のいない人への負担が増えるようだと、不公平感から職場の雰囲気も悪くなるだろうから、そのケアも必要かと思う。
454	子育て中のママも働きやすい14:00までの短時間のお仕事を作るべき。しかも、週3~4日で。しかし、長期休暇中の預け先を作らない事には意味がない。
455	病児保育は必須。八戸に住んでいたが、青森より病児保育が利用しやすかった。あとは、会社の理解が必要。急に抜けて休む事になった場合に、人がまわせる環境にあるかが一番重要。
456	保育園利用の充実→18時過ぎると延長料金徴収は違うと思う。仕事が終わるのが18時過ぎる親は多いのに、金銭面でのサポートを考えると、これは違うと思う。また、子供が病気になったときに預けやすいようにする。手続きが煩雑である。
457	休暇の取り易い職場であると大変助かる
458	親が就労中に子どもが病気の時など、安心して預けられる仕組みがあったらいいと思います。
459	会社側の理解。病児保育所の増設。
460	子供の病気などで有休を取り易かったり、その際、父親も休みやすい環境や雰囲気になれば良いと思う。
461	子供の急病などでの急な休みを父母ともに取り易くする制度。
462	小学校入学後の夜間預かり。出張に対応できるよう、泊りの預かり。男性が子供の急病などで休みやすいような職場の環境作り。
463	子供の急病や発熱で早退や休むことを理解してくれる職場がたくさんあればいいと思う。
464	定時で終われるような仕事量と環境の整備。病児保育の普及と周知。保育所等の開園時間が早まるか（冬場は7時ころ）、出勤時刻を調整できる制度。
465	ヤクルトやみちぎんのような事業や認可外保育施設がもっと多くあれば働きたくなると思います。
466	家事は女性がやるものという社会常識を変えて、男女平等に家事分担をすること。あと、普段行き届かない場所をプロに頼みたくとも収入的に難しいので収入の向上が必要。
467	通っている保育園の中で、熱が出て専門的な先生がいて、通常の閉園時間まで預かってもらえる体制ができると助かります。
468	夫が子供の病気などで休みを取り易い環境になってほしい
469	土日祝24時間で子供を預かってくれる公営の施設がないといけないと思う。そうじゃないと、現代の仕事環境に合わない。家族が見てくれている家庭であっても支援が必要。3才以下でも、一日数時間でも、毎日でなくても、バス等を利用して通える公営の場所が欲しい。家族が病気になったらと不安に思っている。
470	一時保育の料金値下げ、および利用日数の拡大。
471	子供に絡む休暇の取得のしやすさ等、企業側の理解。小児科と病児保育の一体運営。少ない質問や何個選択するのかの分かりやすさ等、アンケートのしやすさ。



472	職場のリーダーが、育児に理解を示し、時短や急な休みでも気を遣わなくても済むような、働きやすい環境にすること。
473	休み（時間休でも）の取り易い職場環境。男性の育休も1週間程度でもいいので義務化されれば社会的にも認められ普及し、第2子第3子の出産時にも助かると思います。
474	従業員の家庭の状況を考えて配属先を決めたりなど職場からの協力が必要
475	経済的支援があれば、精神的にも時間的にも余裕ができ、子育ても充実すると思う。高齢者よりも子育て世代に仕組みをシフトし、社会構造を若い世代型にする事がいいと思っています。
476	休暇を取れる環境
477	男性の育児&看護休暇取得を促すポスターの作成や企業向けの案内などの啓蒙活動
478	勤務時間や勤務日は変動するので、それに合った支援体制が必要です。例えば、放課後児童会の開会時間の延長や休日の開会などです。
479	父親が育児休業するというニュースは目にするが、全然他人事。パート・アルバイトにさせようとする職場もある。どうにかしてほしいけど、どうにもならない。逆にこちらが聞きたい。
480	こども優先で休めたり、早退したりしやすい職場が沢山あること。短時間労働がしやすい職場が沢山あること。
481	父・母一緒に育休を取って一緒に子育てすることができるようにする。義務教育中、両親とも残業をさせない。民間でも子供の病気休暇が取れる。妊娠中、体調が悪い時は無理せず休める。そんな環境。
482	残業なし。子どもが体調不良などで安心して休める。送迎タクシーの女性ドライバーの普及（男性には女兒を頼みたくない）。有休を必ず使えるように。家事・育児サポートチケット配布（送迎・買い物・掃除・食事の用意・洗濯・見守りなどに使えるものを子供一人につき12ヶ月分）。
483	急な病気などの時に安価で預かってくれる所。仕事の休暇の取り易い環境。父親側の会社の残業が減るように周囲との協力。
484	会社や社会の理解とサポート
485	祝日・休日も保育園でみてくれる支援があれば働きやすい
486	男性の意識を変える活動。仕事の分散化の推進。
487	労働環境の改善（残業を減らす、給料の増額）。保育所を増やす。
488	会社に保育所がある。欲を言えば、医師、看護師が常駐していて、軽い症状ならばそのままそこに預けて仕事ができるといいな、と思います。
489	3才未満の受け入れが少な過ぎるので急な一時保育が難しいのを何とかしてほしい。
490	子どもが病気の時には母親が仕事を休む事が当たり前になっているが、父親も休めるような制度の普及や、それが当たり前と思われるような社会になるような啓蒙活動。
491	子どもが病気の時に休むのが母親になるが、父親が休むのも当たり前になるような社会にして欲しい。
492	手当の充実。父・母だけでなく、子育てに協力しているそれぞれの家族、祖父母、おじ・おば等も休暇が取り易くなれば子育ても少しは楽になるのでは？
493	男親の積極的な育休・産休の取得
494	安心して子供を預ける事ができる保育園。急な欠勤や早退を認めてもらえる職場。
495	安心して朝から夜まで預けられる所があるとよい。しかも無料で。
496	子どもがいる就労者への会社の理解
497	働きながらの子育てには家事の負担が大きいため、負担を軽くするような食洗機や乾燥機付き洗濯機や自動掃除ロボットなどの購入に対して補助があればいいなと思う。
498	病児一時保育ができる場所をもっと増やして欲しい
499	女性だけでなく男性も子が病気の時に休みを取り易くなれば良いと思う。周りの皆も、将来の自分の事を考えて「お互い様」の気持ちを持って受け入れてくれたらと思っています。
500	会社が家庭と仕事の両立に理解を持つよう、国が指導すべきである。

501	父母共に子供の病気等で有休を取得させてもらえるよう、全ての会社に徹底してほしい。普段利用している保育園もしくは地域に病後児の預かり施設を作してほしい。子連れで働ける職場が増えて欲しい。
502	病児・病後児の預かり施設。可能であれば、小児科へ連れて行ってくれる人が身近にいればなお良い。
503	女性が産み、母乳で育てるのなら外に出て働く事は出来ないの、根本的にムリと思います。
504	病児保育の時、医者の確認が必要で、午前中から病院へ行っていたら仕事に行けないので、医者の確認なしでも預けられるようにしてもらいたい。保育園によって、紙おむつやご飯を持って行かなければならない所があるが、園によって対応が異なるのはおかしいと思う。
505	保育料を考慮して保育園ではなく幼稚園に預けていますが、日中のイベントなどがあると仕事を休まなければなりません。保育園だと夜に集まることが多いので休まなくても済みます。保育園でも幼稚園にある金額体制を取り入れて欲しいです。
506	有休が沢山あるのに使い辛く、休出しないと追いつけない程仕事量があります。子どもとの時間を確保する為には母親はリフレッシュなどできません。せめて、「そこに行けば、子供が自由に遊べて、安全に見てくれている人もいて、親は一息ついて待てたり、子供も体を動かして満足して帰れる」ような施設があればいいなと思います。
507	男性の育休推進
508	要資格者も必要だし経験も必要。又、当方みたいな身内が県内にいない人の事も考慮して欲しい。
509	男性側も積極的に子供に関連した時間を取れるような風土づくり・働きかけ。
510	有休などが取り易い職場環境
511	各会社の子育てに対する理解
512	男性も女性も子供の為に休みやすい環境と、それをサポートしてくれる人への手当の充実（仕事で迷惑をかけてしまう人が辛くならないように人員に余裕がある等）。
513	夫の家事・育児を手伝い感覚ではなく主体的に行う意識。また、夫の小学校で習得するレベルの家事能力。
514	親子だけで暮らすとなれば、父親にも積極的に家事・育児を手伝ってもらわないとなかなか生活が成り立ちませんでした。特に、子供が小さいうちは。現在は、実家で私の両親が家事は勿論のこと、育児も手伝ってくれ、幼稚園等に入園できるまでは夜の時間帯で仕事に行こうと思っています。誰かの協力無しでは両立は難しいと痛感した1年でした。
515	子どもが病気になった場合、妻が迎えに行く家庭が多いが、夫にも均等で休んで欲しい。
516	子が病気の時に、急でも預かってくれる施設。
517	職場での休みが取り易い、勤務時間への配慮など。
518	幼稚園・保育園での延長保育料が無料になること。
519	父親の育児休暇がまだまだ浸透していないし、取りにくい職場が多いと思う。子どもの病気やケガなどの場合、結局は女性に負担が掛かる。それで社内的立場が弱くなってしまうので、そういう時に預かってくれる施設があれば、と思う。
520	小児科と連携している保育園があると良いと思う。または、保育園の隣に小児科があって、熱が出たときなど直ぐに診てもらえて、尚且つ、お迎えまで預かれるような制度になると働けると思う。そうすれば、自然とかかりつけ医もできるし、予防接種などもスムーズに受けられるようになると思います。
521	子どもが病気の時、気軽に休める会社。
522	支援ばかりに頼ると、今の親が親として成長できないと思う。
523	職場の人員も限られている為、突発的な休みは迷惑をかけてしまう。安心して預けられる病児保育施設をもっと増やして欲しい。
524	行政サービスではないですが、仕事のクラウド化が進むといいなと思います。子どもの病気などで休まなければいけない時でも、在宅で仕事が出来たらいいと思うので。

525	勤務時間を減らすための法律や制度設計（罰則付き）。市役所の残業を無くして、それをモデルケースとして、または民間企業の取り組みを紹介して広報等を通じて社会全体で共有する。子どもは社会の宝だという意識を作り出して欲しい。CMや広報等で人々の意識に刷り込ませるくらいの頻度で継続的に行って欲しい。子育てを個人の問題で終わらせて欲しくないです。
526	今でも十分！
527	休みやすい職場の環境作りに対する支援
528	各種支援が必要
529	幼稚園に入る前までの間に子育てをサポートしてくれる機関が少なすぎると思います。もっと市の中で子供を遊ばせながら集える場所、悩みをサポートしてくれる方が多ければ、もっと子供をたくさん産み育てたいと思います。
530	単身赴任の廃止と短時間保育の廃止。夫が単身赴任なので家事・育児の全てが自分にかかってきて精神的にきつい。短時間保育だと通勤時間もあるので、せめて18:00まで預かって欲しい。
531	子どもが急病の時などの対応をもっと優遇してほしい。現実的には帰りづらい会社が多いので。
532	保育料の負担を軽くする（無償化の実現）。職場の理解と協力（父側が休みづらいので母側が休まざるを得ないのだが、そうすると、母側の勤務先での立場が苦しくなる）。園の質の向上の為に、先生の給料UPと勉強の機会を増やす。
533	会社の理解
534	男性が子育てに積極的に参加できるよう勤務時間の改善と子育て世代ではない方への周知の徹底。金銭面での支援。
535	急な発熱などで保育園に登園できない場合でも、病児・病後児保育の複数箇所への拡大。
536	お金。税制改革。By 父 曜日関係なく預けられる場所。子どもを優先しても雰囲気が悪くならないような職場の意識改革 by 母。
537	休暇等を取得しやすい職場。病児保育の充実。宿泊を伴う保育。
538	子供の急な発熱に対応してくれたり、一時保育などの利用枠をもっと増やして欲しい。
539	保育所の受け入れ態勢がしっかりと整っていて、職場も子供の急病で休めるとか、仕事量が家庭の事情に応じて柔軟に調整できるような環境になっている事。夜間・休日などのでも対応できる医療体制が整っている事。
540	小学校入学後は児童館などの利用を考えている。しかし、通学している小学校の中にそういう場所が無いと、そこまでの行き来が心配である。学校によって放課後利用できる環境が異なるのはどうでしょうか？全ての小学校で放課後利用できる学童保育を設けて欲しい。
541	職場の理解（安いが取り易い）
542	インフルエンザにかかった時に、熱が下がっても保育園に行けない時期があったが、この時に、病児・病後児保育施設でも利用できないと言われました。こういう時こそ支援してくれる場所があれば安心して子育てしながら働ける思います。
543	休みやすい職場環境と周囲の子育てへの理解
544	女性の負担が大きい。男性も家族の一員として当然に家事等するべき。保育園も、ただ預かるだけでなく、たくさんの愛情を持った先生方がやりがいをもって働ける環境が必要。その為にも、保育士の方々の休日や給与を更に充実させてほしい。
545	市内にある全飲食店に定休日を設けるようにして欲しい
546	男性も積極的に有休や育休が取り易い環境
547	子供が病気の時に気兼ねなく休める職場環境
548	助け合い
549	保育園の今の短時間、長時間のパートの分け方を辞めて欲しい。時間が不規則で遅く終わる日もあり、お迎えが困難な時もある。また、2人目を保育園に入れたくても入れれない。産休がある会社ばかりではない。
550	有休を10日は取りたい。子供の行事に参加したい。
551	安心して預けられる事業所がもっと必要。また、子育て環境を考慮し、企業や職場でも有休や育休をとりやすい環境づくり、制度が必要

552	会社でのフレックス制や時間休が必要。常に混んでいる小児科が多く、ネットでの予約制の導入により、仕事の状況を見ながらの通院ができるようにすること。
553	家族以外の理解
554	男性の家事育児参加の理解促進。イクボスの普及
555	育児時間のシステムが普及してほしい。
556	休みがとりやすい会社。気軽にお願いできる施設（通っている保育園）19時までだと短い
557	子育て中の人は仕事を早く終われるようにしてほしい。会社にそのような制度はあるが、実際には早く帰ることはできないのが現状である。
558	職場で、子育てしている人が勤務時間や休暇など優遇されるようになってほしい
559	子供の病気の時に仕事が休めるような職場の理解
560	子供を預けてまで、怪我や病気時に働かなければならない。環境を改善してほしい。
561	もう一人子供が欲しいと思っても、男性の協力がなければ無理です。男性メインの子育てイベントなど、啓蒙活動をして貰いたい。
562	急な仕事（日にち、時間）に対しても快く受け入れてくれる。
563	子育て世帯への休暇の充実。職場の理解。補助金の支援。
564	子供が病気の時にすぐに預かってくれる場所が欲しい。仕事が遅くなる時が多いので、延長料金がかからないと助かる。求職中でも3か月経つと、保育園を退園しなくてはいけない制度はやめてほしい。
565	子供の人数が多い為、保育料を無料にして欲しい。父親を2人で参加する事業もあってほしい。
566	男性が子供のために休みを取ることを嫌がる会社が多い。
567	男女ともに育児休暇を希望すればとれるような環境づくりをして欲しい。また男性の長時間労働（残業、休日出勤）が青森市は多く、女性の家事負担が増えている。就労環境を改善するように企業側に働きかけるか、もしくは長時間労働に見合った報酬を得られるようにしてほしい。
568	子供が3人いて、児童扶養手当の打ち切りで大変です。所得制限の見直しをして欲しい。
569	保育園の延長保育は、保育士が嫌な顔をするため利用しづらかった。保育園の送迎が大変で、仕事を辞めざるを得なかった。保育士のいる施設で送迎も頼めるものが欲しい。
570	残業しても預かってもらえる場所が欲しい。
571	どこの会社も、子供が病気の時は自由に年休や有休を使用できる雰囲気を取得している。していただきたい事例を広める。
572	保育施設の時間延長、利用料金の見直し（値下げ）
573	日、祝日もやっている保育園を増やしてほしい。保育料を考え直してほしい。
574	時短勤務、有休の取りやすさ、職場の理解。
575	病児、病後児の預かり施設の増設。児童会は乱暴な子が多く安心して預けられない。子供が行きたいと思える児童会にして欲しい。
576	父親の就労環境の改善。育児休暇を取得しやすくする。
577	男性が育児のために堂々と休みを取得し、家庭を優先することのできる制度のようなものがあると良い。
578	病児保育の拡大。急な時にお願いできる場所。ファミリーサポートに電話してもお願いできる人がいない。一時預かりをしたくてもHPにのっている電話が使われていない。預けたとなった時に預け場所を選択できる環境作りが必要だ。
579	夫の転勤で青森に来たが、フルタイム正社員での求人が無い。そういった希望にも対応できる就職支援をして欲しい。
580	働いている会社の残業を減らして、給料を上げて欲しい。働き方改革がなっていない。
581	子供の看護や学校行事などで半日～一日会社を休んだら、会社に補助金が出るという制度
582	所得の向上。政府の子育て支援。
583	仕事の休みが取れない時期に、子供がインフルエンザになり地域のサポートでは預けられないと断られた。仕事が遅く終わる働く女性もいるのに、安全、安心に預けられるところが無い。

584	子供を見てくれる家族が近くにいないければ保育園を利用しなくてはならないと考えますが、利用するには保育料が高い
585	両親ともに働いているか働いていないかにかかわらず、保育所で預かってほしい。
586	子供が病気になっても、休みが取れる職場環境。両親ともに休みが取れない時に、安心して預けられる施設があると良い。
587	青森県内は物価が高いのに給料が安い。給料を上げて、共働きしなくても良い状況づくり。男性の仕事の時間、給料の見直し。保育料の無償化ではなく、保育の環境を整え、根本的な見直しをして欲しい。子供の遊び場が少ない。家族で行ける娯楽、遊べる施設が必要。
588	病児、放課後のサポート
589	夜間の預かり保育ができる施設を増やしてほしい。(仕事が残業で22時までの時など) 夜間預かってもらう際の利用料金も昼と同じくらいに。
590	保育料の無料化
591	保育園に預けているので、体調を崩しやすく、通院や入院が多くなり有休を使い切ってしまう。有休のほかにも、そういったことに対応した休みが欲しい。
592	病児、病後児保育施設を増やしてほしい。
593	職場、家族の協力。病気になった時の支援。子育てしていると残業しにくいので、短時間で帰宅できるような職場環境。
594	子育てに理解のある職場環境
595	男性が産休、育休を取得しやすい職場環境、社会、また積極的に推奨する上司。
596	保育料の無償化。働いていても保育料が高くて意味がない。
597	保育園を増やしてほしい。保育士の質を上げて欲しい。
598	有休がとりやすいこと。安定した職、収入があること。
599	土日祝休み、定時で必ず帰れる日中のみの仕事が増えれば良いと思う。
600	公休が取れる
601	夫はフルタイム、自分は週3のパートだが、保育時間が自分の仕事時間で計算されているため短時間として預けている。だが、ほとんど延長を利用しなければならず、MAXの保育料を(8:00~16:00)を支払っている。夫と自分の仕事時間をどちらも考慮したうえで預けられる制度、仕組みや支援が必要だと思う。
602	夫の会社で家庭環境を把握してほしい。
603	育児休暇が取得しやすい社会になること。まだ、育児=女性が多いと思うので、男性も育児に協力することが必要。
604	青森市の賃貸は高すぎます。このままでは生活できません。
605	育児休暇がきちんと取れるようにしてほしい。
606	職場が理解してくれる支援。社会全体の意識改革。子育てをすることに付加価値の向上。
607	会社側から、子育てのための休みを設けるなど、子育てに時間をとれるように働きかけがあると良い。特に男性側の会社。
608	地域のサポート体制。保育所以外に安全に預けることができる場所。利用料が高くない、年間の利用回数に制限があるなど
609	職場の環境(急な休みに対応できるなど人員的なゆとりがある。)病児保育の利用の簡便さ(朝からかかりつけ医師に診断情報提供書をもらいに行くのは大変)
610	人材確保。子供が熱を出し帰らなくてはならない時に人が多いほうが助かる。
611	男女にかかわらず、子育て家庭をサポートする企業側の体制作りが重要。企業も休まれると大変なので、行政でそこを補うサポート(支援金など、人件費の補助など)をして貰えると少しは負担(休む側の精神的な部分を含め)が減り、仕事と家庭の両立をしやすくなるのではないかと。

612	子供が急な病気になった時、支援を利用するのに、前日からの申し込み。当日でも、利用するまでの待ち時間が仕事に支障。社会の理解力にも欠けており嫌な思いもすることがあった。病児保育の拡大、仕事に集中できるような支援がもっと増えること、値段、利用しやすい方法を地域で話し、地域で解決してみたい。
613	休暇を取りやすいなど、育児に対する職場の理解。
614	子供を預かってもらう施設の充実。時間休みはお盆と正月の1週間くらいづつ。
615	女性の負担が大きすぎる。働きやすい職場作りが必要。金銭的な支援が一番助かる。子供が病気の時、仕事を休まず子供を見てくれる場が欲しい。
616	夜7時～8時ころまでの追加料金なしの保育。保育士ひとりに対して子供の人数が少ない。
617	青森で祝日休みの会社は少ない。子供のために祝日休みを取ってしまうと、急な病気の時などで休みをとらなければならない時に休みが取りにくい。子供が生まれてから12年も祝日休みを取っていない。役所の人の生活には合うかもしれないが、皆の生活には合わない。児童館、放課後児童会等いろいろあるようで、どちらも同じような形態なのが無意味。両方使えて、両方違う休みにするとか、インフルエンザの時は、同じ型の子だけの部屋であずかってくれるなど。働く人が増えるような政策をしては？と思う
618	子供が病気になった時に、両親のどちらかが休めればいいが、回数が多くなったり、どうしても休めない時に病児、病後児保育が充実していたり、預かってくれるところがあると安心できる。
619	職場と消費者の意識改革
620	金銭的な援助が必要。会社で子育て支援ができていますか。
621	フレック制度など入社や退社、勤務時間の多様化
622	保育士の確保と給料を上げる。保育士の待遇改善。子供を預ける場合、保育に欠ける理由やその時間帯を明確にし、認められた場合のみ利用を可能にすれば、受け入れる子の人数が膨れ上がらないと思う。
623	お互いの協力、思いやり
624	母子家庭でも、子供を安心して預けられる環境が欲しい。病気で仕事を休まなければならない日を減らす。(病児保育の条件をゆるくして欲しい。)仕事を休んでも給料保証。残業などの保育園の利用。お迎えや親が帰宅するまでの保育支援が利用しやすい形で欲しい。
625	子ども手当をもっと増やす
626	子どもを預けられる場所があれば安心して働くことができる。その為には、平日は特に長時間子供の面倒を見ていただける施設でなければ安心して仕事をするできない。病児保育も、病院併設など受診後そのまま預けられるシステムがあるなら利用したい。
627	休んでも良い環境
628	求職期間中の預け先が無い。保育所に空きがない。あっても遠すぎる。
629	男性の育休義務化
630	働き続けるための環境や給料保証などの支援があれば働きやすい。
631	預かる場所を増やしてほしい。
632	時間外労働の改善。特に民間企業への働きかけをして欲しい。
633	勤務時間の短縮や有休を取りやすくして欲しい。(会社によっては、年間休日数もバラバラ)土曜日休めない仕事なので、小学校に上がった社員からパートに変更も考えるが収入が減ると生活できない。一人で留守番できる高学年頃までは、早く帰れるような制度や支援が欲しい。
634	子どもが病気の時に、知らないところには預けにくい。慣れている幼稚園や、保育園で見てもらえるとありがたい。
635	男性も子供の病気の際に休めるような企業が増えて欲しい。企業で働くすべての社員の人に、定期的にアンケートを行い、子育てのし辛さ、働いている場所での劣悪な待遇の全てを明らかにして欲しい。

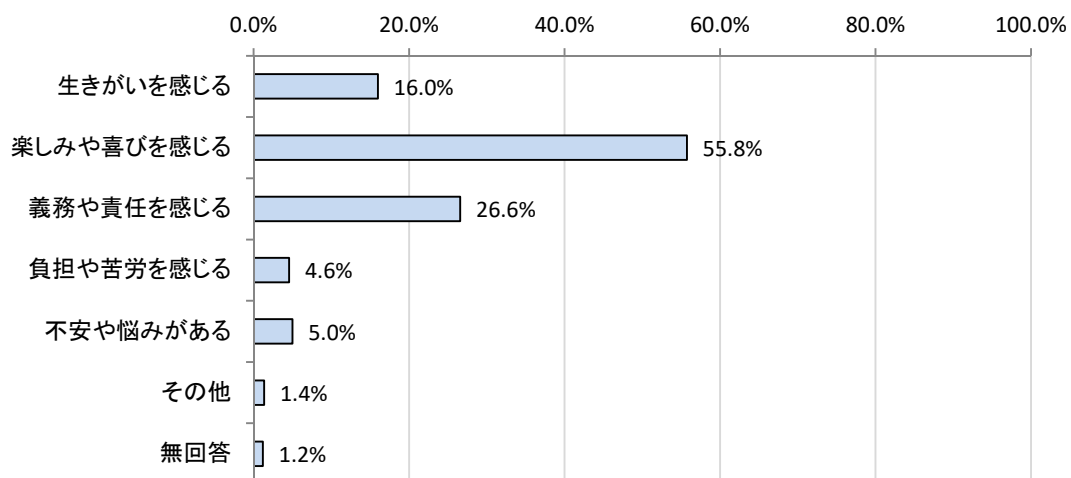
636	なぜ残業しなければ食べていけないような賃金なのか。金銭的支援があれば、母親が短時間勤務でも経済的に安心して子育てできるのではないか。子育て世代への金銭的支援があれば保育園を増やさなくとも家庭で見れるのではないか。父親が働くだけで成立するような社会にして貰いたい。
637	急な用事で利用時間が早まったり遅くなったりしても、どちらかが休むか調整しなければならない状況が辛い。
638	女性は無理だと思う。出産していない女性が多すぎる。子供がいない女性のほうが会社でも使いやすい。
639	保育所やこども園に入園希望時にすんなり入園できるようにして欲しい。待機が必要な際は同等のサービスがあれば仕事に復帰しやすい。いつ空きが出るかわからない状況で育休を延長するのは、会社に都合が悪いし、復帰後都合が悪い。
640	子育てのため、時には仕事を休むことのできる余裕と職場の雰囲気があることが望ましい。病気の時などに短期に、容易に利用できる預かり施設があると良い。
641	父母ともに必ず育児休暇が取れること。休んだ時なども何割かもらえる等、給与の保障。
642	どんな職場のフルタイムでも時短など使えることが望ましい。保育所の空きが少ない
643	すべての職種に託児があればもっと楽しく働けると思う。人員不足で休みづらい職場環境にある。
644	土日祝、年末年始などは休みの保育園も多いが親がその期間休みとは限らない。預けられる保育園もあるが少ないし料金もかかる。
645	時短でも正社員で働ける場所。会社、企業を増やす。家族、子ども手当が必要。
646	子どもが病気の時、家族以外にも預けられる場所が欲しい。
647	病気などの子供でも一時的に預かってくれる保育園や小児科の受診時間を長く、又は日曜日もやって欲しい。
648	中小企業や個人業者に向けた、子供がいる親の有休申請を拒否しないように協力をお願いしたい。風邪などで急に休む場合や健診などでどうしても休む必要がある場合。
649	現在、育児休暇中ですが、子育ての大変さを実感しています。この生活に仕事加わると思うと想像するだけでも恐ろしい。男女が共に働き続けながら子育てしなくてはやっていけない状況が無くなれば良いと思います。女性ばかりに負担が多い
650	職場で時間外ができるよう、遅い時間までやっている児童館
651	子の看護のために男性の休日。規則はあっても実際は男性は休みを取らないことが多いと思う。
652	保育料が高すぎて、働いても結局その分全部に近い保育料が取られる。子供のために働いているのに、貯金もできず何のために働いているのが分からなくなる。
653	金銭的な支援。職場での人間関係。特に長期にわたり働いている人が、優しく教えたりすることが出来たら良いと考える。
654	理解のある企業への補助などがあれば、尚更活かしやすくなります。
655	会社などが、男性が子育てに参加することへもっと理解があると良いと思う。子育てはどうしても女性に負担がかかる部分が多いと思うが、男性は仕事があり、子育てに参加できる時間が少なくなり、子どもとの関係や家族関係に悪影響があると思う。会社など休みやすく、子供との時間を確保できる支援があると良いと思います。
656	男性が「手伝う」という意識である限り、変わらないと思う。同じように仕事をしているのであれば、手伝うのではなく家事分担のワークショップに参加したり、会社に何かしらのワークバランスの講座の開催を義務付けるなどが必要なのでは。
657	母親の負担が多すぎる。父親の積極的な育児参加が必要。その為には労働時間を減らさないといけない。そうすると給料が低くなるので、賃金UPと休日UPして欲しい。
658	男女ともに休暇の取りやすさ、早く帰宅できるような環境、雰囲気になってほしい。
659	フルタイムで働いていて、通勤を含めると子供が保育園にいる時間が10時間。家で触れ合える時間はほんの数時間だが、家事に追われかまっていられない。パートにしようかとも考えるがそうすると生活できない。フルタイムの勤務時間があと1時間短ければいいのでは？上司が短時間勤務制度を知らず、有休を毎日30分ずつ使って早退していた。しかし、有休も残り数日となり、子供の急病時に使いたいため、子供に罪悪感を感じながら預けている。

660	地域の人達で助け合う仕組み（会員登録制の家事のサポートなど）。勤務時間や勤務日の縮減に向けた行政側からの働きかけ。
661	土日祝日、長期の休みの対応。子供が病気時のフォロー
662	児童会などの施設の充実。病後の預かり施設の充実。
663	休日保育や病児保育などがもっと簡単に利用できれば良い。
664	毎週何かしらの通院で仕事を早退、遅刻をしています。自分のための休みは全くありません。事業所側で、休みの制度が充実できれば助かります。有休、特別休は消化が多くいつ欠勤になるが不安です。
665	両親が共働きになるのであれば、保育時間を長くしたり、延長保育の料金を下げられたらいいと思う。また、病気の子も預かれる場所を増やすと助かる。
666	男女ともに子供のための休暇（たとえば病休、行事に参加するための休み）を取得しやすいような支援
667	金銭面や養育に関して、親が安心して子供を預けられる施設がたくさんあると良い。
668	給与が少ないため、市からの助成をもっと充実してほしい。保育園の受け入れ数が少ないので増やしてほしい。入れないと仕事復帰が難しい。
669	共働きが主なので、現在TVでも話題になっている家政婦さんに食事を作ってもらえることが一番助かる。作ってもらっている間に、他の家事もできる。
670	職場で子育てを支援してくれる環境や体制が整ってくるとうれしい。仕事を優先が当たり前の環境だと育児は後回しになってしまう。
671	どの保育所、認定こども園でも病児保育事業があれば安心して仕事に行くことができると思う。その為には人員確保や場所も必要になると思いますが。
672	男女ともに家庭を優先して休みが取れる体制であること。
673	一般企業の時短勤務をもっと取りやすい環境づくり
674	働きやすい環境整備が必要



< 1 1 > 子育てや地域での子育て環境について

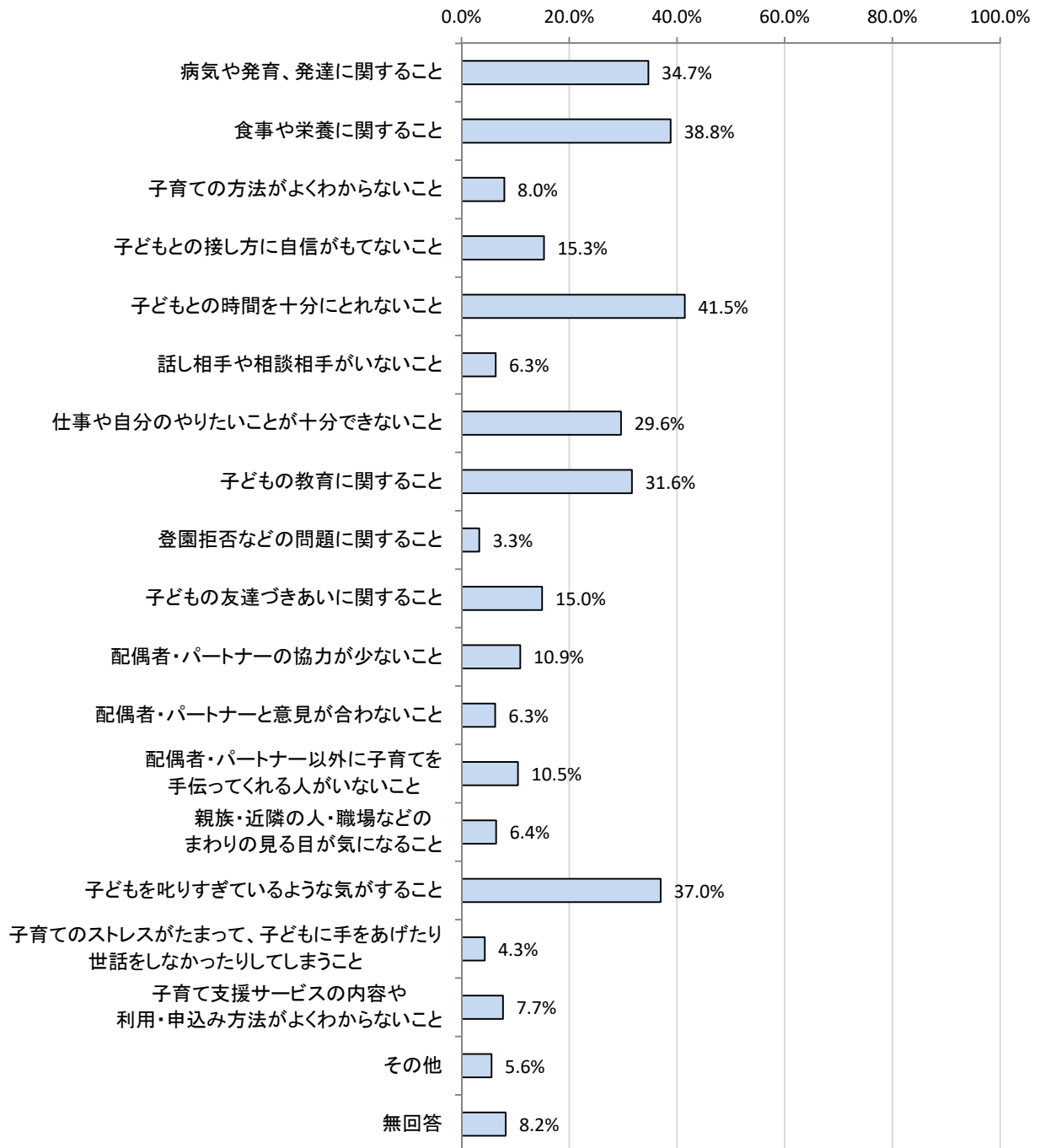
問27 お子さんを育てることについて、どのように感じていますか。



n=1,182

区分	回答件数	構成比
生きがいを感じる	189	16.0%
楽しみや喜びを感じる	659	55.8%
義務や責任を感じる	314	26.6%
負担や苦勞を感じる	54	4.6%
不安や悩みがある	59	5.0%
その他	16	1.4%
無回答	14	1.2%
計	1,305	110.4%

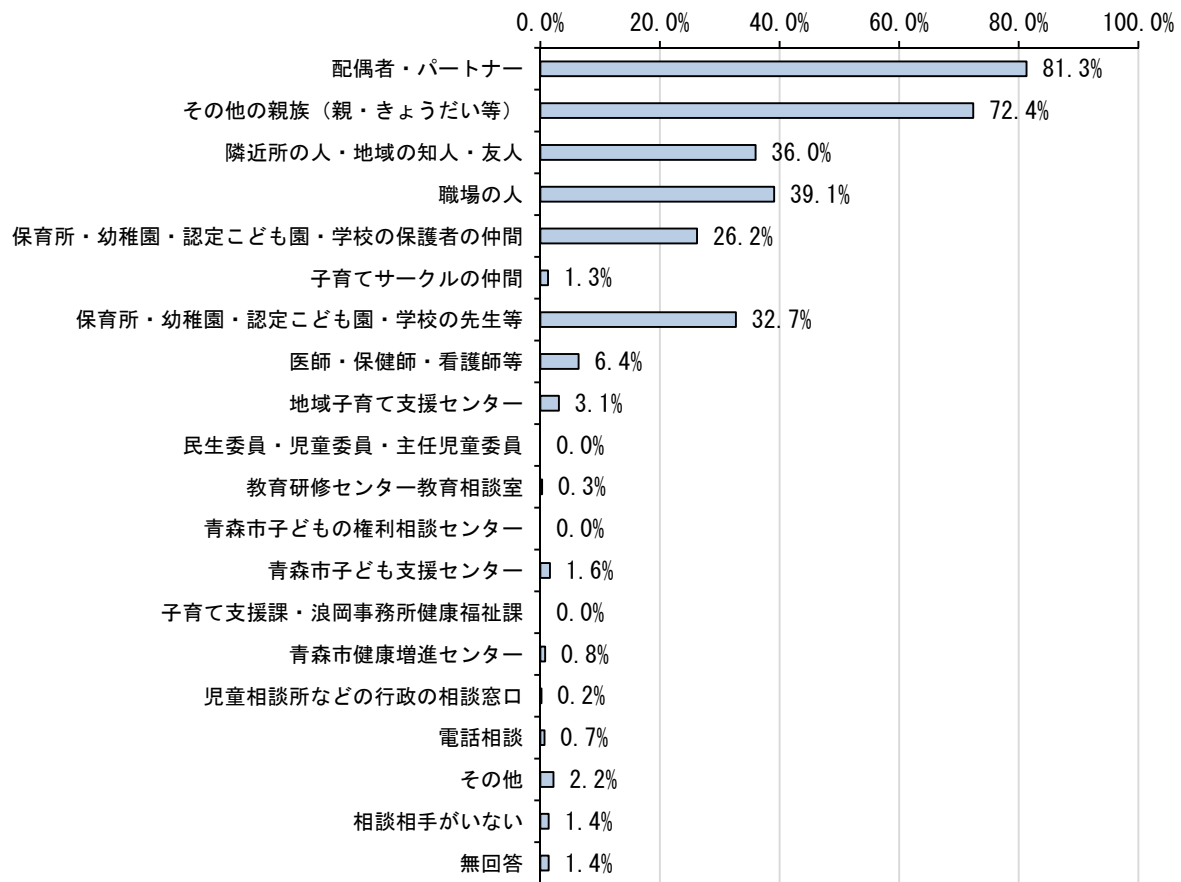
問28 子育てに関して、日常悩んでいること、またはきになることはどのようなことですか。  
(複数回答可)



n=1,182

区分	回答件数	構成比
病気や発育、発達に関すること	410	34.7%
食事や栄養に関すること	459	38.8%
子育ての方法がよくわからないこと	94	8.0%
子どもとの接し方に自身もてないこと	181	15.3%
子どもとの時間を十分にとれないこと	490	41.5%
話し相手や相談相手がいないこと	75	6.3%
仕事や自分のやりたいことが十分できないこと	350	29.6%
子どもの教育に関すること	374	31.6%
登園拒否などの問題に関すること	39	3.3%
子どもの友達づきあいに関すること	177	15.0%
配偶者・パートナーの協力が少ないこと	129	10.9%
配偶者・パートナーと意見が合わないこと	74	6.3%
配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	124	10.5%
親族・近隣の人・職場などのまわりの見目が気になること	76	6.4%
子どもを叱りすぎているような気がする	437	37.0%
子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり世話をいかなかったりしてしまうこと	51	4.3%
子育て支援サービスの内容や利用・申込み方法がよくわからないこと	91	7.7%
その他	66	5.6%
無回答	97	8.2%
計	3,794	321.0%

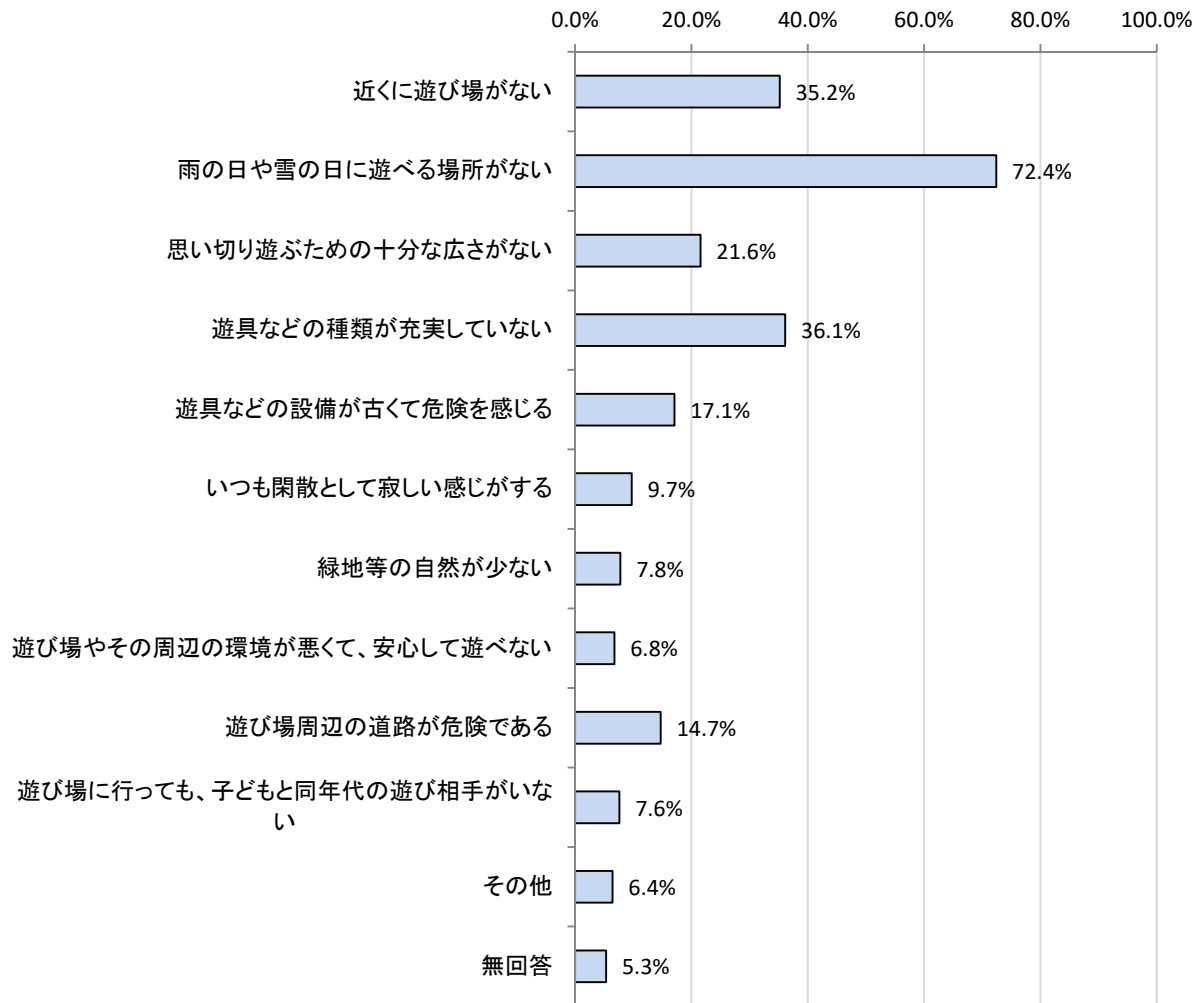
問29 身近な地域で、子育てに関する不安や悩みをどなたに相談していますか。(複数回答可)



n=1,182

区分	回答件数	構成比
配偶者・パートナー	961	81.3%
その他の親族(親・きょうだい等)	856	72.4%
隣近所の人・地域の知人・友人	425	36.0%
職場の人	462	39.1%
保育所・幼稚園・認定こども園・学校の保護者の仲間	310	26.2%
子育てサークルの仲間	15	1.3%
保育所・幼稚園・認定こども園・学校の先生等	386	32.7%
医師・保健師・看護師等	76	6.4%
地域子育て支援センター	37	3.1%
民生委員・児童委員・主任児童委員	0	0.0%
教育研修センター教育相談室	3	0.3%
青森市子どもの権利相談センター	0	0.0%
青森市子ども支援センター	19	1.6%
子育て支援課・浪岡事務所健康福祉課	0	0.0%
青森市健康増進センター	10	0.8%
児童相談所などの行政の相談窓口	2	0.2%
電話相談	8	0.7%
その他	26	2.2%
相談相手がない	16	1.4%
無回答	17	1.4%
計	3,629	307.0%

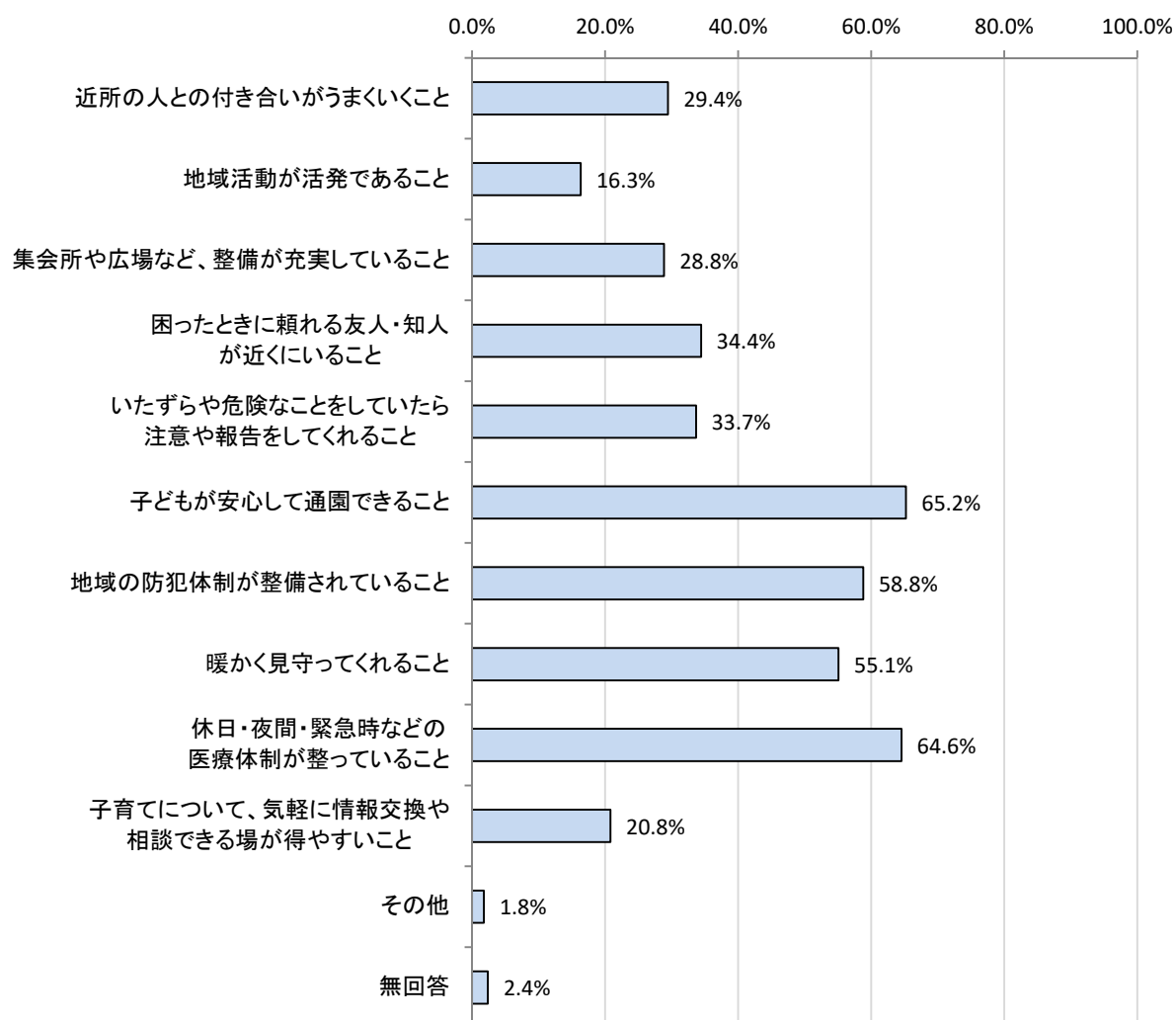
問30 お住まいの近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることがありますか。  
(3つまで)



n=1,182

区分	回答件数	構成比
近くに遊び場がない	416	35.2%
雨の日や雪の日に遊べる場所がない	856	72.4%
思い切り遊ぶための十分な広さがない	255	21.6%
遊具などの種類が充実していない	427	36.1%
遊具などの設備が古くて危険を感じる	202	17.1%
いつも閑散として寂しい感じがする	115	9.7%
緑地等の自然が少ない	92	7.8%
遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊べない	80	6.8%
遊び場周辺の道路が危険である	174	14.7%
遊び場に行っても、子どもと同年代の遊び相手がいない	90	7.6%
その他	76	6.4%
無回答	63	5.3%
計	2,846	240.8%

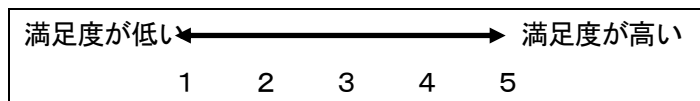
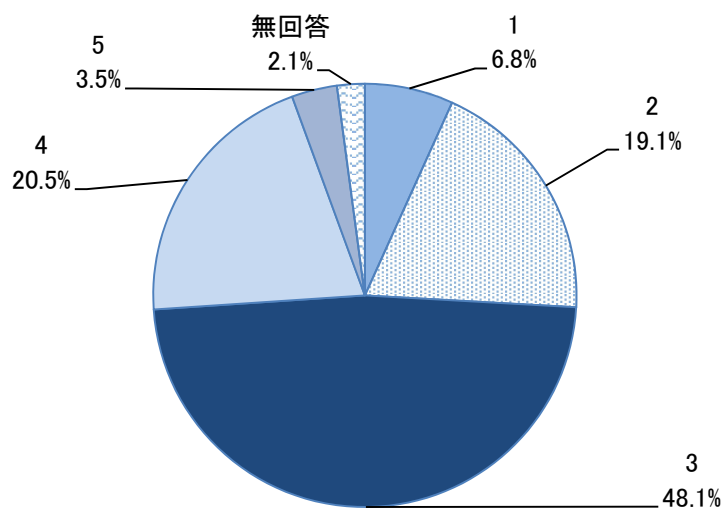
問3 1 子育てしていくうえで、地域に期待することはなんですか。(複数回答可)



n=1,182

区分	回答件数	構成比
近所の人との付き合いがうまくいくこと	348	29.4%
地域活動が活発であること	193	16.3%
集会所や広場など、整備が充実していること	341	28.8%
困ったときに頼れる友人・知人が近くにいること	407	34.4%
いたずらや危険なことをしていたら注意や報告をしてくれること	398	33.7%
子どもが安心して通園できること	771	65.2%
地域の防犯体制が整備されていること	695	58.8%
暖かく見守ってくれること	651	55.1%
休日・夜間・緊急時などの医療体制が整っていること	763	64.6%
子育てについて、気軽に情報交換や相談できる場が得やすいこと	246	20.8%
その他	21	1.8%
無回答	28	2.4%
計	4,862	411.3%

問3 2 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号一つに○をつけてください。



n=1,182		
区分	回答件数	構成比
1	80	6.8%
2	226	19.1%
3	568	48.1%
4	242	20.5%
5	41	3.5%
無回答	25	2.1%
計	1,182	100.0%

問33 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

1	保育園児でも遊べる支援センターがあればいいと思う。土日やっている屋内の場所。
2	年中、年長になったら、習い事をさせたいが、就労の為、おくり迎えができないので、そのようなサポートや園内での保育・教育内容の充実、レベルアップを望みます。
3	心身に障害を持った子供達の療育の場が非常に限られており、健全な子供達と小さいうちからふれ合い遊べる場があれば良いと思いました。(公園などは場合によっては親が目気を気にしてしまったりなので、サポートして頂けるスタッフがいて、健全児も障害児も一緒に遊べる場所で、親も情報交換出来る場所があれば良いなあとと思います)
4	娘は昼寝をしなくても平気なタイプなのですが、保育園ではもちろん昼寝がありますよね。で、なかなか寝ない時に怒られたことがありました。そこで、幼稚園(昼寝なし)に転園したいと申し出ると、引きとめられ、その件について謝られました。今は頑張ってる娘。なので、夜はなかなか寝ません。そーなると、朝は起きれません。で、園にも9:00までに登園してほしいと言われてるのですが、間に合いません。年長さんになると昼寝ないみたいなので、それまでの我慢です。ちょっと自由に書きすぎましたね。でも、朝がゆううつです。希望は、年少でも年中でも昼寝しなくてよさそうな子は、起きててもいいよって感じになるといいなと思います。(けど、その間に先生方がやる事あるんだろうなっていうのもわかるので、強くは言えませんが。) /さんぽは3才までなので、4才の娘は1人っ子なので、行けなくなって残念です。もっと子供が自由に遊べる施設が青森市内にあるといいなと思います。ヒロロのとこみたいな・・・
5	公共の有料施設で全天候型の遊び場(年齢に応じたもの)があるといいなと思いました。無料なのは駐車場だけで良いです。ただし、浅虫水族館のように年間パスポートがあると、有料でもハードルが下がり、利用しやすいと思います。利用料を施設の運営にかかわる費用の一部にあてられたらなと思います。また、子どもの救急に関する講座があればいいとも思いました。(子育て中の人に参加しやすいように、集団健診と一緒にやる冊子を配る、など)
6	入園させたい保育園に入れたい。しかし、仕事がある。保育園も入園料が高い。子育ての不満があるが、市に相談してもみんなそうだと言い、改善が具体的にでない。東京等の都会の設備がない。もっと保護者の意見・要望が通る環境作り・整備を積極的に推進してほしい。
7	習い事をさせたいが、平日昼間又は夜8時からなので時間が合わない。また、低学年のうちに通う手段がない(送り迎えできない)。放課後児童会がやや杓子定規なところがある。悪天候で子供たちが待っている中でも時間ぴったりになるまで入口を開けないなど(時間まで戸を挟んで指導員と子供たちがずっとただ向かい合っている。大雨・大雪・寒い中でも)。市の指導を少し柔軟に。難しいでしょうが...
8	青森市には無料で利用できる室内遊戯場がとても少ないと思います。休日は市外へ出て遊ぶ事がほとんどです。
9	歳の離れた兄弟がいると、同じ場所で一緒に遊べない。ショッピングセンターが古く、他県のに比べてフードコートが少なく食べたいと思う店が無くいつも困っている。
10	我が家も核家族で、こういった祖父母と離れて暮らす家庭は青森市は増えていくと思います。また、祖父母がまだ働いていて家にいない家庭も現在は多いと思います。共働きで祖父母を頼れないとなると、第三者からの支援が必要です。祖父母の代わりに、より家庭に近いファミリーサポートセンターの役割が重要と考えていますので、料金の見直しや、お試し(子供が初見の人になじむのが難しいので)ができる利用しやすくなると思います。子に心疾患があり、開胸手術からの退院後一か月ほどは通園できないが、その間も保育料を支払いつつ、家庭保育のため休みを調整したり、人を手配しないといけません。我が家は特異な例ですが、どうにかならないかと悩みます。先天性の疾患がある子の救命率は向上しているの、そうした事例への相談窓口や施策があると助かります。
11	4月以外の月でも確実に保育所に入所できるようにしてほしいです
12	乳幼児医療助成に所得制限があるのはおかしい。あったとしても0割→3割は差が大きすぎる。その差をもう少し縮めてほしい。または、夫婦合わせた収入での所得制限にしてほしい。



13	先のことがわからず不安を感じるので、こういう働き方をしている家庭の子供はこういう事業を利用できるとか、現状と少し先の未来のことを事前に教えてもらいたい。小学校に入ったらとか、学童保育？児童会？のことがわからない。
14	思いやる心を育てていきたい。もし自分だったらと考えられる社会作り。
15	雪が降ると冬場は引きこもりがちになってしまうので屋内の公共施設がほしい。各地区毎に児童館が欲しい。
16	ママランティ、しらゆりの子育て支援センターはとてもいいと思いました。
17	雨の日の遊び場がもっとあるといいなと思います（我が家ではもくもく広場に行きます）。家に近い公園はウェザーパークなのですが、遊び方が心配で一人で遊ばせることに不安があります（東屋でゲームやスマホをしている上学年、ゴミ散乱、不審者など）。子供が0才～2才半まで佃保育園の子育て支援センターに行き、大変お世話になりました。ありがとうございました。（子育ての情報交換やりフレッシュができてとても良かったです）
18	冬場に室内で遊べる施設が無さすぎます！！赤ちゃんから小学生の子まで体を使った遊びができる施設が増えてくれる事を望みます！病児・病後児預かり施設も、もっと増えると働きやすくなると思います。
19	冬の期間など青森は長いので室内で遊べる広い施設を作ってほしい！また、西方面にも広い大きな公園を作ってほしい。
20	室内で遊べる施設を増やしてほしい。雨や雪の時でも遊べるようなところが少ない。
21	室内で遊べる広い無料施設があると良い（ヒロロやはっちのような）。動物園などの動物と触れ合う場所が欲しい。ショッピングセンターなどのトイレやフードコートに子供用の設備を整備してほしい（子供用便座やキッズスペース）。保育園や預かり保育の終了時間を19時以降にしてほしい。習い事の情報等を提供してもらえ場所がほしい。
22	病院ですが、平日は20時までや、休日や年末年始等も問わず診察時間を見直してほしい。
23	さんぽぼの駐車券1時間は少なすぎる。さんぽぼのスタッフの対応が悪い。悪天候の時に思いきり体を動かして遊べる場所が無い。西部市民センターの遊戯室には規制が多く、読書やお絵かきぐらいしかできない。無料で利用できて年齢制限がなくて自由に遊べて駐車場無料の場所があるとうれしい。マエダアリーナの施設はとても良いが、駐車場から遊具までの距離が遠すぎる。
24	女性が子育てをしながら働く事が当たり前の世の中になってきていますが、もっと会社が、その大変さを理解してほしい。大企業なら子育てしやすい環境もあるかもしれないが、中小企業では全く通用しない。会社にもっと子育て支援・環境整備を指導してほしい。
25	これから子供にお金もかかるし、就業時間も増やしていかなければと思っているので、小学校に入ったら放課後子ども教室をぜひ利用したいと思っています。無料で利用できる場所は本当にありがたいと思っています。
26	遊ばせる場所が少ない。保育料が高い。
27	娘は身体障害です。保育園では寛容な対応をしていただいております。今後、小学校へ進学することとなりますが、普通に小学校へ行く子供たちと比べ、手続き調整事項に関するTodoやスケジュールが解りにくいと感ずます。一般論として考えるべき事、押さえるべき事、調整すべき事をまとめて頂けると、とても有り難いです。
28	青森市は人口も多く充実していると思います。
29	放課後子ども教室が平日5日間開設していただけるとうれしい。
30	支援を感じたことが無い
31	以前、家の近くの〇〇保育園に病児保育の問い合わせをしたところ、我が家で通っているのが〇〇保育園であるため、附属系列の子供は預かれないと断られました。理由は、附属系列ともめた事があったそうだからだそうです。しかし、それは私には全く関わりのない事なので理不尽だと感ずます。病児保育を掲げている以上、役割を果たすべきではないのでしょうか？憤りをかんじます。
32	遊べる公園が近所に多くあればいいのにと感ずます。
33	保育園の保育士の方々にお世話になっていることに感謝していますが、意見を言い辛い環境ではあると思います。

34	子どもを外で遊ばせたいが苦情などが怖い
35	八戸のはっちのような子供が遊べる施設を造って欲しい。現在の青森市内にある施設では十分に楽しめない。
36	わくわくランドの存在はとてもありがたいが、冬場や雨の日に思いきり遊べるような場所がほしい。(弘前にはヒロロ、八戸にははっちがあるのに…)
37	秋田市から引っ越してきましたが、青森市は子育てがし辛いと感じます。未満児は保育園の空きがなく、施設も園庭・園舎が狭く、預けるにも子供への罪悪感があります。また、家庭で保育している世帯にも、一時保育や育児用品の購入に使えるクーポンなどの恩恵があってもいいかと思えます。
38	子どもの遊び場を充実させてほしい。現在、0, 2, 7才児がいるが、土日や長期休み中に一人で子供らを見なければならぬ時に行くところが無い。アピオを利用しようにも小学生は年齢制限で使えず、ゲームセンターとかになってしまう。また、夏は公園に行けばいいが、冬は雪で公園にも行けない。オムツ交換スペース、授乳室があり、小学生も自由に遊べるような場所が欲しい。無料駐車場も必要。さんぼぼでは1時間無料となるが全く足りない。ヒロロのように3時間はないと不十分。それと、常設のプレイパークに見守りの大人がいてほしい。
39	発達に遅れや問題がある子供(未就学児)の療育の場が少ないと感じる。病院・施設ともに。特別支援学校ではないが、それに準じた公立の幼稚園などがあってもよいのではないか。
40	母子手帳の申請時に不安事を聞かれ、答えたにも関わらず、明確な回答は無く、手帳にも「順調のようです」と記入された。もっと積極的に市民の困り事に介入してほしい。希望保育園で4月入園でなければ受け付けられないと断られた。この現状を変えてほしい。
41	放課後児童会が19時までになれば助かります
42	自営業をしているが、毎年、保育園を利用するために民生委員が作成する状況確認書の提出を求められる。しかし、民生委員が私の就労状況を把握している筈もなく、時間の余裕がない子育て世代に無用の負担を課しているのではないか？他の自治体で同様の運用をしているところがどれくらいあるか確認してみてください。
43	待機児童対策、一時預かりの拡充など。待機児童ゼロということになっているが、実際に待機状態の親は沢山います。また、年齢問わず子供が自由に遊べる無料で利用できる常設の全天候型プレイパークを望みます。更に、そこが放課後の小学生の預かり場になるとうれしいです。今の学童保育はルールが厳しく、子供が窮屈なのではと思います。
44	保育園・児童館は冬場の通勤で遅くなる為、19時までやってもらいたい。保育料が高すぎるので、値下げ、できれば無料化してもらいたい。
45	子ども支援課の方達の電話対応が悪くて驚いた事があった。これでは、相談したいことがあっても聞きにくいと感じる程に。職員の教育をちゃんとしてほしい。
46	雨や雪でも遊べる屋内施設がほしい。山形には常に無料で遊べる施設が沢山あります。そのような施設や、ELMのような大型ショッピングモール、子供用スペースがあるフードコートがあると子育て家族には過ごしやすく大変助かります。人口増加のためにも、まずは、子育てしやすい環境を整え、県外からでも移住したくなるような青森市にしてほしいです。
47	放課後児童会で、インフルエンザなどで学級閉鎖になった時など、感染していない子まで児童会出停になる措置が本当に困る！そうであっても、親は休めないの、別室に分けるなど、特別な措置で対処してほしい。
48	近所の人に恵まれていて、その点では幸せです。女性として、子育てとフルタイムでの就労が大変。休みにくい現実や人間付き合いで辛い。男性がうらやましい。
49	色々な制度の申請方法などをもっと告知してほしい。知らずに申請せず損をした。
50	室内で思いっきり遊べる所があると特に冬はありがたい。そこで、乳児と幼児で遊び場が分かっていると親も安心して遊ばせられると思います。市民プールの親子スイミング教室を再開してほしい。とても残念。もし再開できるなら、対象を5歳児まで拡大してもいいと思う。
51	近くに遊具が充実している公園が無いため、結構車で移動して遊ばせています。はまだ公園くらいのものがもっとあればいいなと思います。函館駅前にできたような、冬でも室内で遊べる広い施設が青森にもできたらいいなと思います。

52	屋外・室外とも子供の遊ぶ場所が欲しい。親の有給休暇など取得の促進（子どもが病気の時に休めない）。親に余裕が無ければ子育てにも余裕を持ってない。
53	無料開放している遊具がある室内設備がもっと欲しい。有料でも良いですが、青森は遊ぶ所が少ないです。
54	習い事などに通わせようと思うと高額な月謝が必要になる為、生活に余裕がある家庭じゃないと通わせられない。裕福や貧乏などの家庭の環境に関係なく良い教育を受けられるようにしてほしい。また、青森には小さいうちからできるような習い事が少なく、選択肢が限定されていて、首都圏との教育格差を感じる。
55	園によって保育士の質が悪い所があり、安心して子供を預けられない。育休を3年まで取得できる制度が職場にはあるにも関わらず、青森市の制度上、下の子が1歳半になるまでの間でなければ、上の子を保育園に預けることができず、仕方なく1年半で職場復帰した。育休期間中は、下の子の年齢に関わらず、上の子をそのまま同じ園に通わせて欲しい。
56	青森市に転入し、病児保育があったことは助かりました。また、休日保育している園もあり、様々な働き方がある状況に対応できる支援体制があると思います。今後も更にニーズに合わせた体制作りに期待しています。
57	雨や雪の日など外で遊べない時に屋内で思いきり遊べる場所が欲しい
58	放課後児童会に上の子が通っていますが、全く外遊びができないので、夏休みに毎日通わせるのがかわいそうでした。とても天気が良くても室内の遊びだけで、本人も行きたくないと言いつつ困りました。
59	企業主導型保育事業の利用料金が高過ぎる
60	子どもを守る為ではなく、大人の都合で決まっているルールが多い。「守る」を名目にのびのび子どもが過ごせない現状。なんでも親の躰のせいにする。ダメ出ししかできない地域の人が多いと滅入る。
61	雨や雪の日に子どもたちが体を動かして遊ぶ施設が全くなく、ゲームなどをすることが多くなる。肥満にもつながると思う。ぜひ、子供たちが楽しめる施設を作って欲しいです。
62	病後保育ができる場所を充実させてほしい
63	子の預け先は、小さい認可保育園というのもあり、休日保育や延長保育は対応していません。しかし、送迎の負担などを考えると地域の保育園を選ぶしかない。保育時間と親の就労時間が合わず、かといって就労していないと生活が苦しくなるという負の連鎖で子育てを十分にできずにいる。
64	行政側からの情報が、こちらから問い合わせしなければ得られないと感じる。理想や行政側からのアピールは感じるが、実際に様々な支援を受けられる事が少ないと思う。待機児童や施設の問題の悪さなどの問題があり、それらを現実的に解決して、子供たちの為になる環境の整備をして欲しい。
65	現在、勤務している職場は子育て支援にかなり積極的ですが、育休中の同僚が子供の預かり場所が無い為に復職できない状況です。4月の新年度には復職していますが、子どもが1歳になる時期によって入所までの期間に差があり、復職までの期間が変わってきます。職場によっては、そのまま離職する方もいるのでは？と思います。早期対策をお願いします。
66	自宅近くに公園はあるが、遊具が少ない上に、周辺の交通量が多く心配。
67	地域の理解・協力は必要。受け皿が足りない、働く人がいない、一部だけ改善しても先が見えない。介護と一緒に。
68	小学校の給食費・教材費を無料にしてほしい。義務教育なのに負担が大きくて困る。来年度から小学生2人と中学生1人になるので、就学援助の枠を広げてくれれば助かる。通っている〇〇幼稚園では、職員研修の為に平日に休園しますが、どうかと思う。
69	保育所の利用の申し込みに対する返事がない。青森市は賃金が安いのに保育料が高過ぎ。子どもが近くにいっても平気でタバコを吸う人が多いので、分煙の普及や禁煙増進などの活動をしてこのような環境を改善して欲しい。子供の参加できる地域ならではのイベントをもっと増やして欲しい。
70	悪天候時に遊べる広くて遊具の充実した施設があれば助かる。

71	入学する予定の小学校への通学路について、主たる道路の歩道を確保してほしい。周辺住民の道路への雪捨てを止めさせてほしい。交通量も多く、スピードを出す人もいて特に冬は危ないと感じる。
72	子どもや保護者だけでなく、園の先生方も満足するような社会になってほしい。
73	さんぽぼ、支援センター、アピオなど、0～3歳児が対象のおもちゃが多い。3～6歳でも遊べるような所が少ない。また、冬でも遊べる室内の遊び場が欲しい。
74	子育て中はなかなか運動する機会がないので、子供と一緒に遊べる、走り回れる場所が近くにあれば良いと思う。新運動公園は遠すぎる。
75	小さい子供を連れて行ける飲食店や喫茶店が少ない（個室あり、座敷席、キッズメニューありなど）。母親にとって子供を安心して遊ばせられて、更に美味しいご飯を食べながらおしゃべりする事はストレス発散にもなるので、そのような施設が増えるといいと思います。
76	保育園でもバス登園を積極的に取り入れてくれると働く母親の負担も少しは減ると思う（弘前では行っていた）。保育士が足りないのであれば、給料を上げて、家庭にいる資格があるのに働いていない人を呼び寄せれば良いと思う。保育士が増えると待機児童も減り、母親が働けて、仕事と育児のメリハリがつき、子供にとっても良いと思う。
77	今の小学生は宿題が多過ぎ。子どもの仕事は遊ぶ事。宿題は無くすべき。外遊びをさせる場がない。自由でお金がかからず、利用年齢無制限の子供の遊び場が欲しい。特に冬。他県・他市の施設を見習ってほしい。
78	ネット環境がないので、情報をもっといろいろなところで発信してほしい。市役所やさんぽぼなどだけでなく、普段買い物に行く場所などにあれば嬉しい。
79	私も妻も両親が近くにいるので、子育てはしやすい環境にあります。子どもが4人もいるので、金銭的な支援が一番必要です。
80	今は19時まで子ども園で預かってもらっているが、小学校になると放課後児童会が18時までと聞いて不安。しかも、学区によっては児童会が無い所もあると聞き、更に不安です。核家族で共働きの他の子育て世帯はみなさんどうしているのか気になります。
81	室内で子どもが遊べる無料で利用できる施設があれば。
82	兄弟が何人いようと、上の子が小学校に上がると、下の子の保育料が取られるのはどうかと思う。保育料を無料にしないでいいが、学校の給食費を無料にしてほしい。少子化対策の為に、産み育てる為の費用をあまり気にしなくて済むようになれば良い。複数の子供をしつかり育てている家庭に補助金を設定してほしい。セントラルパークのアーナ構想で、冬場の子供たちの遊び場が充実する事を期待するとともに、周辺道路が渋滞しないような対応もお願いします。
83	保育園・幼稚園で私立・公立関係なく食に関しての支援がもっとあればいいと思います。青森は屋外で遊べる期間が短いので、屋内で遊べて利用料も安い施設が充実したらいいのになと思います。それも、年齢制限の無いものを。
84	いつでも自由に行ける子育て支援センター（しらゆり保育園のような）がいろんな地区にあればいい。現在、市内にあるものは、行事などで時間が決まっていると利用し辛い。
85	弘前ではヒロロがあって、悪天候でも子供を遊ばせることができる。保育士さんがいたり、カフェもあったり、図書館のようなものもあって、とても利用しやすい。アウガにもさんぽぼがあるが、閉鎖空間で、オムツ替えも授乳もしやすいとはとても言えない。年の半分くらいが雪で覆われる青森で、もっとのびのび遊びに連れて行ける場所があったらいいと思う。
86	無料で遊べる所がもっと欲しい。給食費を無償化してほしい。
87	保育士がなかなか集まらないと耳にしました。保育現場への支援が、ひいては働きながらの子育てのしやすさにつながっていくのではないのでしょうか。保育士の資格が無くても、補助的な業務ができる人を配置出来たりすれば助かるのではないのでしょうか？
88	保育士の就労環境（賃金や福利厚生）の整備が1番だと思います。ここが充実しない限り、子育て支援サービスの質の向上は無いです。次に、行政サービス情報の充実です。HP閲覧や支援センターに相談した際に、即、情報を得られる仕組みを作ってほしい。「子育てに関する窓口はここ！」というわかりやすい場所があると助かる。それと共に、特に窓口での担当者によって対応がバラバラになるような事がなくなるような方策も必要だと思います。

89	冬は運動不足になりやすいので、運動できる屋内施設があるといい。有料でもいいが、子供が安心して安全に遊べる場があればいいなど。
90	公園の遊具の整備をしっかりとしてほしい。また、ガラスやゴミが公園内に落ちていることも多く汚いし危ない。その上、草刈りもあまり頻繁には行っておらず、草が伸び放題。管理をしっかりとしてほしい。
91	子どもが将来に対して希望・自信を持てるように導くのが親や教育関係者の役割だと思います。
92	子どもは国の宝です。現在の「子育て難・少子化」は、これまで根本的な部分を解決せずにやり過ごしてきたツケです。このアンケートを考えた方々に、事態解決に本気で取り組んで頂きたいと切に願います。
93	弘前市から引っ越してきたが、青森市の子育て支援は弘前市に比べ格段に劣る。弘前市では行政と病院が連携していろいろな相談に乗ってくれたりしたが、青森市ではそのような連携は全く感じられず不便である。子育てには向かない。今後、改善がなければ再び弘前市に戻ることも検討している。
94	未就学児・未就園児向けのカルチャースクールを増やして欲しい。医療機関のHPが少なすぎる。同じく幼稚園や保育園のネット情報も少ない。舞台・コンサートなど未就学児が鑑賞できるイベントが少なく、本物に触れられる機会が大都市の子に比べて極端に少ない。
95	保育園等、年度途中での入園が難しく、仕事をしながらの保活は大変なので、もう少し入りやすい制度を望みます。
96	医療費の負担ゼロは助かっています。兄弟は希望すれば同じ園に居られるように配慮して欲しい。同じ園じゃないと送り迎えに余計な時間がかかり余計な負担がかかる。
97	小学校入学後の子供の預け先など気になっているのですが、保育所では把握しておらず、子の進路に関わることなので、保育所などでも案内できるようにしてくれたらいいのですが、どこで相談すればいいのかわかりません。
98	青森県総合運動公園に子供用遊具を設置してほしい
99	冬でも子供が元気に遊べる大型の施設が欲しいです
100	歳の離れた兄妹と一緒に遊ばせられるところがあまりないことや、雨の日に遊ばせる所でも困ることがある。
101	昔と比べて、十分支援は手厚いと思います。
102	親が就労していないと、一時的でも保育園に預けるのにはハードルが高い。支援センターがあるが、車で10分もかかるようなところで、車の無い人はとても行けない。車があっても駐車場が狭く使い辛い。大きな整備された室内外が併用された公共の遊び場があると助かる。今後、就労したいと考えているが、子供の預け先の手続きをどこからすればいいのかわからない。市役所に行くにも、子連れだと難しい。ネット情報をもっと充実させて欲しい。
103	子ども用の施設が少ない。気が向いた時に行ってすぐに利用できる所がない。
104	青森市には雪が積もるのに、室内で遊べる所が少なすぎる。五所川原や弘前にはいろいろあるのに青森市には全然無い！家で遊ぶだけだと、ゲームばかりするようになってしまうので、のびのび体を使って遊べる施設が必要だと思う。
105	子育ての環境や支援よりも、そもそも親が忙しすぎて子供や家族と一緒に過ごす時間が少なくなっている。働き方を変えなければ現状は変わらない。
106	政治家の意見がころころ変わって、いつも一般人が振り回されている気がする。
107	冬は交通事情で園へのお迎えが遅くなるが、子供が通っている園では大目に見てもらえて助かっている。夫婦とも日祝が休日ではないので、日祝でも預かってくれる施設があれば助かるのですが。
108	幼稚園で年長になったら、小学校入学の準備として、ある程度の勉強、例えば、ひらがなやカタカナの書き方などを教えてくれればと思います。勿論、自宅でも教えますが。
109	弘前のヒロロ3Fにあるような「遊びスペース」を青森駅前（アウガとか）にも作って欲しい

110	保育園はきれいで床暖などもあり、とても良い環境だが、小・中学校は寒く、暗く、汚い。特にトイレは早急に洋式化してほしい。今の子供は和式トイレは使えない。トイレのせいで小学校に行きたがらない。上の子も然り。浪岡だけ後回しにされてる感があります。
111	浪岡には子供が遊べる所が少なく、結局、他市町村に行く羽目になります。また、働く場所も少ないので、通勤にも時間がかかり子育てしながらだと時間的制限など大変です。浪岡に住まなければよかったと後悔しています。
112	放課後、子供が楽しく過ごせる場所があればいいと思います。
113	青森市には雨の日や雪の日に遊ぶ場所が無くて困っています。室内で小さい子が運動できる場所を作って欲しい。
114	青森市は子育て向けのサービスが不足していると思います。弘前市のヒロロなどを参考に施設の充実を図ってほしい。3歳未満の子が安心して遊べる公園は無いに等しい。また、屋内の施設は利用料が発生するものばかりで、これでは青森市に子どもは増えていかないと思います。子どもも大人も安心して一日過ごせるような施設が欲しいです。
115	親の所得によって手当や施設利用料が違うのはおかしい。子ども一人一人に対して平等であって欲しい。
116	小学校低学年の放課後児童会の時間を長くして欲しい
117	いつも子ども支援センターには世話になって感謝していますが、駐車場が少ないので空いていけばいいなと祈りながら向かっています。冬は雪で出かけるのが大変なので、自宅の近くに通えるところがあればいいなと思います。健診も、有料でもいいのでもう少し回数を増やして欲しいです。4ヶ月のあと1才半まで何もないのが不安です。
118	公園や室内の遊び場を充実してほしい。弘前のヒロロのような無料で子供を遊ばせられるような施設を作って欲しい。近所に遊具のある公園が少ない。遊園地や動物園があればいい。秋田の大森山動物園はとていい。青森にもああいうものがあればとていいなと思います。
119	高齢者向けのイベントは多いが子どもが楽しめるイベントは少なく感じます。高齢者よりも子供を大切にすべきだと思います。子どもが元気に楽しく遊べる場所・環境が欲しいです。近くの公園も大きい子たちがサッカー等していると、うかつに子供を遊ばせてあげられないです。
120	子どもの遊び場も増やして欲しいですが、トイレにベビーガードやベビーベッドをもう少し設置してほしいです。市役所のさんぽぼ2階のトイレを利用した際、トイレ前にベビーガードの表示が無く、しかも、一つしかベビーガードがないのに、職員の方が化粧直しのために長くトイレを利用して不便だったので。
121	無料で遊べる施設を増やして欲しい。子育て支援センターなどで行っているイベントなどがあっても分かりにくい為、情報媒体をもっと増やして欲しい。
122	行きたい保育園へ人数の関係で入れなかった。募集枠を増やして欲しい。病児保育できる園を増やして欲しい。若しくは、病児の預かりができる他の施設が身近にあると助かる。
123	町内会に子供会がなく交流が無いことが寂しいです。
124	子どもの為を思い、創意工夫をして常に良い環境作りを考え続けてくださっている事がこのアンケートからも感じられます。何かを変えることは簡単ではありませんが、いい方向に向かってくれることを期待しています。
125	室内で遊べる広い場所を作って欲しい
126	アリーナなどに数億円を使うくらいなら、そのお金で子供たちが温かくて美味しい給食が食べられるようにしてほしい。
127	育休の制度があっても市の制度のせいで実際には使えない。矛盾を感じる。
128	この辺は公園が少ない。子どもは多いのでもっと公園は必要だと思う。道路が狭く、冬は特に危険度が増すので何とかしてほしい。除雪も、市役所に連絡するまでなかなか入らない。
129	7か月健診の次が1年後というのは疑問。希望者のみという形でもいいので、せめて3か月おきに実施してほしい。発熱時の対処法や離乳食についてやミルクの止め時など分からないことが多いが、ネットで調べたりしている。こまめに健診があつて指導があれば嬉しい。アピオなどは遠くて相談に行けない。訪問指導を新生児以外にも行ってほしい。

130	子育てに関する情報が少ない。自ら調べるには時間がかかるので、情報誌などで発信してほしい。
131	保育料、医療費助成、予防接種費用の助成など、経済的支援の充実を望みます。
132	このアンケートの結果を踏まえ、本当に今必要なものを実現してください。新しいアリーナを作るより、こういうものの実現にお金を使って欲しいと思います。または、アリーナに、冬に子どもを目いっぱい遊ばせられるような施設を作って欲しい。
133	今は問題ないが、小学校に通うようになったら、先生方とのコミュニケーションをどうとったらいいのか？雨や雪の日も利用できる遊び場がもっと増えてほしい。
134	最近、公園の遊具が新しくなっているところを見かけるが、どこの公園も小さい子向けの同じものになっている。場所が変わっても同じ遊具ばかりだとつまらないし、小学生向けのものもあっていいと思う。子どもが自然の中で遊ぶ気になるような工夫をしてほしい。
135	乳幼児健診の回数をもっと増やして欲しい。初めての子育てで不安もあるので。
136	天気の良い日、特に冬場、に年齢の離れたきょうだいが一緒に遊べるような施設があればうれしいのだが。
137	幼稚園や保育園は基本的に無料にして欲しい
138	青森市内の教育・保育環境をネットで手軽に知れたら便利。子どもや親だけでなく、青森市全体が色々な意味で発展することが子育てしやすい環境につながると思うので、もっと頑張ってもらいたい。
139	子育て世代の職場環境の改善や地域の支援の輪を広げるなど、教育・保育に力を入れるのではなく、親が子供を育てやすい環境作りをしてほしいと思います。
140	室内の遊び場を増やして欲しい
141	冬に小学生が体を使って遊べる場所が欲しい。どこへ行っても上の子が入れません。小学校の体育館を開放したり、市民センターももっと予約なしで使えたら…サンドームもなかなか予約が取れず苦労しています。図書館は広くてとても助かっています。
142	青森市は子ども関係にお金を使わな過ぎ。学校も古過ぎ。将来を担う子供たちの為にしっかりと投資すべき。新町でもいいのでヒロロの様な施設を作って欲しい。セントラルパークは、子供たちのスポーツ（サッカー等の練習）が盛んに行われており、アリーナを作る際に子どもたちが使えるようなものになるよう考えて欲しい。
143	保育料の無償化や公園の更なる整備をお願いしたい。
144	行政側の担当の方には、国の指針を守っていれば業務責任は全うしているという意識ではなく、何度も現場（保育園、病院の休日外来、療育施設）に足を運び、その状況を見て、自分たちに何ができるのかをしっかりと考えて実行して欲しい。
145	私達の地域にはボランティアで子供たちの通学を支援してくださっている方が沢山いるので、とても助かっています。いつも感謝の心でいっぱいです。今後も続けて頂ければと思います。体に気を付けて頑張ってください。
146	幼稚園でも病児預かりをしてくれると助かります。
147	冬には遊び場が限られてしまうので、広々と遊べる開放的な場所を作って欲しい。近所に公園はあるが、遊具が古く、環境が整っていない。西地区には新しい公園が多く感じるが、筒井地区も新たに整備してほしいと思う。
148	雨の日や冬の間にも利用しやすい遊び場が増えて欲しい。子どもが遊べて、飲食店やスーパーが一体になった所なら毎週でも行きたいと思う。さんぽも新しくなったが、狭いし、駐車場代もかかるのでそのためだけに行こうとは思わない。市役所に用事があるときに利用できるのは助かるが…
149	青森市内には、兄弟で五つ違うと、二人とも満足に遊べる施設がなかなかありません。弘前のヒロロのこども広場は、年齢で遊ぶスペースを分けているものの、同じフロアなので遊ばせやすいです。しかも、カフェが併設されているので、親もくつろぎながら過ごすことができます。同じような施設が青森市内にもあればいいなと思います。冬のインフルエンザ流行時に#8000を利用したのですが、1時間近くつながらず不安でした。これは県の事業なので、ここではお門違いかもしれませんが、回線数を増やすなどの対策をとって欲しいです。

150	屋内・屋外問わず、遊び場がもっとあればいいのと思う。車で移動になるので、駐車場があれば更がいい。
151	リバーランドおきだて付近の沖館川周辺の草木の整備をしてほしい。
152	転勤族ですが青森市で二人産みました。問32の通り、満足度は低いです。長女が1歳半くらい時の検診で「保育園で一時預かりしてますよ」と教えてもらったが、実際には定員オーバーで預かっていないというところが多々ありました。市では子育て支援に力を入れていると言って、このようなアンケートを取ったりしていますが、今の保育園の現状をきちんと把握していないように感じてがっかりしました。まずは、子育て支援に関わる方がもう少し勉強してから情報を発信して欲しい。さんぽぼなどは良く利用させてもらっていて助かっています。青森の冬は長いので、室内で遊べる場所が増えたり、雪遊びができるイベントがあれば参加したいと思います。
153	休みの日の幼稚園・保育園の園庭を開放してほしい。
154	保育園では、母親が仕事を辞めると3ヶ月で子供が退園しなければならない決まりですが、今の職場では産休が取れない為、もし二人目を出産となると退職しなければならず、そうすると今の子は園の決まりで退園になります。今の子は現在の保育園で卒園する事を強く希望しています。以上の理由で、二人目が欲しくても産めないというのが現状です。出産での退職の場合、3ヶ月ではなく、もう少し柔軟にして、母親が働くまでの期間にして欲しい。
155	子どもが遊べる所が近くに無い。LOVINA のもくもくの木が一番近いが、利用料が高い。子連れで食事できるような所が少ない。202カフェのようなお店がもっとあればいい。
156	冬など、室内で遊べる広い場所が欲しい。買い物が出来たり、フードコートもあればなお良い。
157	このアンケートが無駄にならない事を祈ってます。日本は子育てしにくい環境の国です。妊婦にも、小さい子を持つ女性にも社会が冷た過ぎ。また、保育所に空きが無かったり、小さい子がいると採用してもらえなかったり等、子供がいても働きたい人は沢山いるのに、実際には仕事に就けない人多すぎる。少子化をどうにかしたいなら、これらをいち早く改善するべきだと思う。
158	放課後児童会を9歳の子が利用しているが、本人が行きたがらない。他の子たちもそうだとのこと。内容が充実しておらず退屈なようである。他に安全に遊んだり勉強できる場所が欲しい。若しくは、児童会の中身の充実を希望します。
159	共働きが多くなっているので、長期の休み期間の対応を臨機応変にしてくれたら助かります。雨や雪の時に子どもたちが遊び場所がほぼ無かったり、子供たちが普段安心して遊べるような場所が少ないように感じる。市民センターなどの施設は大人や団体での貸切が多いので、子供たちを優先するなどの対応をしてもらえればと思います。
160	時間と紙が無駄なので、こういうアンケートに税金を使うのはやめてほしい。イラストを減らせば紙一枚減らせるのでは？子育ての実態を知っているのなら、こんなことに費やす時間もったいないと感じるのでは？アンケートの集計結果、回収率を公表してください。
161	子ども支援センターを時々利用していますが、保育士さんが忙しそうにして中々話さずかけがないので、もう少し子育て中のお母さんに密着した環境作りをしてほしいと思います。一時預かりを利用しようと問い合わせをしたら、どこもいっぱいなかなか利用できなかったの、保育所・幼稚園・認定こども園の預かり保育を改善することができたらいいと思います。
162	雨や雪の日の遊び場（SKI、スケート以外で）があるといいなと思います。有料でもいいです。三沢の航空博物館のような…。
163	医療費無料の対象外世帯です。医療費がかかるなら二人目は諦めようとする家庭があれば、少子化対策と逆行してしまいます。子どもの事で差別せず、一律にしていきたいです。
164	今の生活も余裕がないのに、子供たちが大人になる頃には少子高齢化が更に進み、税金も増え、もっと苦しい世の中になっているだろうから、子供たちの未来がとても心配です。
165	地域の子育て環境や支援はとても充実していると思います。ただ、自分はいまうまく使えていないなと思います。
166	母子家庭でも低料金のベビーシッターを市で派遣してほしい。
167	分譲地内での運転マナーの悪い人がいる。スピード違反。子どもに危険。



168	共働き、低収入家庭に優しくあってほしい。小学校入学前の「準備金支援」も、受けるには結局ハードルが高い。保育園の質の向上。テレビ見せ過ぎ。園で決めた最小限の学習時間すらカットして勉強しない。小さい子におやつにチョコレートあげる、等。ひど過ぎる。
169	子供の遊び場、特に冬に遊ばせられる場所が無いので、有料でも大き目の遊具などがある施設があると良いです。
170	病児保育を行う施設を増やしてほしい。
171	認定こども園の幼稚園に通っています。先生がえこひいきしたり、子供にきつく叱っていたり、優しさが無いと感じる事が多々あります。もう少し先生らしい対応をして欲しいと思います。
172	予約や登録なしで子供を預けられる場所がほしい。ストレスでどうしようもなく、知り合いに会いたくない時に、とにかく一時的に子供からすぐに離れる手段があればいいのにと思っています。
173	山形市にある「べにっこひろば」のように室内で思いっきり体を動かして無料で遊べる場が青森市内にもほしい。とても良い施設だったので、ぜひ参考にしてください。
174	家は青葉ですが、子供は職場に近い浪岡の保育園に預けています。このまま小学校に上がるまでずっと今の保育園に通わせる予定です。その為、小学校には同じ保育園で過ごした友達がいらない事になります。そこで、近所の同世代の子供と触れ合えるイベントなどがあれば、どんどん参加させてあげたいと思っています。
175	兄弟で同じこども園に通えず、一年間別々の場所への送迎が大変だった上に、子供たちも一緒に過ごせず悲しんでいた。小学生以上が遊べる場所（室内）が無いと感じる。冬季に室内で運動したり遊んだりできる施設も無いと感じる。これでは子供の運動不足や肥満は解消される訳がないと思う。ぜひ作って欲しい。公園で遊ばせたかったが、ゲートボール大会をやっており、邪魔にされた。遊具の周囲は子供を優先にして欲しい。もしくは、明確に場所を分けてもらえれば助かる。
176	こども園や周囲の方々に助けられながら充実した楽しい子育てをしています。
177	保育料が青森市は全国的に見て高過ぎる。第3子には祝い金を出すべき。
178	浪岡では、いじめで尊い命を亡くしたにも関わらず、いじめ防止対策に本気でない。大人の地位や名誉を守るのではなく、本気でいじめの無い子供達が楽しく学べる社会を作っていたきたい。
179	家の近くに子どもが集まれる室内施設があればと思う。県立図書館の様な勉強しやすい場所が家の近くにあればいいなと思います。
180	「子ども食堂」のような地域の交流の場が近くにあるといいなと思います。
181	保育園などで行われている子育てサークルや行事で、参加できるものの一覧が無いので、いちいち保育園に問い合わせ確認しないといけないのが大変です。しかも、そういった事業で0～1才児を対象にしたものがすごく少なく、遊び場が限られていると思います。また、保育園のHPが見にくいものや、パツとしないものが多く、イメージがつかみにくい所が他県に比べて多く感じます。
182	子供がのびのびと、年齢の制限なく、季節も関係なく、子供らしく遊べる場所が欲しいです。いつになったら、セントラルパークに20億での施設が建つのでしょうか？子育ての環境や支援がもっとわかりやすく、使いやすい方法で探せるようになって欲しいです。産後の悩みはここへ！！といった案内、もっと寄り添う支援があればと思います。
183	室内で遊べる所が青森市にももっと増えて欲しい！冬だと遊ぶ所がない。ただ、大人の方も利用料が発生するようなら結局そういう施設があっても利用しないかも…
184	元保育士です。今の子供は親といる時間が少なく、愛情不足で寂しい思いをしている事が多く、そういう子は何らかの問題を抱えています。他人に攻撃的だったり、自身が無くいつも不安な様子だったり…そのような子を見て、今でさえめちゃくちゃな人が多いのに、この子供達が大人になった時は一体どんな世の中になってしまうのだろうと心配に思っていました。教育・保育環境の充実より、家庭生活の充実が現代では必要なのではと思います。
185	少子化対策という事であれば、生まれてから高校まで（できれば大学まで）の学費と、その他通学に伴う経費を負担し、無料にしてもらえれば、子供を産む気になる人も増えるのではないのでしょうか。

186	医療費がかからないのは非常に助かります
187	医療費の助成など大変助かっています。小児科などの医療施設と病児保育などの充実をはかっていたいただけると助かります。特に、感染症の場合、出停日数がかさみ、親が休まざるを得ない状況なので。
188	子供を遊ばせる施設が人口の割に少ないと思う。子どもの環境が良くないと、負担に感じることがあると思う。ぜひ、改善して欲しいです。
189	室内で遊べる場所がほしい。年齢別で。E L Mのすくすく一るみたいな。有料でもいい。
190	私が利用しているこども園では、親が参加するイベントが少なく、卒園後の親同士のコミュニケーションが取りづらい事が悩みです。子どもを預ける場所なので、子供がメインになるのはわかりますが、親側の環境も色々と考えてほしいと思います。
191	一人では子育てはできない！と、つくづく思う。地域全体で子育てをする環境を整えて欲しい。誰でもいつでも保育所等利用できるとか。
192	○旧操車場跡地に建設予定のアリーナに屋内の遊び場を作って欲しい。東京ドームシティ内にあるアソボーノくらいの規模で。 ○検診の時の栄養・歯科指導はネットで動画を見るようにさせてはどうか。大切な話なのに、子供がいると集中して聞けない。または、当日はDVDを見てもらって、相談がある人は栄養士や歯科衛生士が個別に対応とかの方がいいのでは？ ○保育料が高い。高校生まで医療費無料にしてもらいたい。妊娠加算は止めてもらいたい。 ○あびおの隣の支援センターの駐車場を増やしてほしい。あびお自体ももっと増えたらよい。 ○Book スタート事業は大変良いので継続してほしい。 ○待機児童などの情報を流して欲しい。それがわからないせいで、一時預かりもけっこう断られた。 ○市のHPは情報を探しづらい。
193	雪が積もってしまうと、子連れでのお出かけがしにくくなってしまいますので、低料金で移動できる手段がタクシー以外で欲しい。
194	職場（市民病院）に子どもを預かれる学童のような施設や病気の子を預かれるところがあればいいのと思う。重症ではない風邪くらいの時に預かれる所が職場にあれば、もっと安心して働けると思う。市の、しかも、病院でどうしてそういう施設がないのだろう？と思います。
195	雨や雪の際に室内で遊べる所が少ない。小学生一人と3歳児一人を連れて安心して行ける所がない。他の市のように室内型の遊び場を増やして欲しい。
196	自分としては、教育・保育事業に大変お世話になっていると感じている。子育ては、親の責務であり、できる限り自分たちで育てていきたいと考えており、その補助的な支援があれば十分である。
197	1. 夜間に子どもの急病があった時、市の広報に掲載されている救急に電話したが、対応が最悪だった。 2. 子育ての悩み相談窓口で電話した時、最悪の対応だった。 3. 二戸市にある子どもの国は、冬でも遊べる最高の場所です。青森市もこういう施設を見習うべきだと思います。
198	小学生以上の子供が天気の悪い日に思いっきり体を動かして遊べる無料の施設が欲しいです。市の講座のように事前申し込みなどが不要なく、公園に行くような感覚で遊べる所。小さい子どもはあるが、小学生は禁止ばかり。一緒に遊ぶのは危険という事なら、小学生専用もあってはいいのでは？また、通学路の除雪を地域ボランティアの方が行っている地域と、そうでない地域があるが、後者について、市の方では安全確保が出来ているかの状況把握はできているのでしょうか？何かあってからでは遅いと思います。
199	未来ある子どもたちの為に、大人のとらえ方だけではなく、子ども目線での本当に必要な支援をこれからも期待しています。
200	とても育てやすい地域と感じています。子どもを見てくれる美容院やネイルサロンなどあればもっとリフレッシュできる気がする。
201	学校に心理カウンセラーの人が常駐して、生徒たちが気軽に話できたり、教室ではサポート教員が配置されていたり、先生も人柄が良ければいいなと思います。また、登下校時には警察官がパトロールしてくださると安心です。地域のお年寄りなど、いろいろな世代の人に接する機会も勉強になると思います。

202	インフルエンザの予防接種は子供無料化を検討してほしい。子供用の衣類・靴などを回収し、必要としている家庭に無料で提供するシステムがあればいいと思う。リサイクルショップに持って行っても大した金額にはならないので、それくらいなら無償で必要な方に譲った方がいいと思うのだが、周囲にそういう方がいないので。
203	青森市内に活気がない為か、子供の遊び場等も少なく、買い物もE L Mに行っている。そのE L M内にある、すくすく一のように、屋内でたくさん体を動かして遊べるようなところが青森市内にもあればいい。小さい子も小中学生もゲームセンターにばかり行っている。もっと成長に役立つ良い場所が欲しい。
204	幼稚園の入園手順などの質問に明確な返答がない。子育て広場が平日しか開催されない為、参加したくても仕事で参加できない。土日にも開催してほしい。悪天候時にも遊べる屋内施設を充実させてほしい。
205	子どもの遊ぶ所が少ない。遊園地とか動物園等。スポッチャのあるROUND 1も欲しかったです。
206	保育園での日頃の活動の様子などをお知らせする機会を増やして欲しい。参観日や行事の時だけでは普段の様子があまり分からない。先生たちと話をする機会が全く無い。定期的に面談等の機会を設けて欲しい。
207	保育士不足なのか、異動したのか、数が少なく感じます。不安を感じつつも、子供が慣れているので通わせ続けてはいますが、万遍なく均等に保育士さんを配置して欲しい。
208	姉の子供が認定こども園に通っているが、園からのお願い事（行事用の衣装を作ってきてください、など）が多く感じる。自分の子どもを預けた場合を考えると、働きながらの身には負担がかかりそうだなと不安に思っています。
209	先月まで〇〇幼稚園に登園していたが、担任補助の先生方から私物の携帯で怖い動画を見せられたり、snowで撮った子供の顔を怖く加工して見せられ泣かされていた事が内部の先生からの話で分かりました。主任先生に確認すると、楽しく過ごさせる為にやったとの事。加工写真は年長さんクラスの自閉症の子がやったと思うとの事でした。どちらの理由もとても信じられる事ではなく、この様な事態にどう対処すれば良いのか、是非教えていただきたいです。
210	雪の季節に遊べる施設が欲しい。どうしても冬になると家で遊ぶ事が多くなり、集合住宅なので騒音が気になってのびのびと遊ばせづらい。また、子供が病気になった時に預けるところがあれば便利なのだが。
211	仕事が終わる時間と保育園・児童館の就園時間がかみあっていません。そのせいでパートしかできない。それでも、冬は道路が混んで迎えに間に合わない。夏休みって必要？児童館開館が8時で勤務開始と一緒に。仕方がないので早く行って園の前で待たせたりしています。冬は可哀そう。金沢小学校前でも待ってる子たちを目にします。
212	雨天や冬期間に子どもたちが遊べる場が少ない。幼い頃から交通マナーを正しく教えて欲しい。子育てに関する施設を駅前などに集中させて欲しい。
213	児童手当の充実。授業料免除。給食費免除。子育て費用負担軽減。
214	共働きなので、子供が保育園に行けなくなった時に親が休まずに済むような預かり施設の支援が欲しいです。
215	病院が少ない。冬の間の遊び場が少ない。場所により、保育園の空きが少ない。医療費負担無しで子供を病院に連れて行けるのは助かる。
216	児童館に行かせたいが、『母親クラブ』（？）のようなものがあると聞いたので面倒。
217	相談する施設や事業所があっても、自分から行けない大人もいると思うので、定期的に声を掛けてくれると相談しやすくなると思う。「何かあったら来てください。」という方式では、人に相談する程でもないかな…と思う人もいます。
218	女性が家庭と仕事の両立をできないような環境だと、出産を諦める人も増え、少子化が改善される事はない。しかし、両立の為には、病児保育所の充実や女性の短時間勤務推進が必要。これがないと、逆に、働く事を諦める女性が増え、今度は労働力不足が改善されない。どちらも行政がリードしていかないとダメだと思う。

219	保育園の先生が「お母さんが仕事休みの時は、保育園休みなさい」と言ったそうです。「母」に休みが無いのは分かりますが、仕事が休みの時しかたせない用事（美容院や買い物など）もあるので、単純な判断で先生方の個人的な判断を子供達を使って押し付けるのは止めてほしいです。
220	周辺の市と比べて、子供たちが遊べる屋内施設がないように思います。実際に、週末は市外に行くことが多く、青森市の活性化に貢献できないのが現状です。自然は多くありますが、一日中小さい子供と遊ぶのはトイレなどの問題があり、難しいです。
221	保育園や幼稚園が密集している地域と疎らな地域があるように感じます。
222	遊ぶ場所はあるが、年齢制限があったりして、兄弟がいる家族だと一緒に無料で遊べる場所が少ないように感じる。冬期間は外で赤ちゃんと遊ぶ事は難しく、殆ど室内にいる事が多かった。
223	私は通勤族です。なかなか子供を預けて働く事が難しく、又、安心して預けられるのか不安です。顔見知りになるまでの対応が他県より冷たいと感じる事が多く、子供の為にも信頼関係を築くように努めていますが、本当に疲れるし、心が折れる事が多々あります。
224	うちは障害児なので参考にならないかもしれませんが…以前は幼稚園に通っていた事がありますが、13:00には降園でした。働くお母さんは預かり保育などで負担も多いと思います。他の兄弟の行事、参観日、自分の用事など諦める事も多かったです。小さい子供が騒いでしまうことに対し、昔より周りの目が厳しいので、のびのびできる場所が少ないです。
225	うちは核家族で手伝ってくれる人がいないので殆ど私一人で育児をしています。一日中育児ばかりはつらいです。休める時間が欲しいです。月に10日くらいでも無料で預かってもらえて息抜きできるとありがたいです。託児所はあるけれど、料金が高いので、利用しようとは思わないです。
226	初めての子育てで産後うつになりかけ、体調も悪く、子供がいるから通院もままならず、市の各種支援センターなどに相談の電話をかけてもたらい回しにされ、一時預かりも断られてばかり。保健士さんが家を訪ねてくれましたが、何の役にも立たず、そんな中、救ってくれたのはNPO法人でした。ここのサポートが無ければ、今頃どうなっていたか分かりません。お母さんたちは、ただ話を聞いてほしいという場合もありますが、いますぐの直接のサポートを必要としています。効率や段取りはどうでもいいので、どうか直接お母さんたちの声に耳を傾けてください。
227	外で体を動かして遊ぶ場所が少ない。自然環境の良さを謳っているが、実際は、どの家庭も家の中にこもったり、公園でもゲームばかりしているような状況である。他県の状況も知る通勤族からすれば、青森の子育てに関する全ての事柄が質が低い。子育てのイベントも数少なく、しかも先着順など不公平な印象。その上、情報が少ない。もう少し他県から学んで欲しい。
228	専属のベビーシッターが欲しいです。託児できるかできないかを、その都度確認して依頼するのはではなく。
229	少子化対策を国策とするのならば、幼稚園・保育園の利用料を無償にすべき。金銭的な問題で利用できないなどということはあってはならないと思う。
230	放課後児童会がもっと遅い時間まで預かってくれることを願います。
231	手当で現金を配るよりも、就学費用や給食費など実際にかかる費用の無償化の方が効果的だと考える。
232	今現在、保育園と児童発達支援センターを利用しています。どちらの施設にも良くしてもらっている方だとは思いますが、まだまだ発達障害を持つ子供には支援も環境も整っているとは言えない状況です。今後はインクルーシヴ教育になって行って欲しいと思います。あとは、行政の垣根を取り払って欲しいです。窓口のたらい回しにはうんざりします。
233	☆青い森鉄道の駅や跨線橋にエレベーターが少ない ☆さんぼぼなどの子供の遊ぶ場所にママ・パパ用リラックsgグッズのサンプルも置いてほしい ☆畳や絨毯などの、赤ちゃん～2才くらいまでの子も連れて行ける飲食店を紹介してほしい ☆重いものを宅配してくれるスーパーを紹介してほしい
234	保育料が高過ぎる。保育園が狭い。
235	保育料が下がってくれとうれしいです。

236	頑張っている保育園の先生方の為にも、保育園に対する補助を手厚くしてください。今は、先生方の犠牲の上にかろうじて成り立っています。忙しさが変わらなくても収入がアップすれば心に少しは余裕もできると思います。それがひいては質の良い保育につながると思います。また、港町には今、新しい家がポツポツ増えてきています。公園などあれば子育て世代も増えるのではないのでしょうか。
237	何も支援されていません。保育園に通ってさえいれば安心です。逆に、どんな支援されてる方がいらっしゃるのですか？
238	青森市は待機児童ゼロと聞いていましたが、年度途中に保育園入所を申請したら、空きが無く、入る事ができませんでした。また、一時預かりしてくれる保育園も定員いっぱい利用できないところが多かったです。保育園の定員数を増やしていただくか、他の対策をさせていただきたいです。そして、保育料の負担の軽減もお願いします。
239	さんぽぽも3歳までしか使えず、冬に遊ぶところがない。函館などのように大型の子供用の遊戯施設が欲しい。
240	青森市の少子化に歯止めが効かなくなっているのは承知しており、行政には何も期待していない。期待しても無駄だと思っている。
241	通園中のこども園が、幼稚園から認定こども園になり、幼稚園の良さが失われている。かと言って、保育園の良さ（預かり保育等）を気軽に利用できるかと思ったら、できない。1号認定の仕事をしていない親は預かり保育はきちんとした理由がなければ利用できず、春夏秋冬休みも利用したくてもしにくい現状がある。雨や雪の時に遊べる施設が少ない。さんぽぽも4才過ぎると遊べない。また、兄弟（小学生と幼児）そろって遊べる場所が無い。
242	幼稚園での預かりは充実していますが、上の兄妹（小学校低学年）の預け先が無い為、困っています。ネットで検索しても預け先が分かりませんでした。分かりやすい情報提供を強く望みます。
243	雪があってもお出かけできて、のびのび遊べるような場所が欲しい。下の子（0才児）もいるので、休みの日に外で雪遊びにも付き合ってもらえず、今年の冬は特にどうしようかと悩んでいるところです。
244	雨や雪の日でも子供が遊べる施設を作って欲しい。あったとしても、少人数しか使えず利用できない。他県や他市町村の良い所を見習い、子育て環境を良くして欲しい。このようなアンケート調査を行うのは良いが、この結果をきっちり行政に生かして欲しい。期待しています。
245	子供にいろいろな体験をさせる事業がたくさんあっていいと思いますが、定員が少なかったり、人が集中して混雑してしまうことも多いです。また、悪天候時でも子供を思いっきり遊ばせることのできる施設等が欲しいと思います。特に、青森の子供たちは肥満傾向や視力の悪い子供が多いので。
246	インフルエンザ予防接種費用の補助があれば助かる。他の市町村と比べて保育料が高い。さんぽぽを利用した際、職員の方々の対応・態度がとても良かったので、また利用したい。
247	青森市には大型のショッピングモールが少ないので、無料の遊び場がもっと欲しい。さんぽぽを利用するのに、アウガの駐車場の無料券が1時間分しか無いが、もっと長くして欲しい。そもそも歩道が無い道路が多く、しかも冬は除雪が入るまで道幅も狭くなり子連れで歩くには大変危険なのでどうにかして欲しい。
248	子どもが少ないと言われてる割に充実した支援があまり感じられない。例えば、同じ青森県でも、3人目が生まれるとお祝い金が出る所もある。青森市にはそういうものが一切ない。もっと充実した支援があると、子供を育てる環境も良くなると思う。
249	家族で子育てをしている家庭にも支援を充実させてほしい。負担が大きい事には変わりはないから。歩道の除雪をしっかりとって欲しい。小中高生が車道を歩いているのを良く目にするのが危ない。働いている父母の支援も、もっと充実させるべき。優先的に年休をとれたりなど。市はもっと頑張って欲しい。こんな状況だから子供たちは都心へ出ていくと思う。
250	保育関係者の給料を上げ、教育・保育を受けやすくして欲しい。「さんぽぽ」などの遊び場を増やして欲しい。
251	病児保育の充実。具体的には、予約制を廃止して即日受け入れできる体制。

252	室内で遊ばせられる所が少なすぎる。広くて体を動かせて、遊具も充実していて、無料で使える場所が複数必要です。
253	さんぽぼを利用して、とても満足しているのですが、バスで通っていて、往復 680 円もかかってしまいます。また、車で行っている知人も、駐車場代 1 時間無料では足りず、結局出費が発生する事になると話していました。もう少し細かく地域ごと（札幌市では、区の他に地下鉄の駅ごとなどにあります）に支援センターのような場所があれば、冬でも家に引きこもらずに子育てができると思うので、よろしくお願いします。
254	大きな公園がいくつかあるのはいいのだが、家の近くですぐに遊ばせに行けるような公園があればいいのと思います。
255	学問より道徳教育が必要。TV やゲーム、お菓子で子育てをしないように教育機関に働きかける。教育者に人生を楽しめる指導をさせる。
256	さんぽぼは室内でわりと広い空間で遊ばせられるため、助かっていますが、おむつ替えの場所に手洗い場がないのが少し残念です。また、さんぽぼは対象年齢が低いので、その上の年齢の子用の同様の施設があると嬉しいです。また、市からもらった情報誌のおでかけスポット紹介に、対象となる凡その年齢や状態（はいはいでもOK とか走り回れるような子とか）を記載して頂けると助かります。
257	就学予定の小学校は、県で一番の児童数にも関わらず、老朽化が激しいです。これでは人口の減少に合わせて社会が縮小してしまう。行政の方向性が間違っていると思う。社会の縮小を抑えるために、子供たちの為に何をやるべきかを考えて欲しい。また、地域社会に子供たちの為の活動が無いに等しいのは、社会全体で前進するという気持ちがなくなり、自分だけ進めばよいという現代日本人の悲しい現実であり、一人一人が考えて行動するようにさせたい。
258	除雪が全然なくなって歩道が無い。もっと遊べる場所を作って欲しい。もし、作るとしたら、ELM のようにショッピングモール内であれば買い物もできて助かります。アウガは遠いし、駐車場は狭いし、無料券 1 時間は短いしで使えない。お金がかかってもいいから「すくすくーる」みたいな施設が必要だと思います。
259	無料で利用できる広くて面白い室内の遊び場がないと感じています。小学生もいるのでアピオやさんぽぼなどでは物足りません。天童市には無料で遊べるとても面白い「げんキッズ」という小学生以下が遊べる屋内施設があります。
260	子育て支援センターの先生方は優しく良い人ばかりですが、用意がある時だけ事務所から出てきて話をするので、できれば、ずっと子供たちのいる所で一緒に遊んで欲しいです。子どもとの接し方や遊び方など、実際見て勉強したいです。保育園での様子が、行事の時しか見られないので、平日もこっそり見学できるようにして欲しいです。
261	例えば、「3 人以上を育てて、小学校卒業させ、更に講習を受ければ資格をもらえる」などの制度があれば多産多産し甲斐があり、その後も育児経験を生かして仕事ができるようになる。そうすると、40 代後半以降の女性の就職率も上がり、社会的にも良いのではないのでしょうか。子育てサポート年代としては一番活躍できる年齢だし、異年代交流にもなる。
262	道路がガタガタ。昔、公園だった空地などさみしい雰囲気のあるので何とかしてほしい。
263	①LINE など子育ての悩みなどを気軽に相談できるシステムがあれば便利。よく育児相談を開催しているが、他にも人がいると相談するのに結構勇気がいる。②支援センターの保育士さんにはとても感謝していますが、できれば遊び場ルームに頻りに顔を出して欲しいです。そうすると、気軽に相談など、親の息抜きにもなると思います。
264	冬や雨の日の遊び場が少なくて困っている。八戸の八戸ポータルミュージアムは良いと聞いている。体を動かせる室内アスレチックジムを作って欲しい。
265	中心部の施設に行きたくても交通手段が無い。各地域に分散して室内設備などがあると良い。
266	放課後児童会の開設時間をもう少し延長してほしい。就業開始時間を考えると、家に一人で低学年の子を置いていたり、早めに行かせて外で待たせている場合があると思う。
267	自分が生活している風土・歴史を感じつつ、グローバルな視野で物事を見れるような人になれるよう、小さいうちから教育してほしい。

268	今年度から認定こども園を利用していますが、子供がいない時間が少しでもできると心に余裕ができ、ストレスで怒っていた頃と違い、楽しく子どもと向き合えるようになりました。入園前からもっと一時預かり等を利用していれば良かったと思います。就労していなくても利用できる預かり保育等についての情報が多くあると良いと思います。子育て中のママ向けの就活情報も多くなってほしいです。
269	小学校入学後の平日の休みに預ける所がどのくらいあるのか、利用方法が分かりづらい。
270	兄妹が多い家庭への税金対策。学校が古い。特に、机・椅子。服がボロボロになった事がある。ジャージなどはひどいくらいである。
271	青森に移住して1年経っていないが、6月に初めて見た公園は、子供の足が埋もれる程(30cm)の草だらけで残念な思いだった。公園は、雪が解けたら安全に遊べるように整えてほしい。
272	室内で遊べる所をもっと増やして欲しい。また、駐車料金がかかると気になって長居できない。求職中の場合、一世帯につき年度内累計3ヶ月間とあるが、それを過ぎると退所・退園しなくてはならないのはどうしてなのか。
273	環境や支援における情報が乏しい。もっと分かりやすい提供の仕方で教えてほしい。
274	子育て中の貧困時(共働きでも収入が少ない家庭もある)に利用できる制度があればいいなと思う。
275	未就学児が遊ぶような施設はいくつかあるが、幼稚園児が体を動かして遊べる施設が無さすぎる。子どもの運動不足を指摘するならば、それを解消できるような屋内施設を作ってほしい。
276	遊ぶ場所が無さすぎます。ELMやヒロロなどのように、お金を払ってでも遊べる場所が欲しい。冬は特に家から出られず発狂しそうです。あと、中央市民センターでの子育てイベント時、駐車場が足りなくて行けません。
277	雨・雪の日でも遊べる場所が欲しいです。また、お友達などと集まって騒いでも良い貸し出しスペースなどがあると良いです。
278	子育ての悩み相談は、ずっと担当者が決まっていれば小さい時から親身になってサポートしていけるのではないのでしょうか。問29のようにたくさんあっても、電話して誰に何を話していいかわかりません。3才半検診などで元気プラザなどに行きますが、保健士さんもその場で終わり、0才の時に訪問してもらった人もその場で終わりでした。継続して相談に乗ってくれる担当者がいると安心できると思います。
279	保育所・幼稚園の無償化
280	運転免許がないので、どうしても遊ぶ場が少なくなってしまう。バスも定時性が無く不便で、安心して出かける事ができない。
281	子供たちが思いきり楽しめる遊園地や屋内アミューズメント施設の充実を望みます。中央部にアリーナ建設計画が持ち上がっているが、子供を持つ家庭が望むのは遊び場所、家族で楽しめる場所、出かける場所である。雪のせいもあると思うが、そういう場所が青森市には無い!アリーナなんか建てても誰も利用しないのが目に見えていると思う。
282	子どもが3歳までは、急病センター、市民病院(2回入院)、県病など土曜夜から日曜にとても世話になり助かりました。維持など大変だとは思いますが、これからも続けていって欲しいと思います。
283	さんぽぼは素敵なのですが、広さもなく、便も悪いのであまり利用しておりません。もっと広くて室内で遊べる施設があればな、と常々思っています。いくらか利用料がかかってもいいので。欲を言えば、車が停めやすいと嬉しいです。アウガには図書館もありますし、もっと子供用のスペースが増えてくれるのであれば積極的に利用していきたいと思います。これからは青森にいると思うので、益々の充実を期待しています。
284	近くに親族など頼れる方がいない人にとっては、子供を見てくれる施設の充実や相談場所の充実がとても重要だと思います。
285	総合福祉センターの遊び場は髪の毛が落ちていたり埃っぽかったり不衛生だった。清潔に保って欲しい。
286	教育・保育事業の先生方も人なので、ひいきがあるとよく耳にする。誰でも自分の子を可愛がって教育してくれる所へ預けたいと思うので不安を感じる。

287	園での行事・習い事が多くて少し心配。何事もできるように沢山の事があるとは思いますが、子供自身の心が健やかに育っていく事を願っています。
288	子供に関わる全ての人に頑張り過ぎないで欲しいと思います。保育園や幼稚園の先生も、そこに子どもを預けて働く親御さんも、忙しいと聞く市役所の子育て支援課の職員も。全ての人の勤務時間が短くなることにより、自分が受けられるサービスの質が落ちたとしても、しょうがないと思える社会になれば良いと思います。
289	保育負担金が多すぎる。収入で額が大きくなることにも納得がいかない。共働きだと職場の状況でなかなか休めないし、病気になると子どもは直ぐに帰されるので、保育負担金は安くして欲しい。
290	青森市には大きくて広い子供たちが遊べる施設がありません。他市・他県のように、雪が降る冬でもお母さんと子供たちが集い遊べる場所が必要です。大きな遊具が充実した児童館などを作り、もっと子育てに優しい街になってくれるよう願います。
291	強いて言うなら、健診などを平日以外にも実施してほしい。平日だと仕事を休まなくてはならなくなるので。あと、37.5℃程度で保育園から返されるのも困る。
292	中央南地域の学区変更をしてほしい。各校児童数の偏りが大きい。甲田、金沢は複雑過ぎる。泉川は多過ぎる。室内遊技場の無料提供（特に冬期）。放課後教室やなかよし会の質・環境が良くない為、子供が行きたがらず自宅に居たがるので、改善努力をして欲しい。
293	公園（遊具）をもっと新たに造って欲しいです。
294	大人の働く日時と子供を預けられる場所の利用可能日時が合致しないと不便。逆に、保育園などに合わせて働けるようになると、休みの日に病院なども休みなので、今度は自分も子供もなかなか通院できなくなる。
295	三内小に入学予定ですが、校舎が古い！市内の学校施設及び周辺の道路が危険（雪で歩道が無い、道が狭い、etc.）
296	子供の遊び場が少なすぎる。無料でなくともいいので、室内で体を動かせる遊具付きの場所が欲しい。
297	同じ認定こども園でも、元が幼稚園だった方が教育的な内容が充実しているようなので、元が保育所でも幼稚園でもサービス内容が同等になるようにして欲しい。
298	公園が無い。通学路が狭すぎる。保育士の数を増やして欲しい。保育士さんは園児の相手をするだけではなく、他の作業も多く抱えていていつも忙しそうです。この保育士さんたちに余裕を持ってもらえれば、もう一步踏込んだ教育的触れ合いをしてもらえるのではないかなあと思います。
299	弘前のヒロロにある遊び場のような所を作って欲しい。
300	子どもが安心して通学できる道路が無いのが困る。小学校の校舎が古く、未だに和式トイレしかないのに驚いた。教育にもっとお金をかけるべきだと思うが、特に小学校校舎が古すぎる。トイレの改修だけなら大した予算はいらないと思うのだが…これから和式トイレの使い方の練習をさせなければならないのが大変。
301	保育料を安くして欲しい。他の地域と比べると青森市は高い。また、室内の遊び場をもっと増やして欲しい。
302	少子化の今、対応が冷たく感じる時がある。青森は妊娠すると退職しなければいけない会社が多い。そういう時に保育園に入っている子が退園しなくても良い様な工夫が必要だと思う
303	弘前のヒロロのような室内で遊べるところが欲しい。通っている保育園の先生の感じが悪い。
304	青森全体の経済が低迷し、賃金が低い。保育事業所不足や職場の子育て社員に対する十分な環境が整っていない。子育てをするのが大変すぎるというイメージもついてしまい、子供を産みづらい世の中。しっかりとした政策や環境づくりを早急に対策する必要がある
305	近所に公園が欲しい。
306	少子化という割に、負担が多くてとても不満。
307	子供に関する様々な制度について、知る機会が少ないように感じる。このアンケートで知ったこともある。子供を安全に預けられることが一番の望みです。
308	無料で遊べるヒロロのような広い施設が欲しい。毎週弘前まで通ってもいいほど。青森市には何もない。あっても駐車場料金が1時間しか無料でないので、子連れには行きにくい。



309	小学生になった時の放課後の過ごし方の充実を求めます。広く、体を使っのびのび遊べるような室内施設が欲しい。
310	保育士の労働環境改善
311	午後も診てくれる大きな病院が欲しい。
312	新城地区は下水道が通っていないため、生活道路のそばにはふたのない側溝が至る所にあります。ふたやガードなどを付けて欲しい。
313	夫の収入が高いため、保育料が高く生活が苦しい。収入があっても住宅費などの固定費も高い為、共働きしなくては生活できない。医療費が無料なのはうれしいが、仕事の休みが取れないので、病院に連れて行くこと自体が大変。仕事したくてもできないのが現実。
314	保育所の利用時間、休日を守ってほしい。保育園の都合で変えないでほしい。延長料金や児童会の料金をもう少し下げて欲しい。インフルエンザにかかった場合、同じ園に通っている兄弟も休ませるのはつらい。
315	仕事が休みでも用事はあるのに、休みの日に預けると子供を休ませてほしいといわれる。
316	ネット依存が社会問題化され、スマホ育児という新しい言葉もできました。子供たちとメディアについて啓発しては？アンケートを通して実態把握をすることから始めては？
317	子供を連れて出かけるだけでも労力を使うのに、せっかく遊びに連れて行ってもアウガのさんぽぼは駐車場無料時間が1時間だけなので、時間を気にして遊ばせてあげられない。(弘前のヒロロは3時間無料) 保育園によっては、事業の有無、内容が異なる。情報収集はママ友からの情報のみなので、インターネットサイトなどもっと充実し有益な情報を得る機会を子育てする人が得られるようにして欲しい。
318	冬期間の室内で遊べる場所が無い。一時預かりをできる幼稚園や保育園が少ない。山形には施設が充実しているが青森は子育てする環境にない。
319	雨や雪の時に遊べる場所が無い。室内で遊べる公的な施設が欲しい。公的に難しければ大型モールの誘致をして欲しい。山形などには魅力的な施設がたくさんある。見習っては？
320	室内の遊び場が少なすぎる
321	弘前のように、小中学校にエアコンを設置してほしい。保育園でエアコン使用しているので、子供たちは小学校で暑さに対応できない。
322	保育料が高すぎる
323	予約が取れる小児科が増えて欲しい。待ち時間が長すぎ、働く時間の調整がしにくい
324	RABで行っている「はじめてばこ」のような青森市に生まれた子に対してのギフトを青森市で取り組むべき。広い園庭がある保育園の数を増やし、保育士の確保と給料の底上げを。男性が家族のために休暇を取りやすくするための補助、企業への教育が必要。「さんぽぼ」は行きにくい。おもちゃの電池は抜かれ、トイレにはベビーチェアすらない。他県、他市を見習い遊園地や動物園、娯楽施設を作り小さいころから家族で体を動かし、学べる施設を造るべき。子供の時から体を動かさない、大人になってもパチンコ&ラーメンでは短命県を改善できないと思う。
325	子ども医療費の所得制限をなくしてほしい。他の人が平然と無料で病院へ行き、ジェネリックは嫌だとか言っているのに、窓口負担金を払うのはバカバカしくなる。公費の人が基本的にジェネリックを使うなど、対策をすれば財源ができるような気がします。せめて上限の計算方法を、一人当たりではなく世帯あたりにしてほしい。世帯あたりでは他より稼ぐ夫婦が医療費も無料で子供手当も貰えているのは納得いかない。
326	バス通園できるこども園を探しているが、1歳からバス利用できるこども園が少ない。さんぽぼんのような室内の遊び場を新町だけではなく、いろんな地域に作ってほしい。
327	冬期の除排雪が不十分で、通勤に時間がかかり家で子供と過ごす時間が大幅に減る。夜間急病センターで診てもらおうと「明日病院で診てもらってください。」と言われ治療をしてくれないことが多い。熱けいれんなど、子供の病気について事前に知っていれば、冷静に対処できるものもあるので、相談する場所や、周知できるような情報提供の場が欲しい。
328	子育てに理解のある事業者が増えて欲しい。

329	徒歩圏内に遊具が充実している公園がありません。旧運動公園内、県立美術館敷地にアリーナのような子供が遊べる遊具、公園をつくってほしいと思う。市内小学校の老朽化について、安全面や衛生面を心配している。改築を進めて欲しい。
330	無料でのびのびと遊べる室内施設を増やしてほしい。
331	両親が働いていないと保育園に入れないのは何故なのか。家族が一人増えて生活するためにお金が必要なのに、母親が無職の時点で、子供を預けられないのがおかしい。預かってもらえないと仕事も探せない。他に子供を見てくれる人がいない人はどうすればいいのか不安でいっぱいです。
332	主人が病気で、子供も小さい為、自分がいっぱいいっぱいになってしまう時が多くあります。金銭的にも仕事も家庭も、何か一つでも支援いただけることが増えたら生きていけると感じる。
333	転職で引っ越ししてきたが、青森市内は子供が思いきり遊べる屋内施設などが充実してなくて非常に残念。
334	富田1丁目、沖館小学校からマエダあたりの狭い通学路を広く改善してほしい。ガードレールや道の整備、除排雪など子供のことを思うなら安全に暮らせるようにして欲しい。
335	幼稚園、保育園に入るのが簡単ではないので、難しいかもしれないが、気軽に入れるようにしないと大変。
336	二人目以降が生まれたときは、必ず同じ保育所にして貰える制度があれば良い
337	子育て支援の環境が断片的で、子供一人ひとりの成長に寄り添って貰える場所が少ないと感じる。情報提供も迅速ではなく、各園やNPOの任せすぎ何も知らないままのようで、行政からの一本化した情報提供の場があればと思う。ファミサポなど有料支援は、経済的に利用しにくい。相談や利用時間も、働いている人が主軸ではなく、行政の仕組みに合わせて開設している傾向が多いので、使いたくても利用できないのが実情。
338	教育、保育に関してもっと市の発信が欲しい。利用したいと思ったとき、市役所の利用、電話での対応が悪く不快に思った。同年代の子供たちが集まれる施設の拡大。雨降りや雪の時などに遊ぶ施設が少なすぎる。体を使って遊べる施設が欲しい。
339	日曜日でも仕事があり、保育園と別に託児所にも通わせているので、お金がかかる。保育園に入るとき、定員オーバーで入ることができず何か所も見学に行った。もう少しスムーズに入所できると良い。公園が少ないので、冬に無料で遊ぶところが欲しい。〇〇保育園では嘘をつかれ大変な思いをしました。
340	藤崎町では3人目以降は保育料が無料だと聞きました。保育料がかかるのであれば、しっかりとしたサービスを望みます。休日保育をどの保育園でも義務化してもらいたい。全国とまではいかずとも青森県の中で一番子育てしやすい場所になってほしい。
341	室内で遊ぶ場所が無いので増やしてほしい。
342	ヒロロのような子供の遊べる施設が欲しい。
343	人の命を預かっている保育士に対して、給料を上げたり待遇の改善、仕事の負担の軽減をすることこそが充実や支援にすべてつながっていく。
344	月に1~2回、子育て中でも親はリフレッシュできる日が欲しい。子供のため、再婚したいが子どもを置いて出かけることができず、月1回1泊で預かってもらえるような支援が欲しい。
345	保活に一生懸命にならなくても良いように、兄弟で同じ保育園に通園できるようにする、早生まれの子供が途中入園できるように配慮する等、安心して仕事復帰できる環境になってほしい。1年間の育休を取りたかったが、3か月しか取れない。早く仕事復帰しなければならないのが現状。
346	親の働く時間が長くなったり、急に遅くなることも多いと思われるので安心して頼れる環境が欲しい。
347	子どもが自由に遊べる公園が近くに無くて困っています。もっと増やしてほしい。
348	公園や室内遊び場などが、地域に増えて欲しい。特に筒井周辺にはありません。

349	収入が低いので無料で参加できるものがあれば教えて欲しい。旧運動公園で昔のように遊具やプールを使えるようにして欲しい。一人親なので、なかよし会のような場所に預けることになると思うが、仕事時間が長いので時間が不安。夏休みなどの長期休みを考えると仕事を辞めるしかないのだろうか。
350	子育て世代が夕方に遅くなくても利用できる地域の交流センターのような施設があれば、手の空いているボランティアなど異世代交流や地域の活性化につながるのではないかと思う。世代を超えた子育て観の伝承も情報の1つとして得られるし、顔の見える地域になると町内会にも参加するきっかけとなるのではないかと思う。
351	アンケート内容が「〇〇を答えた方」と、飛びすぎて戻るのが大変で分かりずらかった。もっと簡単なほうが答えやすい。
352	子育ての悩み相談などで、子育て支援センターにお世話になって大変助かった。
353	篠田3丁目は歩けないほど雪で道路や歩道が無くなる。こまめに除排雪を入れて欲しい。通学路にもなっているのにひどい状況です。道路に面している家の住民に歩道も雪かきしてくれるように呼びかけて欲しい。
354	現在通っている保育園は完全給食で、ミルクやおむつも無料で提供してくれた助かっている。上の子が春から小学校に入学するが、義務教育だという割には指定のジャージや教科書などお金がかかる。義務教育の間は給食費を無料にするとか、必ず揃えなければいけないものに関しては、支援が欲しい。
355	保育園が祝日休みだと、連休などの場合負担が大きい。
356	子どもの数に応じてもっと金銭的な支援をして欲しい。
357	一度ELMへ行ってみてください。カート置き場や、赤ちゃん、子供の遊びスペース、すすく〜、授乳室等充実していて活気がある。青森市はあまりにも何もなくてびっくりです。
358	運動施設を充実させてほしい
359	休日に近くの幼稚園や保育園の園庭を開放してほしい。近所に子供が安全に遊べる場所をもっと提供してほしい。
360	通学路などには老人の運転する自動車は入れないでほしい。
361	中央地区は、ハード、ソフト面とも充実していると思うが、小さい子を連れてそこまでいくのが難しい。近くの市民センターに0~3歳児が通年で遊べるような一室を用意してほしい。西部市民センターは児童室の午前は開放しているが、正直午前は家事で終わってしまう。空いている部屋を一日開放してもらっただけで助かるので、検討してほしい。
362	浪岡地区の小学生が体験できる講座などを増やしてほしい。公民館の本が少ない。
363	青森市は本当に子供が室内でのびのび遊べるところが無く、特に冬は行く場所が無く困っている。八戸市みたいにもっと力を入れて改善してほしい。雪国は、光熱費だけでなく、子供の着るもの等で冬の出費が痛い。保険料も高いし働いているお金のほとんどが消えてしまう。つがる市では2人以降は同時入所できなくても保育料が無料なのに、青森市は子育てにやさしくない。前にやっていた子育て給付金のような制度を毎年にして欲しい。65歳以上はインフルエンザ予防接種が1000円で受けれるのに、なぜ子どもに対しての保障が無いのでしょうか。
364	全てが土日祝日の仕事が休み前提になっているため仕事を続けにくい。
365	夫婦で仕事、子育てをするのは限界があり、保育所や児童会のサポートには感謝している。しかし、開設時間の拡大や、人気施設への審査を真に必要としている人の持ち点を上げるなどして、必要なサービスが行きわたるようにしなければ意味が無いように思う。
366	子供たちがのびのびと楽しくたくさん遊べる環境であってほしい
367	移動手段が徒歩がバスしかないのもっと気軽に子供が遊べる場所がたくさんあったらいいと思う。
368	認定こども園に通園させていますが、入った当初の保育料から夏休み明けの保育料の差が急激に上がって驚きました。主人の就労だけですし、消費税も上がります。生活費もぎりぎりなので保育料の引き下げを考えて欲しいと思う。

369	市内で働く保育士を増やすため、保育士の給料を増やせば県外に流れないのでは？近くの保育園に空きがなく遠くの保育園へ通わざるを得ないのは、小学校進学時、近くに良く知る友達がいないのは不安です。
370	子どもが思いきり遊べる場所が少ない。弘前市ならヒロロ、五所川原ならELMやイオンにたくさん遊び場があるが、青森市にはない。さんぽぼも、もっと利用しやすく遊べる場所にして欲しい。
371	充実しているように見せかけて充実していないように思う。待機児童がゼロではないし、遊ぶところや相談所も少ない。

## 2 各設問のその他回答内容

問3

### ■その他内容

1	祖父
2	おじ
3	児童養護施設
4	祖母

問5

### ■その他内容

1	こども園
2	主に母親と祖母
3	病院
4	曾祖母、妹
5	幸伸保育園
6	父母・祖父母
7	母親・祖父母
8	母、祖母
9	保育園

問9-1

### ■その他内容

1	院内保育所（認可外）
2	児童発達支援センター
3	児童発達支援施設
4	企業主導型保育事業所
5	一時保育
6	認定こども園の一時預かり。空きがなく入園できない為。
7	（発達支援）通所はあと
8	療育施設
9	療育センター
10	児童発達支援センター
11	託児所
12	デイサービス
13	児童発達支援センター
14	特別支援学校（聾学校）
15	発達支援センター

問9-6

### ■その他内容

1	2019年4月に入園
2	子どもがなじめるか不安な為

3	育休の終了と同時に利用する予定
4	病気治療の為、入院中
5	育休中で子供の成長をこの目で見たいので
6	来年度の4月1日に入園させるため
7	31年4月保育園入園希望で活動中
8	H31.4から3年保育で利用予定
9	母親が育休中のため
10	発達支援センターを週5回利用しているため
11	先天性心疾患なので、どこだと預かってもらえるのか分からない
12	幼稚園を利用したいが、ないため。
13	プライベートでいろいろあり、状況が落ち着いていなかった為。
14	育休中のため
15	近々、自営業を始めるつもりで勤めていないので。
16	不定期の仕事なので一時保育を利用している
17	育児休暇が終了後利用する予定。現在探している最中。
18	専業主婦なので保育園に入れたい。仕事も探せない。
19	平成31年4月から保育所を利用する予定
20	利用したいが、自分に合った事業鳥王の仕方が分からない。
21	育児休業中のため
	無回答（1件）

## 問10

### ■その他内容

1	病後児保育
2	特になし
3	病児保育
4	障害児のための児童発達支援センター
5	児童発達支援施設
6	病児保育 早朝～夜間
7	病児保育
8	病児保育
9	幼稚園の預かり保育（不定期利用）
10	発達障害のある子が通える施設（浪岡で）
11	生活面に無理が無い施設であればどこでもよい
12	なし
13	児童発達支援センター
14	短時間の利用が可能な託児施設
15	なし
16	障害がある為、それに対応した保育+療育。
17	障害児保育も積極的にやっているところ（上の子が障害児の為）
18	病児保育施設（看護師常駐）
19	保育園の一時預かり
20	病児保育、夜間保育

21	子どもの送迎をしてくれる事業
22	なし
23	病児保育園
24	発達支援センター
25	デイサービス
26	病児保育
27	インターナショナルスクール
28	認可されているインターナショナルスクール
29	子どもが病気になったとき、一時的に見てくれる施設
30	出来れば仕事せず、幼稚園を利用し子供と一緒にいたい。
31	病児保育
32	特別支援学校
33	休日保育
34	特になし
	無回答（1件）

問15-1

■その他内容

1	病児一時保育
2	仕事を家に持ち帰り対応
3	祖母に頼んだ
4	育児休暇中のため、母親がみている

問15-3

■その他内容

1	通園している保育園
2	現在の病後児保育所または市の運営する公設保育所。
3	通っている園に病児ルームみたいな所があればよい
4	できればいつも通っている保育所に預けられるのが理想
5	当日でも預かってくれて、利用料が安い。
6	安全で安心できて、子供がなじめる場所ならどこでも
7	朝から夕方まで預かってもらえるならどこでも良い。
8	親も子供と一緒に具合の悪い場合があるので、送って行けないし、迎えにも行けない。送迎付きだと助かる。

問15-4

■その他内容

1	定員が2～3人しか対応していないので、すぐにいっぱいになってしまう。
2	手続きが大変そう。人数に制限などがある場合、もし預けられなければ他の方法を探すのが大変。あまり、病児、病後児保育の情報が届かないので、よくわからないので不安が残る。
3	子供がかわいそうだから。（親を1番必要とする時と考えるので、会社側が、仕事を休むことを理解して頂ける社会になって欲しい）
4	祖父母が見れる場合が多いので、今の所まにあってる。

5	祖母など頼れる人がいる
6	子供がかawaiiそう
7	看れる状況を作るのが親の務めと考えている為
8	かかりつけ医に診てもらったために結局仕事を休まないといけないので、結果的に預ける必要がない。
9	病気の時は親がそばにいてあげたいから。
10	体調不良なのに、さらに心のストレスにもならないかと不安なので。
11	病気の時ぐらいいは一緒にいてあげたいので
12	祖父母宅に預けられる
13	今は祖母が近くに見てもらえているが、もし、祖母が見られない場合には利用を検討したいと思っている。
14	病気の時だけ普段と違うところに預けるのは子どもがかawaiiそうなため
15	感染症の場合、自分も出勤停止になる為。現在の病児保育時間が短い為、結局、有休消化になってしまう。
16	ほぼ親族に頼めるので
17	違う病気が移りそう
18	祖父母に頼める
19	祖父母に頼める
20	他県のようにオープンにしていない気がする
21	病気の時は親が見てあげたい
22	自分の親に見てもらおう
23	他の子から別の病気をうつされたらと不安
24	他の病気に感染しないか心配
25	病児保育施設の情報が無さすぎる
26	既に園に存在する
27	親が休めない場合は祖母に見てもらえる
28	親族に頼る
29	体調が悪い時は、なるべく親や親族など、慣れた大人の方がいいと思うから。
30	祖母に頼む
31	実家で親がみてくれる
32	病気の後、子が甘えてぐずぐずしがちなので、他人に看れるとは思えないので
33	母親が専業主婦なので、利用する必要が無かった。
34	院内感染が心配
35	前もつての面談・登録が大変
36	登園できない時は、病児保育でも断られるので。
37	院内感染が心配
38	院内感染が心配
39	祖父母に頼む
40	子どもが寂しい思いをするので
41	診断書が必要と聞いたので
42	以前、病児保育を利用した時の環境がひどかった。また、預ける際の手続きが大変。
43	院内感染が心配
44	利用手続きが面倒
45	具合の悪い時ぐらいいは一緒にいてあげたいと思うから



46	他の病気をもらってきそう
47	祖父母が見てくれるから
48	子どもがかawaiiそう
49	母親が働いていないから
50	病気の際は側にいてあげたいので
51	同居の祖父母がみてくれる
52	どうしても休めなさそうな日に、最後の手段として利用する。
53	祖母に頼む
54	特に利用する必要がない
55	病児保育の病状によっては預かってもらえない（感染症など）ので、利用の仕方の枠が広がれば利用したい。また、病院であまり病児保育の利用の用紙を書いてくれないので利用したくてもできない。
56	病気の際は子どもと一緒にいてあげたい
57	体調が悪いのに他の人に看てもらうのはかawaiiそう。他の子から病気がうつったりしないか心配。
58	症状の重さによる
59	専業主婦なので
60	子どもが、行き慣れないところで不安に感じそう。他の病児から違う病気がうつりそう。
61	専業主婦なので
62	祖父母にみてもらう
63	病気の子供は不安な気持ちが大いなので、親が側にいてあげたいと思うから。
64	事前の手続きが複雑かつ条件が多く、必ず誰でも利用できるとは限らないので。
65	どのようなものがあるのか分からない
66	入院のため利用できない
67	祖母がみてくれる
68	病児保育施設の方の態度がものすごく悪く、毎回毎回悲しい気持ちになります。市の職員とは言え改善すべきだと思います。あまりにひどいと思います。
69	親が休める日は、家で診た方が治りも早いし、預けていると気が気でない。
70	別の病気をもらってってくるかもしれないから
71	祖父母が対応してくれる
72	違う病気がうつりそうで嫌
73	祖父母が家に居るため
74	母親が就労していないので利用する必要がない
75	よくわからないし子どもがかawaiiそう
76	他に迷惑がかかると思い使えない
77	事業への不安等はないが、病児の事を考えると親または親族が看てあげた方が良いと思うから。
78	他の病気をもらう可能性もある。子どもが安心できない。
79	病児保育施設の定員が少なかったり利便性が悪く使えない
80	就労していない為
81	慣れない環境だと子どもが人見知りや緊張で泣いたりぐずったりするので
82	他の子の病気がうつるのが怖い
83	病児がたくさんいる中でほかの新たな感染症にかかるのが不安
84	今は祖父母がいるので頼っている
85	子供が病気の際は身内が近くにいるとあげたい。

86	人数制限がある。施設が少ない。保育所、小児科に併設しているところがあると利用しやすい。
87	生まれつきの難聴がある為
88	他の病気をもらうから
89	親族で対応可能
90	親族に見てもらおう
91	不就労親により対応可能
92	親に見てもらおう
93	母親が就労していないため
94	親と同居しているので見てもらえる。
95	病院に行ってからでなければ預かれないため
96	親が無理な場合祖父母にお願いできるため。
97	感染が怖い
98	就労していない母親が看るから
99	祖父母の対応してくれるため

問 1 6

■その他内容

1	日曜・祝日ほぼ毎回、休日保育を利用
2	企業主導型保育事業所
3	託児所 フルハウス 2 4
4	NPO法人 こももサポート
5	託児所
	無回答 (1 件)

問 1 6 - 1

■その他内容

1	祖母にみてもらっている
2	空きがない
3	他の兄弟の送迎などもあり、時間調整が難しい。
4	ファミリーサポートセンターは、事前登録や面談等の初期手続きに加え、一日利用するには料金が高いと感じている。その為、登録する気が起きない。
5	仕事を休んだり、祖父に頼るなど、何とかやりくりする為
6	手続きが面倒。日程調整する時間が無い。
7	市から貰った冊子を見て、一時預かりをお願いしようと 3 件の園に電話したが、「一時預かりは行っていない」と返答された。
8	上の子がみってくれる
9	園の行事や職員不足のため断られた
10	親の都合で保育園以外に預けるのは育児の怠慢と思えるため
11	祖母に頼めるので
12	こども園で預かり保育を利用している
13	たまたま必要になるような事態にならなかった
14	現在入所している園が土曜も預かりできるので。
15	一時預かりを利用しようとした時に空きが無かった
16	家庭内で解決
17	保育園と親の協力でなんとかなっている

18	通院に同行させる
19	祖母に預かってもらう
20	母親の実家に預かってもらったので必要が無かった
21	入院中
22	障害があるので、保育士不足を理由に断られた。
23	そこまでして預けてよいものかわからない
24	療育が必要な為、預けられる所が無い。
25	近くの事業所に空きが無い
26	子どもと一緒にいる時間を少しでも多く確保する為
27	私用のために利用するのは良くないというイメージがある
28	祖父母が見てくれる
29	夫に反対されるので
30	保育所の一時預かりを数か所に問い合わせしてみたが、どこもやっていなかった。また、利用はしたいが車がないので、預けに行く手段や手間を考えると諦めざるを得ない。
31	他人に預けるのが不安
32	祖母に預かってもらう
33	保育園にお願いしている
34	保育園に行っているのに他の所へ一時預かりができないと思うから
35	利用したいができない
36	親族に預ける
37	すぐに対応してくれるのかが分からない
38	上の子が通っている保育園で一時預かりをやっていないので
39	安全かどうかが不安
40	子どもの気持ちを考えると利用できない
41	以前、ファミリーサポートセンターを利用していたが不便（遠い、時間が合わない、等）だった為。
42	保育園が親が休みでもみてくれるので
43	ファミサポに登録はしているが、子の人見知りが不安で一度も利用していない。
44	新しく利用するのが面倒。お金をかけたくない。
45	祖母に預かってもらう
46	先天性心疾患なので、どこだと預かってもらえるのか分からない
47	人見知りが激しく、人に預けられない。
48	どこで行っているかよく知らない
49	利用する前の手続き等が面倒
50	私用や親の通院で、子を他者に預けるということに罪悪感がある。
51	見てくれる人の都合に合わせなければならない為
52	空きがない
53	慣れない環境だと子どもが人見知りや緊張で泣いたりぐずったりするので
54	2歳くらいから利用したい
55	知らない人に信用が無いから
56	預けることに罪悪感がある
57	同居の祖父母が見てくれる
58	祖父母にお願いできるため。
59	祖母に預けるため

60	対象外と言われ断られてことがある
	無回答（1件）

問17

■その他内容

1	日・祝も仕事のため、毎回利用したい
2	子に先天性の疾患があり、検査や手術後は集団生活ができないため。
3	日曜・祝日などでも休めない日がある分
4	仕事探し
5	転職活動など
6	仕事のためや午前保育の時など
7	利用料を考えると気軽に利用できない
8	通院
9	実家の用事など
10	出張
11	出張
12	上の子の部活の大会
13	上の子の学校行事、自分の健康診断
14	市役所に行くとき
15	幼稚園が行事振替休日や長期休暇中で平日に利用できない時
16	親の病気
17	体調不良による自宅療養
18	通院・検査
19	仕事があるのに一時預かり等もやってない時
20	仕事での夜間（18：30～20：30）の研修や勉強会参加の為
21	休日保育施設に空きが無い場合
22	家事
23	仕事研修会参加
24	上の子供の学校行事
25	P T A 活動
26	りんご手伝い
27	平日の振替休日
28	上の子の学校行事やP T A 活動など
	無回答（5件）

問17-1

■その他内容

1	通園している保育園
2	市の運営する一時保育のみの事業や市が委託する形のベビーシッター
3	よくわからない
4	ベビーシッター
5	通常の幼稚園
6	障害があっても受け入れ可能なところ

7	シッターサービス
8	商業施設内に子どもを一時的に預けられる遊技場など
9	託児所 フルハウス24、赤ずきん
10	こもものように、個人・団体で支援してくれるところ。
11	障害児のケアができる事業
12	日常で利用している保育所
13	ベビーシッター

問18

■その他内容

1	上の子の部活遠征
2	7~21時まで保育園
3	参加するのを止めた

問19

■その他内容

1	デイサービス
2	プレーパーク
3	学童保育
4	放課後デイサービス
5	放課後デイサービス
6	放課後デイサービス
7	放課後デイサービス
8	認定こども園
9	在園している保育園での学童保育
10	友達が児童会に行くななら一緒に行かせたい。
11	学童保育：保育園

問20

■その他内容

1	デイサービス
2	放課後デイサービス
3	放課後デイサービス
4	放課後デイサービス
5	放課後デイサービス
6	職場
7	友達が児童会に行くななら一緒に行かせたい。
8	学童保育

問23

■その他内容

1	高学年の子たちの下校時間に合わせられる
2	友達と遊ばせたいから
3	本人が行きたがれば
4	保護者が障害者
5	友達も利用する
6	社会との交流ができる
7	緊急時の安全性
8	現在通っている保育園の場所が放課後児童会になっているので安心
9	兄弟が利用している
10	フルタイムで就労したい
11	就労のため預けられるならどこでも
12	子どもが小学生になったら就労したい。
13	友達がいるから

問27

■その他内容

1	全て
2	5人兄妹なので楽しみ3：辛い7。歳も近く大変。
3	1～5 全部+面白さ
4	2, 3, 4を感じる
5	楽しいと苦労を行ったり来たり
6	成長を楽しく感じるが大変さもある
7	全部
8	1～5 全て強く感じる
9	1～5 全て
10	全部
11	喜びもあるが負担も大きい
12	イライラすることもあるが楽しい
13	将来が不安
14	1～5の全て
15	全てあてはまる
16	毎日いろんな感情になるのに選べない。

問28

■その他内容

1	子供の悩みに対して、どのようなアドバイスをしたら良いのかわからない事も多いです。特に友達の問題についてなど。
2	悩むことがない
3	特になし
4	フルタイムに加え残業があり、子育てに心の余裕を持って当たれず、育児・食事が粗末になっている。(就労時間が短縮されれば解決できる悩みなのでもどかしい)

5	病院に連れて行く時間がうまく作れないこと
6	経済的負担
7	冬場の子供と過ごせる屋内公共施設が無い
8	保育園探し
9	親のだらしない面が子に影響しないか不安
10	子どもの発熱など体調不良時の職場の対応が非協力的
11	仕事で帰りが遅いため、子供の寝る時間が遅くなってしまうこと。
12	金銭面
13	青森に嫁いでくると、当然、親のサポートは受けられず、しかも、市や企業のサービスも使いにくく、育児しやすい環境とは言い難い。
14	保育料や予防接種などでお金がかかってしまうこと
15	これからの教育にかかる費用
16	放課後に運動させたいが、近場に運動する場所が無い。
17	天気が悪い時にも子供を連れて行ける施設が少ないこと
18	生活リズム
19	発達（グレイゾーン）への情報が少な過ぎる。学校の先生にも知識が無い人が多い。
20	青森市と弘前市の子育て支援に差があり過ぎること
21	仕事のストレスを子供にぶつけてしまう
22	療育施設について
23	日祝が休日でない職場なので、夫婦で連休を取れず、子供をどこにも連れて行ってあげられない。
24	育休が終わって職場に復帰した後、子育てと仕事を両立できるのか不安。
25	費用
26	保育園の空きが無く、職場復帰できないこと。
27	アレルギーがあり、人に任せられない。
28	21時までに寝かせるのが時間的に大変
29	悩みが小さすぎてどれも当てはまらない
30	色々あっても悩まないようにしている
31	なし
32	父親がいないということ
33	小学校の先生がすごすぎて、上の子が荒れていて、私も病んでいること。
34	夫の家族と同居なので子育てに口を挟まれる事
35	自分に自信がなく、子供に悪影響を与えていないか心配。
36	他の保護者との付き合い。習い事で他の子や親へモンペが攻撃してくる。
37	手伝ってくれる人がいないので大変で疲れます。手伝ってくれる人が欲しいです。出来れば無料で。
38	行きたい時に病院に行けない。一時預かりも断られ続けたせいで持病が悪化し、子育てに支障が出ている。
39	夜中、授乳で起こされて寝不足。
40	仕事で疲れて、休日は休んでしまい、子供と遊んであげられない。
41	道徳教育の場が少ない。マナーやモラルを教える大人が少ない。
42	仕事で疲れているときや、体調が悪い時にゆっくり遊んであげられない。
43	遊び方。ヒマを持って余しているように見えるので…
44	子どもが参加できるイベントなどの情報がスマホなどで手軽に入手できたらいいなと思う。メールなどで知らせてもらえるとありがたい。

45	仕事や育児で手いっぱい疲れているにも関わらず、満足に睡眠も取れないこと。
46	経済的なこと
47	アレルギーのこと
48	家族の中で、子供に危害を加えかねない人がおり、完全には安心できないこと。
49	ママ友との付き合い
50	家計が常に不安定な事
51	旦那のイライラを子供にぶつけてしまう。
52	これからの教育費
53	教育費について
54	子育てに合った仕事の環境が少ない
55	なし
56	特になし
57	母子家庭なのでこれから子供にどう説明するか悩んでいる。
58	仕事を休みづらい
59	冬場や悪天候時の室内の公的な遊び場が少ない
60	育休後に保育所に入れるかどうかが一番気になっている。
61	何かあるとすぐ病院に行けと言われるが、その家庭ごとに対応が違って良いのではないだろうか。東洋医学の手当法などもたくさん知りたい。
62	仕事の両立
63	保育者が難病を抱えており、体力的に子育てが難しいこと。
64	小学校へ進学した後の生活
65	金銭
	無回答（1件）

## 問29

### ■その他内容

1	相談することがない
2	相談しない
3	児童発達支援施設職員
4	聾学校の先生。下田クリニックの言語訓練教室の先生。
5	発達障害のプロ
6	スクールカウンセラー
7	友人
8	友人
9	療育施設の先生方や療育施設に通う子供たちの親
10	たまに会って話し相手になった誰か
11	インターネット
12	相談支援事業所
13	SNS
14	学校カウンセラー、担任の先生、幼稚園のカウンセラー
15	さんぽぽ
16	発達支援センターの先生や他のお母さん方
17	児童発達支援センター
18	デイサービスのママ友



19	東京の友達
20	自分で消化する為、時に相談はしない。
21	悩みを打ち明けられない性格
22	相談したいと思わない
23	悩みや不安がない
24	さんぽぽ
25	元夫
	無回答（1件）

■相談相手がいない内容

1	仕事が忙しい
2	相談しても解決するわけではないから期待しないようにしてる
3	自分が周りに心を開かないから
4	仕事・育児に追われコミュニケーションがとれない。職場の同僚などは自分とは環境が違い過ぎて理解してもらえない。保健士に相談したらいやみやみを言われて終わった。電話相談はオウム返しで無意味。
5	母子家庭。祖母が怒りっぽい。友人が遠方。
6	友達がいない
7	相手がいない
8	自己完結
	無回答（8件）

問30

■その他内容

1	特になし
2	ない
3	屋内のアスレチックが無い。体を使った遊びができる高さのある遊具が無い。五所川原 ELM や平川のイオンタウンにはある。有料でも一日 500 円以下なら利用したい。
4	特になし
5	有料の所が多い
6	特になし
7	友達と遊ぶのにゲーム機や iPad を使うこと
8	遊び場の駐車場がない。魅力的な遊び場がない。あっても有料で行きにくい。
9	子供たちのマナーの悪さ。ゴミを散らかしっぱなしや遊具に手を加えたまま元に戻さずに帰るなど。
10	遊具の周りがぬかるんでいたり、大きな水溜りが出来ていたりして、晴れているのに遊べない事がある。（セントラルパーク）
11	だいたいある
12	近くにある農村公園には遊具など全くなく、お年寄りのゲートボールのみに使用されている。
13	年上（小学生）の子がいると危ない
14	イオン柏や E L M にあるような遊び場が青森市には少ない。0～12 才で一緒に遊べる室内の遊び場が青森市内には少な過ぎる！
15	年長～小学校低学年でも遊べる室内施設が欲しい

16	子どもの足で歩いて行ける距離の安全な遊び場がない
17	防犯面が考慮されていない。誰もが入りやすく、かつ死角がある場所は危険。
18	公園に行っても草だらけで遊べない
19	駐車場が狭い
20	乳幼児向けの施設が少ない
21	公園の中を小学生が自転車で走り回っていて、小さい子を遊ばせるには危ない。
22	親が待ってられるスペースが欲しい
23	小さい月齢の子が遊べるものが少ない
24	室内の遊び場が小さい子向けで行きづらいし遊べない
25	あまり考えないようにしている
26	小さい子専用の遊び場が少ない
27	公園がほしい
28	不審者が多い
29	ゴミが散乱している
30	利用時間制限がある
31	不審者情報が多い
32	雪国なのに、冬に室内で遊べる施設が少ない。
33	キャッチボールさせたいが、近くにいい場所が見つからない。
34	ヒロロのような施設を青森市にも作って欲しい。ただの集会所ではなく、保育士が常駐して、小学校低学年くらいまでの子供が遊べるおもちゃなどを完備したもの。
35	冬場、屋内で遊ばせようとさんぽぼぼなどを考えるが、駐車料金がかかる事を考えると躊躇してしまう。また、歳の差がある兄弟と一緒に遊べるところが少ない。
36	青森県総合社会教育センターにあるほのぼののルームは、いつも便利に使わせてもらっています。
37	公園で、犬に遊具を使わせている人がいて不衛生。
38	周辺にどのような場所があるのか分からない
39	仕事が忙しくて祖母に任せているのでわからない
40	室内で思いきり遊べる遊具設備があるとよい
41	上の子の車いすで行きにくい、または、車いすに対する視線。
42	小さい子と小学生の子と一緒にいると危険を感じる時がある。勿論、小学生だって思いっきり遊びたいだろうから、小さい子とどちらも楽しく遊べるような所があればいいと思う。
43	近所に一緒に遊べるような同年代の子供がいない
44	場所までの距離が気になり、交通の便を考える。大きくなったら自転車で行くのかな、とか。
45	同年代の子がいても話しかけられない。きっかけを作ってあげられない。
46	遊び場の駐車場が狭い・混雑・料金が高等で利用しづらい。また、これらの状況が事前に分かりづらい。
47	障害が有るので、あまり外で人と会いたくない。
48	せっかく公園で遊ばせようと思い、そういう支援をしてくれている団体もあるのに、市では何のサポートもしてくれていない。場所はあるし、人もいるのになぜなのか？
49	子供の近くでＴＰＯもわきまえず喫煙する大人が多い
50	無料で遊べる室内施設が等が少ない。ボールプール等がある遊び場。
51	遊び場の遊具の対象年齢以上の子供（時には大人）が遊んでいることがあり、本来対象となっている子供を安心して遊ばせられない時がある。
52	最寄りの公園に砂場がない
53	タバコの吸い殻や空き缶等のゴミが散乱していて汚い
54	市の街づくりがダメ。子どもの事を考えていない。

55	場所が悪い上に狭い（アウガの中）。ヒロロくらいあって欲しい。
56	未就学児の子の遊ぶスペースなのに小学生がよく遊んでいて困る。その親も見て見ぬふり。
57	さんぽぼを利用したいが駐車場無料券 1 時間では少なすぎる。ヒロロは 3 時間無料だった。
58	遊び場の場所が分からない
59	遊び場がどこにあるか分からない
60	お散歩に行くのに道路が狭く、歩道も無く危険。
61	八戸の「子どもの国」や弘前の「弥生いこいの広場」のように、動物・植物、遊園地の設備が充実しているこどもの遊び場が無い。
62	お金（利用料や駐車料）のかからない室内の遊び場を増やして欲しい
63	年の離れた大きい子がいると危険
64	弘前のヒロロのような、両親で気軽に行ける遊び場が少ない。
65	施設内に売店などがあれば便利だと思う
66	ため池で遊べるが、水が汚い。
67	治安に不安を感じる
68	イベントが少なすぎる。
69	遊び場が混む
70	まだ小さいので遊び場を利用していない。
71	近くに広場のようなものはあるが遊具が少なく、公園が全くない。
72	隣近所がうるさく、外で遊ばせられない。
73	遊び場を知りたい。
74	公園が歩いて行ける距離にない。
75	公園以外の場所が無く、車が無いとなかなか利用できない。
	無回答（1 件）

### 問 3 1

#### ■その他内容

1	運転マナーの向上（横断歩道を渡れない）、保育施設や通学路の歩道整備
2	子どもに優しくなかったり、心無い人がいない、子供たちが過ごしやすい人的環境。
3	子どもが遊べる場所を増やすこと
4	不審者がいないこと。歩きタバコや家の外でタバコを吸う人がいないこと。
5	療育が必要な子供たちの施設と先生の数の充実。医療費が無料になる所得制限の上方修正。
6	思いっきり走りまわられるような施設が欲しい
7	子どもが安心して過ごせる広場や公園の存在
8	期待していない
9	子供が楽しめるイベント
10	小学校のスクールバスが必要。車での子供の送迎を禁止しない事。
11	子供の親同士のコミュニケーションが取り易くなること
12	交通ルールを守ること。歩行者や子連れに対する思いやり。青森は特に交通マナーが悪いと感じる。県外から転入してきて感じるが、マナーが悪すぎ。
13	子どもが外で遊ぶ声など（常識的な範囲で）に寛容なこと。
14	歩道の除雪
15	アレルギー対応票の設置の義務化
16	子供を遊ばせられる室内環境のある場がもっと欲しい

17	通学路など、子供たちが良く通る道路の歩道を整備する事。直ぐには無理であればから一舗装などでも。
18	弘前のヒロロのような場所を作ってほしい
19	室内で遊べるところを増やしてほしい。広めで駐車場が多いのが希望。
20	変わらないので、期待していない。
21	E L Mのような施設を造ってほしい

### Ⅲ 利用意向集計

利用意向集計は、内閣府から示された「市町村子ども・子育て支援事業計画における『量の見込み』の算出等のための手引き」を基に、ニーズ調査の結果を活用し、地域子ども・子育て支援事業の「利用意向（率）」を地区ごとに算出した。

# 1 家庭類型集計

父親	母親		パートタイム(育休中等含む)			無業
	フルタイム(育休中等を含む)		120時間以上	120時間未満下現以上	下現時間未満	
フルタイム(育休中等を含む)	タイプB		タイプC		タイプC'	タイプD
パートタイム(育休中等含む)	120時間以上	タイプC	タイプE		タイプE'	
	120時間未満下現以上					
	下現時間未満	タイプC'				
無業			タイプD			タイプF

※ ひとり親家庭タイプ・・・タイプA

※ パートタイムの就労時間の下限時間は60時間に設定。

※ 現在タイプを算出する際のパートタイムの就労時間は、「平日に定期的に利用している教育・保育の利用時間」の設問(問9-2(1))を活用。

## ■ 0歳

現在のタイプ	父母の就労	地区				計
		東部	南部・中部	西部・北部	浪岡	
タイプA	ひとり親	2	3	3	1	9
		22%	33%	33%	11%	100%
タイプB	フルタイム×フルタイム	28	27	33	12	100
		28%	27%	33%	12%	100%
タイプC	フルタイム×パートタイム	1	6	10	3	20
		5%	30%	50%	15%	100%
タイプC'	フルタイム×パートタイム(短)	1	1	0	0	2
		50%	50%	0%	0%	
タイプD	専業主婦(夫)	15	41	15	1	73
		21%	56%	21%	1%	100%
タイプE	パートタイム×パートタイム	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%
タイプE'	パートタイム×パートタイム(短)	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%
タイプF	無業×無業	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%
計		47	78	61	17	203
		23%	38%	30%	8%	100%

潜在タイプ	父母の就労	地区				計
		東部	南部・中部	西部・北部	浪岡	
タイプA	ひとり親	2	3	3	1	9
		22%	33%	33%	11%	100%
タイプB	フルタイム×フルタイム	30	29	34	12	105
		29%	28%	32%	11%	100%
タイプC	フルタイム×パートタイム	1	6	11	4	22
		5%	27%	50%	18%	100%
タイプC'	フルタイム×パートタイム(短)	2	7	2	0	11
		18%	64%	18%	0%	100%
タイプD	専業主婦(夫)	12	33	11	0	56
		21%	59%	20%	0%	100%
タイプE	パートタイム×パートタイム	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%
タイプE'	パートタイム×パートタイム(短)	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%
タイプF	無業×無業	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%
計		47	78	61	17	203
		23%	38%	30%	8%	100%

■ 1・2歳

現在のタイプ	父母の就労	地区				計
		東部	南部・中部	西部・北部	浪岡	
タイプA	ひとり親	14	8	9	1	32
		44%	25%	28%	3%	100%
タイプB	フルタイム×フルタイム	52	69	68	13	202
		26%	34%	34%	6%	100%
タイプC	フルタイム×パートタイム	25	31	20	5	81
		31%	38%	25%	6%	100%
タイプC'	フルタイム×パートタイム(短)	1	2	2	0	5
		20%	40%	40%	0%	100%
タイプD	専業主婦(夫)	15	52	23	1	91
		16%	57%	25%	1%	100%
タイプE	パートタイム×パートタイム	0	0	2	0	2
		0%	0%	100%	0%	100%
タイプE'	パートタイム×パートタイム(短)	0	1	0	0	1
		0%	100%	0%	0%	100%
タイプF	無業×無業	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%
計		107	163	124	20	414
		26%	39%	30%	5%	100%

潜在タイプ	父母の就労	地区				計
		東部	南部・中部	西部・北部	浪岡	
タイプA	ひとり親	14	8	9	1	32
		44%	25%	28%	3%	100%
タイプB	フルタイム×フルタイム	56	75	71	14	216
		26%	35%	33%	6%	100%
タイプC	フルタイム×パートタイム	22	30	19	4	75
		29%	40%	25%	5%	100%
タイプC'	フルタイム×パートタイム(短)	6	14	8	0	28
		21%	50%	29%	0%	100%
タイプD	専業主婦(夫)	9	35	16	1	61
		15%	57%	26%	2%	100%
タイプE	パートタイム×パートタイム	0	0	1	0	1
		0%	0%	100%	0%	100%
タイプE'	パートタイム×パートタイム(短)	0	1	0	0	1
		0%	100%	0%	0%	100%
タイプF	無業×無業	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%
計		107	163	124	20	414
		26%	39%	30%	5%	100%

■ 3～就学前

現在のタイプ	父母の就労	地区				計
		東部	南部・中部	西部・北部	浪岡	
タイプA	ひとり親	19	20	22	3	64
		30%	31%	34%	5%	100%
タイプB	フルタイム×フルタイム	45	71	56	19	192
		23%	37%	29%	10%	100%
タイプC	フルタイム×パートタイム	23	40	44	6	113
		20%	35%	39%	5%	100%
タイプC'	フルタイム×パートタイム(短)	7	11	2	0	11
		64%	100%	18%	0%	100%
タイプD	専業主婦(夫)	24	62	27	3	116
		21%	53%	23%	3%	100%
タイプE	パートタイム×パートタイム	0	1	0	0	1
		0%	100%	0%	0%	100%
タイプE'	パートタイム×パートタイム(短)	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%
タイプF	無業×無業	1	1	0	0	2
		50%	50%	0%	0%	100%
計		119	206	151	31	507
		23%	41%	30%	6%	100%

潜在タイプ	父母の就労	地区				計
		東部	南部・中部	西部・北部	浪岡	
タイプA	ひとり親	19	20	22	3	64
		30%	31%	34%	5%	100%
タイプB	フルタイム×フルタイム	50	85	62	22	219
		23%	39%	28%	10%	100%
タイプC	フルタイム×パートタイム	21	35	42	5	103
		20%	34%	41%	5%	100%
タイプC'	フルタイム×パートタイム(短)	14	22	10	0	46
		30%	48%	22%	0%	100%
タイプD	専業主婦(夫)	14	44	15	1	74
		19%	59%	20%	1%	100%
タイプE	パートタイム×パートタイム	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%
タイプE'	パートタイム×パートタイム(短)	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%
タイプF	無業×無業	1	0	0	0	1
		100%	0%	0%	0%	100%
計		119	206	151	31	507
		23%	41%	30%	6%	100%



■ 0歳～就学前

現在のタイプ	父母の就労	地区				計
		東部	南部・中部	西部・北部	浪岡	
タイプA	ひとり親	35	31	34	5	105
		33%	30%	32%	5%	100%
タイプB	フルタイム×フルタイム	125	167	157	44	493
		25%	34%	32%	9%	100%
タイプC	フルタイム×パートタイム	49	77	74	14	214
		23%	36%	35%	7%	100%
タイプC'	フルタイム×パートタイム(短)	9	14	4	0	27
		33%	52%	15%	0%	100%
タイプD	専業主婦(夫)	54	155	65	5	279
		19%	56%	23%	2%	100%
タイプE	パートタイム×パートタイム	0	1	2	0	3
		0%	33%	67%	0%	100%
タイプE'	パートタイム×パートタイム(短)	0	1	0	0	1
		0%	100%	0%	0%	100%
タイプF	無業×無業	1	1	0	0	2
		50%	50%	0%	0%	100%
計		273	447	336	68	1124
		24%	40%	30%	6%	100%

潜在タイプ	父母の就労	地区				計
		東部	南部・中部	西部・北部	浪岡	
タイプA	ひとり親	35	31	34	5	105
		33%	30%	32%	5%	100%
タイプB	フルタイム×フルタイム	136	189	167	48	540
		25%	35%	31%	9%	100%
タイプC	フルタイム×パートタイム	44	71	72	13	200
		22%	36%	36%	7%	100%
タイプC'	フルタイム×パートタイム(短)	22	43	20	0	85
		26%	51%	24%	0%	100%
タイプD	専業主婦(夫)	35	112	42	2	191
		18%	59%	22%	1%	100%
タイプE	パートタイム×パートタイム	0	0	1	0	1
		0%	0%	100%	0%	100%
タイプE'	パートタイム×パートタイム(短)	0	1	0	0	1
		0%	100%	0%	0%	100%
タイプF	無業×無業	1	0	0	0	1
		100%	0%	0%	0%	100%
計		273	447	336	68	1124
		24%	40%	30%	6%	100%

## 2 教育・保育の利用意向集計

### (1) 3号認定（保育所及び認定こども園＋地域型保育）

(0歳)

潜在家庭類型		地域ごとの利用意向率(割合)				平均
		東部	南部・中部	西部・北部	浪岡	
タイプA	ひとり親	1.000	0.500	1.000	1.000	0.875
タイプB	フルタイム×フルタイム	0.967	0.929	0.969	1.000	0.966
タイプC	フルタイム×パートタイム	1.000	1.000	0.900	1.000	0.975
タイプE	パートタイム×パートタイム	0	0	0	0	0

(1,2歳)

潜在家庭類型		地域ごとの利用意向率(割合)				平均
		東部	南部・中部	西部・北部	浪岡	
タイプA	ひとり親	1.000	1.000	0.889	1.000	0.972
タイプB	フルタイム×フルタイム	0.981	0.973	0.914	1.000	0.967
タイプC	フルタイム×パートタイム	0.864	1.000	1.000	1.000	0.966
タイプE	パートタイム×パートタイム	0.000	0.000	1.000	0.000	0.250

※ 利用意向率は、「平日定期的に利用したい教育・保育の事業」の設問（問10）に回答した者のうち、「認可保育所」、「認定こども園」、「小規模な保育施設」、「家庭的保育」、「事業所内保育施設」、「その他の認可外保育施設」または「居宅訪問型保育」を選択した者の割合。

### (2) 1号認定（幼稚園及び認定こども園）

潜在家庭類型		地域ごとの利用意向率(割合)				平均
		東部	南部・中部	西部・北部	浪岡	
タイプC''	フルタイム×パートタイム(短)	0.929	0.818	0.900	0.000	0.662
タイプD	専業主婦(夫)	1.000	0.909	1.000	0.000	0.727
タイプE''	パートタイム×パートタイム(短)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
タイプF	無業×無業	1.000	0.000	0.000	0.000	0.250

※ 3歳児～5歳児

※ 利用意向率は、「平日定期的に利用したい教育・保育の事業」の設問（問10）に回答した者のうち、「幼稚園」または「認定こども園」を選択した者の割合。

(3) 2号認定

(幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの)

潜在家庭類型		地域ごとの利用意向率(割合)				平均
		東部	南部・中部	西部・北部	浪岡	
タイプA	ひとり親	0.00	0.15	0.18	0.00	0.08
タイプB	フルタイム×フルタイム	0.06	0.02	0.08	0.00	0.04
タイプC	フルタイム×パートタイム	0.24	0.17	0.26	0.00	0.17
タイプE	パートタイム×パートタイム	0.000	0.000	0.000	0.000	0.00

※ 3歳児～5歳児

※ 利用意向率は、「平日定期的に利用している教育・保育の事業」の設問(問9-1)に回答した者のうち、「幼稚園」を選択した者の割合。

(保育園及び認定こども園)

潜在家庭類型		地域ごとの利用意向率(割合)				平均
		東部	南部・中部	西部・北部	浪岡	
タイプA	ひとり親	0.26	0.05	0.01	0.00	0.08
タイプB	フルタイム×フルタイム	0.92	0.96	0.90	0.95	0.93
タイプC	フルタイム×パートタイム	0.76	0.83	0.74	1.00	0.83
タイプE	パートタイム×パートタイム	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※ 3歳児～5歳児

※ 利用意向率は、「平日定期的にご利用したい教育・保育の事業」の設問(問10)に回答した者のうち、「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」、「認可保育所」、「認定こども園」、「小規模な保育施設」、「家庭的保育」、「事業所内保育施設」、「その他の認可外保育施設」または「居宅訪問型保育」を選択した者の割合から、「2号認定(幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの)」の割合を控除した割合。

### 3 地域子ども・子育て支援事業の利用意向集計

#### (1) 時間外保育事業

潜在家庭類型		地域ごとの利用意向率(割合)				平均
		東部	南部・中部	西部・北部	浪岡	
タイプA	ひとり親	0.265	0.267	0.273	0.000	0.20
タイプB	フルタイム×フルタイム	0.440	0.422	0.368	0.250	0.37
タイプC	フルタイム×パートタイム	0.205	0.153	0.200	0.077	0.16
タイプE	パートタイム×パートタイム	0.000	0.000	1.000	0.000	0.25

※ 0歳児～5歳児

※ 利用意向率は、「平日定期的に利用したい教育・保育の事業」の設問（問10）に回答した者のうち、「認可保育所」、「認定こども園」、「小規模な保育施設」、「事業所内保育施設」、「その他の認可外保育施設」または「居宅訪問型保育」を選択し、かつ、「利用希望時間の設問（問9-2（2））で「18時以降」と回答した者の割合。

#### (2) 放課後児童健全育成事業

(低学年)

潜在家庭類型		地域ごとの利用意向率(割合)				平均
		東部	南部・中部	西部・北部	浪岡	
タイプA	ひとり親	0.667	0.500	0.571	1.000	0.685
タイプB	フルタイム×フルタイム	0.583	0.759	0.667	0.500	0.627
タイプC	フルタイム×パートタイム	0.714	0.444	0.500	0.500	0.540
タイプE	パートタイム×パートタイム	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

※ 5歳児

※ 利用意向率は、「放課後の時間を過ごさせたい場所」の設問（問19）に回答した者のうち、「放課後児童会」を選択した者の割合。

(高学年)

潜在家庭類型		地域ごとの利用意向率(割合)				平均
		東部	南部・中部	西部・北部	浪岡	
タイプA	ひとり親	0.500	0.375	0.167	1.000	0.510
タイプB	フルタイム×フルタイム	0.333	0.517	0.083	0.167	0.275
タイプC	フルタイム×パートタイム	0.571	0.222	0.375	0.500	0.417
タイプE	パートタイム×パートタイム	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

※ 5歳児

※ 利用意向率は、「放課後の時間を過ごさせたい場所」の設問（問20）に回答した者のうち、「放課後児童会」を選択した者の割合。

(3) 子育て短期支援事業（ショートステイ）

潜在家庭類型		地域ごとの利用意向率(割合)				平均
		東部	南部・中部	西部・北部	浪岡	
タイプA	ひとり親	0.000	0.100	0.065	0.000	0.041
タイプB	フルタイム×フルタイム	0.203	0.583	0.184	0.200	0.292
タイプC	フルタイム×パートタイム	0.238	0.071	0.014	0.000	0.081
タイプC'	フルタイム×パートタイム(短)	0.000	0.000	0.250	0.000	0.063
タイプD	専業主婦(夫)	0.171	0.018	0.000	0.000	0.047
タイプE	パートタイム×パートタイム	0.000	0.000	2.000	0.000	0.500
タイプE'	パートタイム×パートタイム(短)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
タイプF	無業×無業	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

※ 0～5歳児

※ 利用意向率は、「泊りがけの預け先」の設問（問18）に回答した者のうち、「短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した」、「仕方なく子どもを同行させた」または「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」を選択した者の割合。

※ 利用意向日数は、問18の設問に回答した者のうち、「短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した」、「仕方なく子どもを同行させた」または「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」を選択した者の「平均日数（年）」。

(4) 地域子育て支援拠点事業

潜在家庭類型		地域ごとの利用意向率(割合)				平均
		東部	南部・中部	西部・北部	浪岡	
タイプA	ひとり親	0.875	1.432	0.375	0.500	0.795
タイプB	フルタイム×フルタイム	0.820	1.116	0.669	0.818	0.856
タイプC	フルタイム×パートタイム	0.391	0.309	0.583	0.250	0.383
タイプC'	フルタイム×パートタイム(短)	1.653	1.234	0.625	0.000	0.878
タイプD	専業主婦(夫)	1.429	1.626	2.083	0.000	1.284
タイプE	パートタイム×パートタイム	0.000	0.000	4.000	0.000	1.000
タイプE'	パートタイム×パートタイム(短)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
タイプF	無業×無業	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

※ 0～2歳児

※ 利用意向＝利用意向率×利用意向回数

※ 利用意向率は、「地域子育て支援拠点事業の利用状況」の設問（問11）で「利用している」と回答した者の人数と、「地域子育て支援拠点事業の利用意向」の設問（問12）で「利用していないが、今後利用したい」と回答した者の人数を、回答者全体の人数で割ったもの。

※ 利用意向回数は、問11の設問で「利用している」と回答した者と、問12の設問で「利用していないが、今後利用したい」または「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した者の月当たり平均利用回数。

(5) 一時預かり事業、子育て短期支援事業（トワイライトステイ）、子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポートセンター事業 [病児・緊急対応強化事業除く]）

(1号認定による利用)

潜在家庭類型		地域ごとの利用意向率(割合)				平均
		東部	南部・中部	西部・北部	浪岡	
タイプC'	フルタイム×パートタイム(短)	24.422	9.355	11.600	0.000	11.344
タイプD	専業主婦(夫)	9.314	3.523	8.486	0.000	5.331
タイプE'	パートタイム×パートタイム(短)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
タイプF	無業×無業	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

※ 3歳児～5歳児

※ 利用意向＝利用意向率×利用意向日数

※ 利用意向率＝ア×イ

ア 「平日定期的に利用したい教育・保育の事業」の設問（問10）で「幼稚園」または「認定こども園」と回答し、かつ、「不定期事業の利用意向」の設問（問17）で「利用したい」と回答した者が、これらの設問の回答に占める割合。

イ 「平日定期的に利用している教育・保育事業」の設問（問9-1）で「幼稚園」と回答し、かつ、「不定期事業の利用状況」の設問（問16）で「一時預かり」、「幼稚園の預かり保育」、「ファミリー・サポート・センター」、「夜間養護等事業：トワイライトステイ」、「ベビーシッター」または「その他」を選択した者のうち、「一時預かり」または「幼稚園の預かり保育」と回答した者の割合。

※ 利用意向日数は、問17の設問で「利用したい」と回答した者の「平均日数（年）」。

(2号認定による利用)

潜在家庭類型		地域ごとの利用意向率(割合)				平均
		東部	南部・中部	西部・北部	浪岡	
タイプA	ひとり親	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
タイプB	フルタイム×フルタイム	0.000	0.000	260.000	0.000	65.000
タイプC	フルタイム×パートタイム	0.000	286.000	130.000	0.000	104.000
タイプE	パートタイム×パートタイム	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

※ 3歳児～5歳児

※ 利用意向＝利用意向率×利用意向日数

※ 利用意向率は、1.0。「2号認定のうち幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの」は、「幼稚園における在園児を対象とした一時預かり」を利用することによりニーズがカバーされる。

※ 利用意向日数は、2号認定のうち幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるものについて、「幼稚園の預かり保育の利用意向」の設問（問9-4（2））で希望するとした場合の年間の平均日数。

(幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)以外)

潜在家庭類型		地域ごとの利用意向率(割合)				平均
		東部	南部・中部	西部・北部	浪岡	
タイプA	ひとり親	9.747	6.593	7.960	16.000	10.075
タイプB	フルタイム×フルタイム	6.010	5.081	8.360	4.756	6.052
タイプC	フルタイム×パートタイム	9.439	7.686	5.029	3.974	6.532
タイプC'	フルタイム×パートタイム(短)	27.363	18.363	12.200	0.000	14.482
タイプD	専業主婦(夫)	9.353	0.910	12.525	4.000	6.697
タイプE	パートタイム×パートタイム	0.000	0.000	5.000	0.000	1.250
タイプE'	パートタイム×パートタイム(短)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
タイプF	無業×無業	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

※ 0歳児～5歳児

※ 利用意向＝利用意向率×利用意向日数

※ 利用意向率は、「不定期事業の利用意向」の設問(問17)に回答した者のうち、「利用したい」と回答した者の割合。

※ 利用意向日数は、問17の設問に「利用したい」と回答のあった者の「平均日数(年)」。

(6) 病児保育事業、子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業[病児・緊急対応強化事業])

潜在家庭類型		地域ごとの利用意向率(割合)				平均
		東部	南部・中部	西部・北部	浪岡	
タイプA	ひとり親	19.742	0.000	0.000	0.000	1.707
タイプB	フルタイム×フルタイム	33.430	34.192	27.454	0.000	2.130
タイプC	フルタイム×パートタイム	7.795	0.000	0.000	0.000	3.059
タイプE	パートタイム×パートタイム	0.000	0.000	13.000	0.000	1.625

※ 0歳児～5歳児

※ 利用意向＝利用意向率×利用意向日数

※ 利用意向率は、「病気やけがで学校を休んだ場合の対処方法」の設問(問15-1)に「父親が休んだ」または「母親が休んだ」と回答した者のうち、「病児・病後児保育施設等の利用意向」の設問(問15-2)に「できれば利用したい」と回答した者と、問15-1の設問に「病児・病後児の保育を利用した」、「ファミリー・サポート・センターを利用した」または「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」に回答した者の合計を、「病気やけがで学校を休んだことがあるかどうか」の設問(問15)の全回答者数で割ったもの。

※ 利用意向日数は、問15-2の設問に「できれば利用したい」と回答があった日数の総計と、問15-1の設問に、「病児・病後児の保育を利用した」、「ファミリー・サポート・センターを利用した」または「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」に回答した日数の総計を合わせ、これを問15-2の設問に、「できれば利用したい」と回答し、問15-1の設問に、「病児・病後児の保育を利用した」、「ファミリー・サポート・センターを利用した」または「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」に回答した人数の合計で割ったもの。

(7) 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業 [小学生]）

(低学年)

潜在家庭類型		地域ごとの利用意向率(割合)				平均
		東部	南部・中部	西部・北部	浪岡	
タイプA	ひとり親	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
タイプB	フルタイム×フルタイム	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
タイプC	フルタイム×パートタイム	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
タイプC'	フルタイム×パートタイム(短)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
タイプD	専業主婦(夫)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
タイプE	パートタイム×パートタイム	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
タイプE'	パートタイム×パートタイム(短)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
タイプF	無業×無業	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

※ 5歳児

※ 利用意向＝利用意向率×利用意向日数

※ 利用意向率は、「放課後の時間を過ごさせたい場所」の設問（問19）に回答した者のうち、「ファミリー・サポート・センター」と回答した者の割合。

※ 利用意向日数は、問19の設問で「ファミリー・サポート・センター」と回答した者の平均日数（週）。

(高学年)

潜在家庭類型		地域ごとの利用意向率(割合)				平均
		東部	南部・中部	西部・北部	浪岡	
タイプA	ひとり親	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
タイプB	フルタイム×フルタイム	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
タイプC	フルタイム×パートタイム	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
タイプC'	フルタイム×パートタイム(短)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
タイプD	専業主婦(夫)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
タイプE	パートタイム×パートタイム	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
タイプE'	パートタイム×パートタイム(短)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
タイプF	無業×無業	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

※ 5歳児

※ 利用意向＝利用意向率×利用意向日数

※ 利用意向率は、「放課後の時間を過ごさせたい場所」の設問（問20）に回答した者のうち、「ファミリー・サポート・センター」と回答した者の割合。

※ 利用意向日数は、問20の設問で「ファミリー・サポート・センター」と回答した者の平均日数（年）。



<参考>

本報告書に記載のある東部、南部・中部、西部・北部、浪岡の4地区の区割りは、下図のとおりである。



No.	地区名	地区の範囲
1	東部	浪打、港町、茶屋町、栄町、合浦、花園、はまなす、けやき、造道、岡造道、東造道、八重田、小柳、古館、松森、佃、中佃、南佃、野内、久栗坂、浅虫、宮田、馬屋尻、三本木、滝沢、矢田、矢作、本泉、原別、平新田、後菴、泉野、矢田前、八幡林、戸崎、諏訪沢、築木館、桑原、虹ヶ丘、浜館、自由ヶ丘、戸山、沢山、駒込、田屋敷、古館、赤坂、蛭沢、月見野
2	西部・北部	柳川、北金沢、千富町、沖館、富田、新田、篠田、千刈、久須志、大野字鳴滝、大野字金沢、西滝、里見、浪館前田、三内、浪館、岩渡、孫内、新城、岡町、石江、戸門、鶴ヶ坂、三好、油川、羽白、西田沢、飛鳥、瀬戸子、奥内、前田、清水、内真部、四戸橋、後湯、六枚橋、小橋、左堰
3	南部・中部	堤町、青柳、橋本、中央、本町、松原、勝田、桂木、緑、青葉、筒井、長島、古川、新町、安方、金沢、旭町、浦町、浜田、幸畑、田茂木野、東大野、桜川、奥野、西大野、大野字若宮、大野字玉島、大野字山下、大野字片岡、大野字前田、細越、安田、横内、雲谷、四ツ石、大矢沢、野尻、合子沢、新町野、牛館、間屋町、卸町、第二間屋町、妙見、高田、大谷、小館、入内、野沢、荒川、八ツ役、金浜、大別内、野木、上野
4	浪岡	浪岡、五本松、王余魚沢、女鹿沢、下十川、増館、樽沢、銀、郷山前、吉野田、下石川、杉沢、浪岡福田、高屋敷、徳才子、大釈迦、長沼、北中野、吉内、本郷、相沢、細野